

MDV-M909HDF MDV-M909HDL MDV-M809HDW MDV-M809HD

AV Navigation System

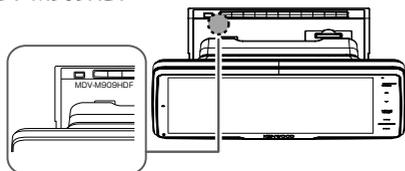
取扱説明書 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

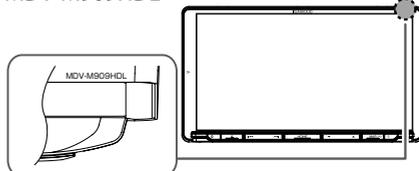
株式会社 JVCケンウッド

モデル名表示位置

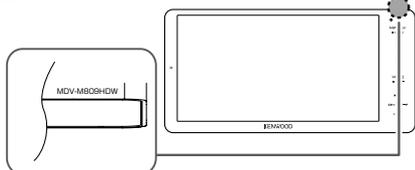
MDV-M909HDF



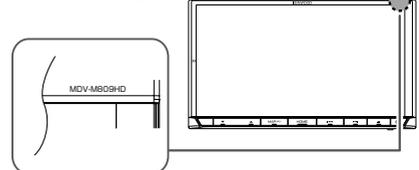
MDV-M909HDL



MDV-M809HDW



MDV-M809HD



My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

はじめに

安全上のご注意.....	7
使用上のご注意.....	10
本書の読みかた.....	12
本書の構成.....	12
説明書について.....	13
本書の表記.....	14
簡単機能ガイド.....	15
ナビゲーション機能.....	15
ドライブに役立つ交通情報.....	15
音楽や映像を楽しむ.....	16
情報確認や各種設定の変更.....	16

基本操作

各部の名称とはたらき.....	17
本機のフロントパネルについて.....	19
基本操作.....	20
電源を入れる / 切る.....	20
電源オン.....	20
電源オフ.....	20
画面 / リストの操作.....	20
主な画面について.....	21
HOME 画面を表示する.....	21
MENU 画面の操作.....	22
INFO エリアの情報表示について.....	23
カスタムメニューを使う.....	25
カスタムメニューを表示する.....	25
ショートカットボタンを割り当てる.....	25
サブメニューを使う.....	25
ユーザーを切り替える.....	26
音量を調整する.....	27
ナビゲーションの音量を調整する.....	27
AV またはハンズフリー電話の音量を調整する.....	27
画面表示を消す.....	27
文字入力のかた.....	28
文字を入力する.....	28
最初にする設定 / 確認.....	29
フロントパネルの角度調整.....	29

視野角を調整する (MDV-M909HDL/ MDV-M809HDW/MDV-M809HD のみ).....	29
接続状態を確認する.....	30
車両の設定をする.....	31
車両ナンバーを設定する.....	31
車両メンテナンスを設定する.....	31
ハンドルの位置を設定する.....	32
オートアンテナの設定をする (オートアンテナ装着車のみ).....	32
アンテナの設定をする.....	32
アンテナを伸ばす / しまう.....	32
ステアリングリモコンを使う.....	33
ステアリングリモコンについて.....	33
車両設定をする.....	33
独自に機能を割り当てる (ユーザー学習).....	33
ステアリングリモコンキーの割り当てを 変更する.....	35
ステアリングリモコンキーの割り当てを 初期化する.....	35
セキュリティの設定をする.....	35
暗証番号を設定する.....	35
セキュリティインジケータの設定をする.....	36
自宅を登録する.....	36
Bluetooth 機器を登録する.....	37
オープニング画面をカスタマイズする.....	38

ナビゲーション

地図の見かたと操作.....	39
現在地図画面の見かた.....	39
ゾーン 30 エリアの表示について.....	40
地図の縮尺を変える.....	40
市街地図について.....	41
地図の向きと表示を切り替える.....	41
3D 地図の傾き角度を変更する.....	41
地図を 2 画面表示する.....	42
地図小または中画面を引き出す.....	42
地図をスクロールする.....	43
スクロールしたときの地図表示.....	43
ランドマークの情報を見る.....	44
マップクリップを利用する.....	44
ショートカットボタンを使う.....	45
周辺検索と周辺情報を取得する.....	46

ナビゲーションの流れ.....	47
自宅に帰る / 自宅を変更する	48
自宅に帰る	48
自宅を変更する	48
行き先を探す	49
検索画面での営業時間外表示について	49
名称から探す	49
エリアを指定して検索する	50
ジャンルで絞り込む	51
ジャンルから探す	51
登録地点から探す	52
住所から探す	52
履歴から探す	52
履歴を削除する	53
電話番号、マップコード、郵便番号、 緯度経度で探す	53
ルートの探索と案内.....	54
ルートの探索と案内を開始する	54
目的地に設定してルートを探る	54
ルートの探索条件を選択して案内を開始する	54
VICS によるルート探索	55
複数の到着地点情報があったとき	55
ルート案内画面について	56
一般道路でのルート案内	56
高速道路でのルート案内	57
案内ポイントでの割り込み表示	58
ここで案内表示	58
交差点案内図の表示	58
高速道分岐イラストの表示	58
ETC レーン表示	59
案内先読みガイド表示	59
音声案内について	60
ルートを再探索する	62
ルートを編集する	62
経由地を追加する	62
目的地・経由地の順番を入れ替える	63
目的地・経由地を削除する	63
利用するインターチェンジを変更する	64
変更したインターチェンジを元に戻す	64
走行中のルートを表示する	65
ルート全体を表示する	65
目的地を表示する	65
ルート案内を終了する	65
ルートから外れたときは	65

地点を登録する.....	66
地点を登録する	66
登録した地点をリストで見る	66
登録地点を編集する	66
グループを編集する	67
登録地点を削除する	67

オーディオ・ビジュアル

AV の基本操作	68
ソースを切り替える	68
現在地図画面から AV 画面を表示する	68
「K2テクノロジー」を使う	69
パッセージスリーブ機能を使う	69
画質を調整する	69
映像の画面表示サイズを変更する	70
AV 画面での割り込み表示について	70
iPod の曲を再生する.....	71
iPod を取り外す	71
画面の見かたと操作	71
USB 機器 /SD カードのファイルを 再生する	72
USB 機器を接続する	72
USB 機器を取り外す	72
SD カードを入れる / 出す	73
画面の見かたと操作	74
オーディオファイルの AV 画面	74
ビデオファイルの AV 画面	75
再生リストと再生モードについて	76
カテゴリーデータベースから曲または ビデオを再生する	77
カテゴリーデータベースを作成する	77
カテゴリーデータベースモードで再生する	77
内蔵メモリ /SD カードに録音する ...	78
録音について	78
録音設定をする	78
録音する	79
録音したデータを再生する	80
録音データのタイトルを編集する	81
タイトルを消去する	82
アルバムアートワークとして画像を 表示させる	82
アートワークを削除する	82
録音データを削除する	83
録音データを SD カードに移動する	83

サウンドの設定をする.....	116
車両タイプを設定する.....	117
スピーカー構成を設定する.....	117
スピーカーのクロスオーバー周波数を調整する.....	117
リスニングを設定する.....	118
リスニングポジションを微調整する.....	119
フロントフォーカスの微調整をする.....	119
設定した値を初期設定に戻す.....	120
プリセットイコライザーを設定する.....	120
ユーザーイコライザーを設定する.....	120
調整したイコライザーカーブを保存する.....	120
ホールシミュレーションを設定する.....	121
音響効果を設定する.....	121
プロモードEQを使う.....	122
プロモードEQについて.....	122
プロモードEQの調整をする.....	123
ソースの音量レベルを設定する.....	125
システムの設定をする.....	126
システムを初期化する.....	127
設定をSDカードに保存する.....	128
設定データを本機に読み込む.....	128
イルミネーション色を設定する.....	128
画面の色を設定する.....	129
ゴールオートボリュームを設定する.....	129
アナログメーターの設定をする.....	130
外部機器の設定をする.....	130
本機のSSIDを変更する.....	132
バージョンを確認する.....	132
地図更新について.....	133
開通した道路情報の更新.....	133
KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する.....	133
KENWOOD MapFan Club のサービスとは.....	133
QRコードを使ってKENWOOD MapFan Club に登録する.....	133

Bluetooth

Bluetooth 機器の登録と設定.....	134
本機にBluetooth機器を登録する.....	134
オートペアリング機能で登録する.....	135
Bluetoothの設定をする.....	135
Bluetooth機器の使用する機能を変更する.....	136
Bluetooth機器の接続を解除する.....	136
登録した機器を削除する.....	137
PINコードを変更する.....	137
本機のデバイス名を変更する.....	137
ハンズフリーを使う.....	138
電話メニュー画面を表示する.....	138
電話メニュー画面の見かたと操作.....	138
ハンズフリーで電話を受ける / 切る.....	138
プリセットダイヤルを使う.....	139
プリセットダイヤルから電話をかける.....	139
プリセットダイヤルに電話番号を登録する.....	139
プリセットダイヤルの登録を削除する.....	139
履歴から電話をかける.....	140
電話帳から電話をかける.....	140
PBAP対応機器の電話帳を登録する.....	140
電話帳を削除する.....	141
ダイヤルして電話をかける.....	141
地点情報から電話をかける.....	141
リダイヤルで電話をかける.....	142
音声認識機能で電話をかける.....	142
Bluetooth オーディオ機器を再生する.....	142
画面の見かたと操作.....	142

取付

取付用部品一覧.....	144
取付作業の進めかた.....	145
作業上のご注意.....	145
取り付け手順.....	145
MDV-M909HDF.....	145
MDV-M909HDL.....	146
MDV-M809HDW/MDV-M809HD.....	149
センサー学習.....	149
MDV-M909HDF の取り付け情報を 取得する.....	150
本機の取り付け.....	152
GPS アンテナの取り付け.....	154
取り付け上のご注意.....	154
取り付け方法.....	154
Bluetooth ハンズフリー通話用マイクの 取り付け.....	155
取り付け上のご注意.....	155
取り付け方法.....	155
地デジ用アンテナの取り付け.....	156
取り付け上のご注意.....	156
取り付け方法.....	157
周辺機器の接続.....	160
ETC2.0 車載器（別売品）の接続方法.....	161
リアモニター（別売品）、ドライブレコーダー （別売品）の接続方法.....	162
フロントビューカメラの接続.....	163
マルチビュー車載カメラ CMOS-320（別売品） の接続方法.....	163
リアビューカメラの接続.....	167
リアビューカメラの接続方法.....	167
ドライブレコーダーの接続.....	170
DRV-N530（フロント用）（別売品）の 接続方法.....	171
フロントパネルの基準角度設定 （MDV-M909HDL のみ）.....	172
電源の接続.....	176

付録

別売品について.....	178
自転車位置の測位精度について.....	179
地図記号の凡例.....	181
地図データベースについて.....	183
ソフトウェア使用許諾契約書.....	185
VICS について.....	187
メディアおよびファイルについて... ..	189
Bluetooth について.....	196
iPod について.....	196
故障かなと思ったら.....	197
主な仕様.....	212
特許権 / 著作権 / 商標など.....	215
索引.....	220
保証とアフターサービス.....	222
保証書.....	224

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告

-  **本機はDC12V ㊚アース車以外で使用しない**
火災や故障の原因となります。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。
-  **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。
-  **取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない**
制動不能や発火、交通事故の原因となります。
-  **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
交通事故やけがの原因となります。
-  **フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない**
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。
-  **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
-  **説明書に従って取り付け・配線をする**
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。
-  **作業前に必ずバッテリーの㊚端子を外す**
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。
-  **作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**
車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。
-  **必ず付属の部品や指定の部品を使用する**
本機の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

-  **コード類は、運転を妨げないように引き直し固定する**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。
-  **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
-  **コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
-  **パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する**
正しく配線しないと安全機能が動かず、交通事故の原因となります。
-  **取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する**
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
-  **ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**
誤って飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

-  **自動車のコンソールに取り付ける**
本機の使用前または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。
-  **直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けられない**
本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
-  **水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けられない**
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
-  **本機の通風口や放熱板をふさがない**
本機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
-  **コードの扱いに注意する**
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

警告

-  **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
-  **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
-  **本機内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが本機にかからないようにご注意ください。
-  **故障や異常な状態のままで使用しない**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
-  **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

**雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**

落雷による感電の原因となります。

**ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する**

ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

**ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

⚠ 注意**本機を車載用以外で使用しない**

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

**ディスプレイを前に倒した状態のまま運転しない**

車の衝突、および急ブレーキやカーブなどで衝撃を受けて身体が本機と接触した場合、けがの原因となることがあります。

**ディスプレイや可動部に負荷を与えない**

ディスプレイに袋を吊り下げたり、上から手をつけて押さえたりしないでください。脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となることがあります。

**ディスプレイの温度を確認してから起倒や角度調整をする**

日光やヒーターの熱風などが長時間直接あたっていた場合や長時間連続使用した場合などは、本機が高温になり、やけどの原因となることがあります。その場合、温度が低下するまで使用を控えるようにしてください。

**可動部やディスク挿入口に手や指を入れない**

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ**⚠ 警告****異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能が操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.197)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンター(裏表紙)へご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール(ANT CONT)端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。(→ P.32)

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
 - 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
 - 細街路を走行中の現在地図画面
 - 市街地図を表示しているとき
 - マップマッチングしていないとき
 - 駐停車中
- *: 細街路とは、幅員 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について (MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/ MDV-M809HDのみ)

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

フロントパネルについて

(MDV-M909HDFのみ)

フロントパネルを倒す / 戻すなど、動かすときは指を挟まないように注意してください。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などは、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、「システムを初期化する」(→ P.127)で行うことができます。

なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」では消去できません。個別に解除 / 削除してください。

- 暗証番号の解除
：「暗証番号を解除する」(→ P.36)
- 内蔵メモリ / SD カードに録音したデータ
：「録音データを削除する」(→ P.83)

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また本機は、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH1/DS4/OF4

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH/DS/OF：FH-SS、DS-SS、OFDM
変調方式を表します。

1：電波干渉距離は 10m 以下です。

4：電波干渉距離は 40m 以下です。

□ □ □：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(→ P.7)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法について説明しています。(→ P.17)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション(以降、「ナビ」)の操作方法について説明しています。(→ P.39)
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル(以降、「AV」)の操作方法について説明しています。(→ P.68)
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。(→ P.104)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作方法について説明しています。(→ P.134)
取付	車両への接続や取り付け方法を説明しています。(→ P.144)
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。(→ P.178)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- 本書では、主に MDV-M909HDL の画面で説明しています。そのため、ご使用の機種によっては位置が違うボタンや画面が説明の中に出てくることがあります。
- “(MDV-XXX のみ)” などは、機能の対象となる機種を表します。

本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。
<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>



FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



説明書について

説明書の構成について

本製品の説明書は、以下のように提供しています。

● 取扱説明書（本書）

本機を安全にご使用いただくためのご案内や基本的な操作、機能の紹介、車両への接続や取り付け方法などを説明しています。

● オプションマニュアル

本機と連携して使用することができるスマートフォンアプリの使用法や、ドライブレコーダーなどの別売品を接続したときの操作方法を説明しています。オプションマニュアルは、スマートフォンやタブレット、パソコンなどで、以下のウェブサイトからダウンロードして読むことができます。（通信費はお客様のご負担となります）

https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/mdv-m909_m809/



オプションマニュアルでは以下の機能について説明しています。

■ MapFanAssist

「MapFanAssist」アプリでブックマークした地点やおでかけプランなど一部の機能をサーバーを介して本機と連携することができます。



<https://www.kenwood.com/jp/car/car-navi/map-fan-assist/>

■ SMART USEN

音楽放送のプロが選曲した1,000を超えるチャンネルが、いつでも手軽に楽しめる音楽聴き放題スマートフォンアプリケーションです。本機からチャンネル選択などの操作をすることができます。

■ NaviCon

「NaviCon」で登録した地点を本機に送信し、目的地に設定したり、本機に地点登録することができます。

■ KENWOOD Drive Info.

運転に便利なコンテンツや検索機能など、本機と連携することで機能を拡張することができます。



<https://www.kenwood.com/jp/car/apps/products/kenwood-drive-info/>

■ VOIPUT

音声で行き先の住所またはフリーワードの検索や楽曲検索をすることができます。また、フリーワード検索の文字や、録音データのタイトル編集の文字を音声で入力することができます。



<https://www.kenwood.com/jp/car/apps/products/voiput/>

■ ドライブレコーダー DRV-N530

ナビ連携ドライブレコーダー DRV-N530（別売品）の操作方法について説明しています。

■ ナビ連携フロント / リア 2 カメラモデルのドライブレコーダー

ナビ連携 2 カメラモデルドライブレコーダー DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940（別売品）の操作方法について説明しています。

■ サブリアカメラ機能

リアビューカメラの補助としてドライブレコーダーのリア映像を表示する方法（サブリアカメラ）について説明しています。

■ バーチャルルームミラー機能

後方のドライブレコーダーの映像を表示する方法（バーチャルルームミラー）について説明しています。

■ フロント / リアビューカメラ

別売のフロント / リアビューカメラの操作方法について説明しています。

■ ETC / ETC2.0 車載器

別売のETC/ETC2.0車載器の操作方法について説明しています。

■ リアモニター

別売のリアモニターの操作方法について説明しています。

本書の表記

フロントパネルキー名：

本書ではフロントパネルのキーを次のように表記しています。

HOME → **【HOME】**

インデックス：

章の内容を示すインデックスです。

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** ▶
【目的地検索】 ▶ **【名称】** をタッチする



タッチするボタン：

画面のボタンを複数回タッチする場合は、タッチする順番にボタンを『▶』でつなげて表記しています。

ボタン名：

本書では、文字のあるボタンを次のように表記しています。



→ **【目的地検索】**

文字が記載されていないボタンは、本機で表示されるアイコンを掲載しています。

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを AM または FM に切り替える (→ P.68)



ここまでの手順：

下で説明する操作の前に、ここに記載されている操作を行います。

参照ページ：

参照ページのページ番号です。

■ VICS 情報表示を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

- 1 **【VICS 情報表示】 (交通情報)** をタッチする

設定項目の種類：

設定項目の種類を表記しています。



→ (交通情報)

設定画面の上にある種類を呼び出すボタンにタッチすると、設定項目の種類の先頭を表示します。



・ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。

補足：

手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

※ 上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なる場合があります。

簡単機能ガイド

ナビゲーション機能

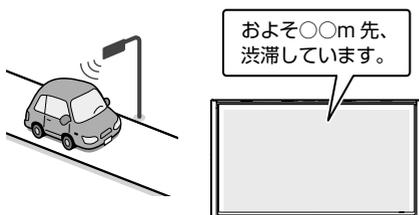


目的地検索画面

施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探ることができます。
(→ P.49)



ドライブに役立つ交通情報



VICS 情報を受信して、渋滞や規制など、さまざまな交通情報をアイコンや音声でお知らせします。(→ P.104)
また、別売の ETC 車載器や ETC2.0 車載器を接続すると、ETC の利用料金をお知らせすることもできます。

● ルート探索・編集

行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加することもできます。
(→ P.54)



● ルート案内

行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。(→ P.56)



はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

音楽や映像を楽しむ

いろいろなメディアで音楽や映像をお楽しみいただけます。

■ ソース切替画面 (→ P.68)



iPod

USB ^[1]

SD

内蔵メモリ

マルチ AV ブラウザ

DISC

地デジ

FM

AM

AV-IN

Bluetooth Audio

HDMI ^[2]

SMART USEN

Wireless Mirroring

交通情報

STANDBY

^[1] USB 接続ケーブル KNA-22USB (別売品) が必要です。

^[2] HDMI 接続ケーブル KNA-20HC (別売品) が必要です。

情報確認や各種設定の変更

情報・設定画面では、ECO 情報や接続状態を確認できます。

また、本機のさまざまな設定をお好みにあわせて設定し直すことができます。

■ 情報・設定画面 (→ P.104)



● ナビゲーション設定

地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。(→ P.111)

● サウンド設定

車内の音響効果や音質などを設定します。(→ P.116)

● システム設定

車両やシステム全般の設定を行います。(→ P.126)

● 外部機器設定

Bluetooth、外部機器などの接続設定を行います。(→ P.130)

● 登録地点編集

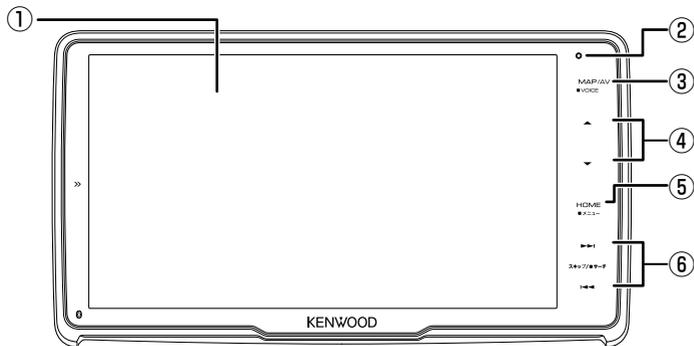
登録した地点の名称や電話番号などを編集します。(→ P.66)

● MapFan 連携設定

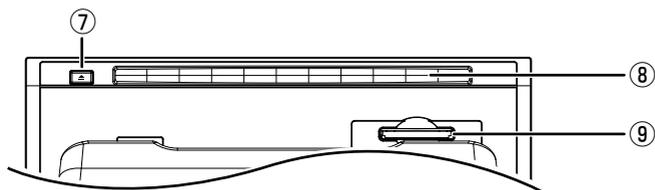
カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」を使用するときの設定を行います。詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

各部の名称とはたらき

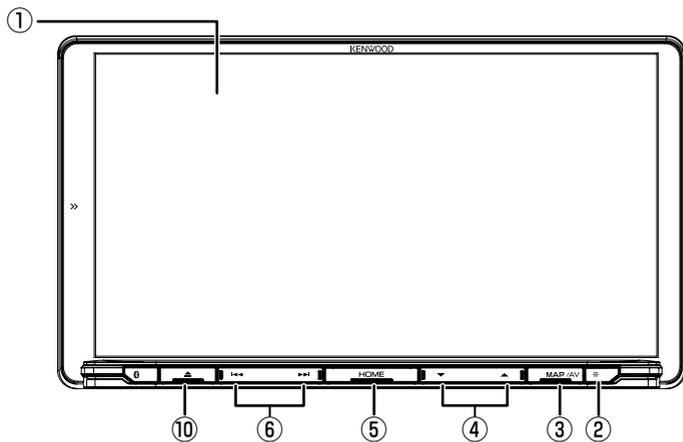
MDV-M909HDF



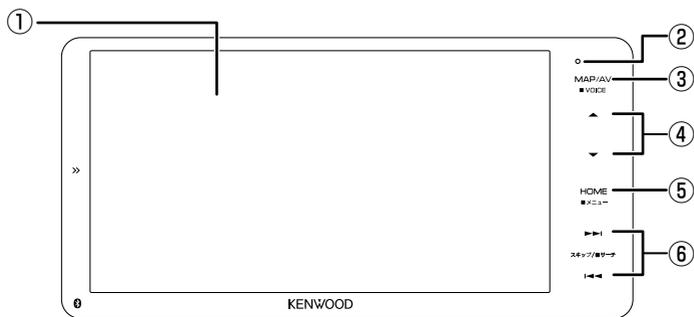
パネルを倒した時 (MDV-M909HDF のみ)



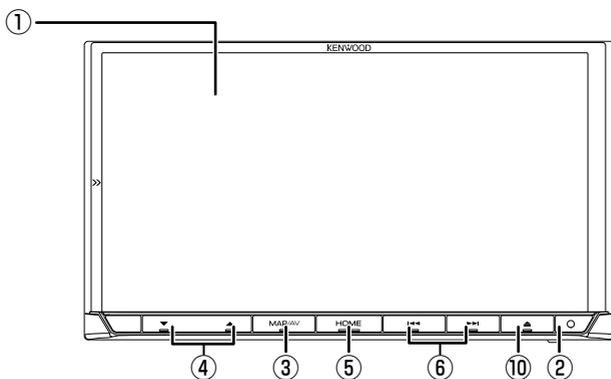
MDV-M909HDL



MDV-M809HDW

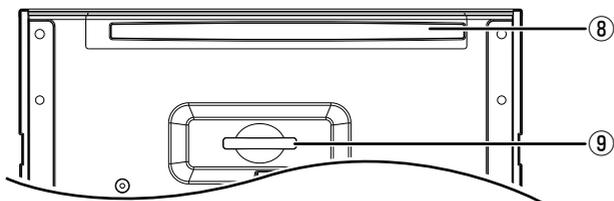


MDV-M809HD



パネルオープン時

(MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/MDV-M809HD のみ)



- ① 画面
- ② セキュリティインジケーター
セキュリティインジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。
(→ P.36)

- ③ [MAP/AV]
- 現在地図画面を表示します。(→ P.39)
 - 現在地図画面表示中に押し続けると選択しているソースの AV 画面を表示します。
 - Bluetooth 接続中に押し続けると、スマートフォンの音声認識機能が起動します。

- ④ [▼] / [▲] (音量キー)
- AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。
 - ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ~ 40) します。



- [▲] を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ナビゲーションの音声案内中に音声案内の音量を音量キーで調整できるように設定できます。(→ P.112)
- 音声案内の音量は、ナビ設定でも調整できます。(→ P.112)
- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、外部機器設定でも調整できます。(→ P.135)
- ハンズフリー電話中の音量調整をしないように設定することもできます。(→ P.136)

- ⑤ [HOME]
- HOME 画面を表示します。(→ P.21)
 - 押し続けると MENU 画面を表示します。

- ⑥ [◀] / [▶] (スキップ / サーチキー)
- FM/AM / 地デジ :
放送局を切り替えます。
FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
 - 音楽再生 / ビデオ再生 :
前または次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早戻し / 早送りします。
 - SMART USEN
お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。

- ⑦ [▲] (イジェクトキー)
(MDV-M909HDF のみ)
ディスクの出し入れ (→ P.88) をします。

- ⑧ ディスク挿入口
ディスクを挿入します。

- ⑨ SD カード挿入口
SD カードを挿入します。

- ⑩ [▲] (オープンキー)
(MDV-M909HDL/MDV-M809HD のみ)
フロントパネルの角度調整 (→ P.29) やディスク (→ P.88)、SD カードの出し入れ (→ P.73) を行うためのメニューを表示します。
MDV-M809HDW は MENU 画面から操作します。
(→ P.29)



- MDV-M809HDW の②~⑥は、本書では「押して」と記載していますが、タッチすると機能がはたります。

本機のフロントパネルについて

■ MDV-M909HDL/MDV-M809HDW / MDV-M809HD

- フロントパネルを閉じているときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じます。ただし、排出したディスクが残っているときは開いたままとなります。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じますが、このときにフロントパネルに触れてもフロントパネルは開きません。

■ MDV-M909HDF

- フロントパネルを倒す / 戻すときや、角度調整を行うときは、画面の操作ボタンに触れないようにフロントパネルの枠を持って行ってください。

基本操作

電源を入れる / 切る

電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、GPSの測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによっても、GPSの測位に時間がかかります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消去されません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- 録音中は電源をオフにしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

[戻る] をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



■ 設定画面

設定画面は、設定の種類ごとにまとめてリストで表示されます。

リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目をタッチして決定します。

②をタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。



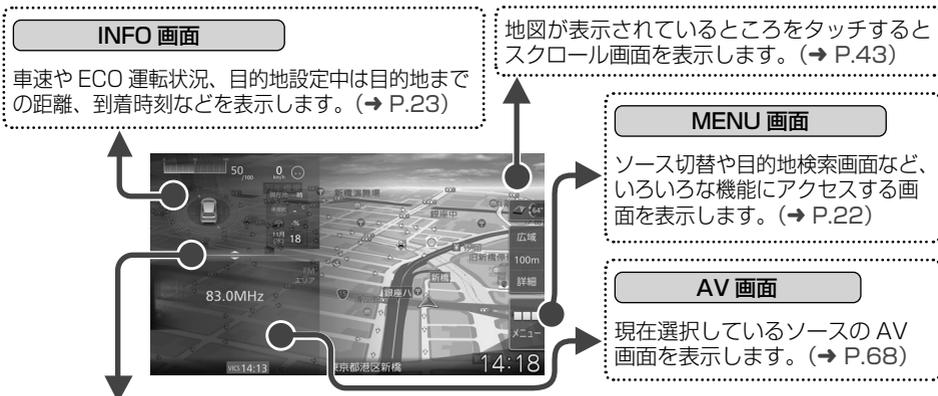
主な画面について

HOME 画面を表示する

1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME 画面は【HOME】を押すと、いつでも表示できます。

HOME 画面は、以下の画面で構成されています。



上または下にドラッグすると INFO 画面と AV 画面の表示エリアの大きさが変わります。

INFO 大 / AV 小	INFO 中 / AV 中	INFO 小 / AV 大



- INFO 画面、AV 画面は HOME 画面から消すことはできません。地図を全画面で表示したい場合は、【MAP/AV】を押して現在地図画面を表示してください。
- AV 画面は画面の上方向いっぱいまでドラッグすると AV 全画面になります。
- INFO 画面の全画面表示はありません。
- HOME 画面の地図はスクロールすることができます(→ P.43)。スクロール画面で [現在地] をタッチすると現在地図画面ではなく、HOME 画面に戻ります。
- 「外部機器設定」の [バーチャルルームミラー] 設定が [ON] に設定されているときに、別売のドライブレコーダーまたは別売のリアカメラのどちらか、または両方が接続されていると [V. ルームミラー] が表示されます。設定方法についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。バーチャルルームミラーに必要な別売のドライブレコーダー、リアビューカメラは 178 ページの「別売品について」をご覧ください。
- 本機に別売のフロントビューカメラを接続して、「AV-IN 接続機器」がフロントカメラに設定されていると HOME 画面に [カメラ] が表示されます。設定方法についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。
- 地図エリアは、地図の縮尺(→ P.40)、向きと表示方法(→ P.41)を変えることができます。また、地図に表示されるマークや表示については 39、56、57 ページをご覧ください。
- 案内ポイントなど割り込み情報があると割り込み情報を表示します。割り込み表示については 58 ページをご覧ください。

MENU 画面の操作

1 HOME 画面で【メニュー】をタッチする



MENU 画面が表示されます。



- 【HOME】を押し続けても、MENU 画面を表示することができます。
- MENU 画面をフリックまたはドラッグすることで、それぞれの画面を表示することもできます。

情報・設定画面

ECO、VICS の情報や、本機の設定を変更する画面を表示します。(→ P.104)



外部出力切替の画面を表示します。

ソース切替画面

AV ソースを切り替える画面を表示します。(→ P.68)



サブメニュー

画面の明るさ調整や、画面をオフ、ユーザーを切り替えるボタンなどを表示します。(→ P.25)



カスタムメニュー画面

よく使う機能をショートカットボタンに登録します。(→ P.25)



電話メニュー画面

電話 (Bluetooth ハンズフリー) メニュー画面を表示します。



電話メニューを使う場合は、Bluetooth 機器の登録を行ってください。(→ P.134)

ルート案内を終了します。(→ P.65)

ルート編集画面を表示します。(→ P.62)

画面表示される

 をタッチしてもそれぞれの画面が表示されます。

目的地検索画面

施設の名称やジャンル、住所など、いろいろな検索方法で行き先を検索できます。(→ P.49)

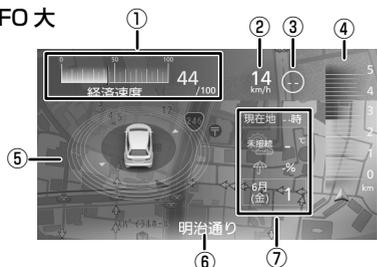


ドライブレコーダー画面

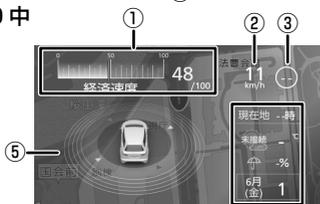
本機に別売のドライブレコーダー DRV-N530、DRV-EMN5700、DRV-MN970、または DRV-MN940 を接続すると、ドライブレコーダーの映像が表示されます。

INFO エリアの情報表示について

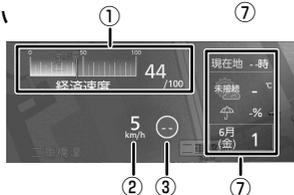
INFO 大



INFO 中



INFO 小



① ECO 情報：

ECOドライブ評点をグラフと数字で表示します。また、メッセージ（eスタート/急加速/急減速/経済速度）も表示します。

② 車の速度：

車のおおよその速度を表示します。実際の速度表示とは異なります。

③ 速度制限表示：

走行中の道路の速度制限を表示します。
②が速度制限を超過すると、「速度注意」と表示されます。表示される速度は、天候や道路状況により実際の交通規制と異なる場合があります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

④ 渋滞状況の表示：

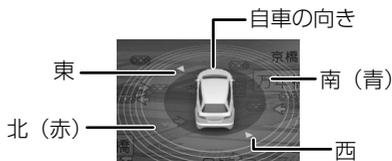
道路の渋滞状況を色で表示します。一般道走行中は5km以内、高速道路走行中は20km以内の渋滞状況が表示されます。

渋滞状況	表示色
順調	青
混雑	橙
渋滞	赤
不明	灰
情報の取得不可	黒

目的地を設定しているときは、案内ルートの渋滞状況を表示します。目的地を設定していないときは、現在走行中の道路情報になります。

⑤ 自転車の方向表示 / 注意喚起表示

● 自転車の方向表示



● 注意喚起表示



注意喚起アイコン

注意喚起メッセージ

種類	注意喚起アイコン	注意喚起メッセージ
合流案内 (左から合流)		この先、合流があります
合流案内 (右から合流)		この先、合流があります
合流案内		この先、合流があります
踏切案内		この先、踏切です
VICS 車線規制 (車線規制)		この先、車線規制があります
VICS 車線規制 (右車線規制)		この先、車線規制があります
一時停止		この先、一時停止です
速度注意ポイント案内		この先、スピードに注意！
休憩案内		そろそろ休憩しましょう
日没ライト案内 / 警告		ライトをつけましょう ライトをつけてください



- 注意喚起メッセージは INFO 大のときに表示されます。INFO 小、中のときに、注意喚起がある場合は、INFO 大の表示に自動で切り替わり、表示されます。

⑥ 道路名：

道路情報がある場合は、道路名が表示されます。

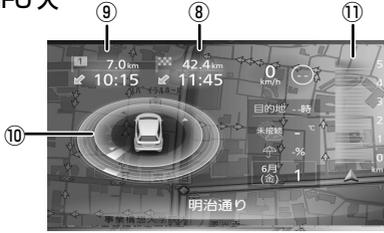
⑦ カレンダー / 天気予報 :

タッチすると1ヶ月分のカレンダーを表示します。
 天気予報は、カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携しているときに表示します。詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては13ページを参照ください。

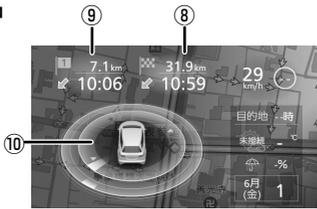
■ 目的地 / 経由地を設定しているとき

目的地 / 経由地を設定しているときのみ表示されるINFO情報について説明します。

INFO 大



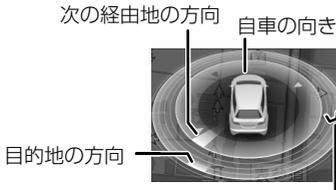
INFO 中



INFO 小



- ⑧ 目的地までの距離と方角、到着予想時刻
- ⑨ 次の経由地までの距離と方角、到着予想時刻
 到着予想時刻がわからない場合は“—”と表示されます。
- ⑩ 目的地、経由地、自車の方向表示



次の経由地（青色）を除いた、残りの経由地の数を円で表しています。

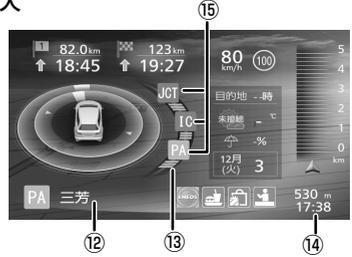
⑪ 渋滞状況表示 / 目的地表示 :

目的地までの距離が一般道走行中は5km以内、高速道路走行中は20km以内になると、 を表示します。
 渋滞状況表示の見かたについては、23ページの④をご覧ください。

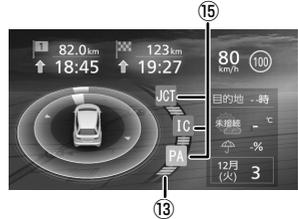
■ 高速道路での情報表示について

高速道路で表示されるINFO情報についての説明します。

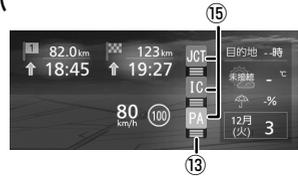
INFO 大



INFO 中



INFO 小



⑫ 施設名称 / 施設案内表示 :

進行方向にあるインターチェンジ (IC)、ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA) などの名称と各施設の設備が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大4個です。

⑬ 交通情報表示 :

施設間の交通情報が表示されます。

渋滞状況	表示色
順調	灰
混雑	橙
渋滞	赤

⑭ 次の高速施設までの距離と通過予想時刻

⑮ IC、SA、PA、JCT、¥アイコン表示：

進行方向にあるインターチェンジ (IC)、ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA)、料金所 (¥) を最大3個まで表示します。

アイコンをタッチするとハイウェイモード画面を表示します。ハイウェイモード画面については57ページをご覧ください。



- ・ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。

カスタムメニューを使う

よく使う機能やメニューをショートカットボタンに登録して呼び出すことができます。

カスタムメニューを表示する

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【カスタムメニュー】をタッチする**
カスタムメニュー画面が表示されます。



- ① **編集：**
②を編集する画面を表示します。
- ② **機能ショートカットボタン**

ショートカットボタンを割り当てる

よく使う機能をショートカットボタンに割り当てます。

お買い上げ時は、ショートカット1～4に機能が割り当てられていますが、変更することができます。手順2で機能を変更したいボタンをタッチすると変更することができます。

- 1 **【編集】をタッチする**



- 2 **機能を割り当てるボタンをタッチする**
- 3 **リストから機能を選ぶ**
- 4 **【戻る】をタッチする**
編集を終了して前の画面に戻ります。

サブメニューを使う

画面の明るさ、画面表示のオフやユーザー切り替え操作などができます。

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【サブメニュー】をタッチする**
サブメニューが表示されます。



- ① **明るさ**
本機の画面の明るさ (-4 ~ +4) を **-** または **+** をタッチして調整します。



- ・DVDビデオや地上デジタルTV放送の映像の明るさは、AV画面の「映像調整」の「ブライトネス」で調整します。(→ P.69)

- ② **【画面オフ】**
画面の表示を消します。

- ③ 【アンテナをしまう】 / 【アンテナを伸ばす】
 電動アンテナ装備車の場合に、本機のオートアンテナの設定を【あり】にする（→ P.32）と、このボタンが表示され（お買い上げ時は表示していません）オートアンテナを伸ばしたりしまったりできます。

④ ユーザー [1] / [2]

本機の設定を2ユーザー分保存しておくことができます。ナビを使うユーザーによって切り替えて使用します。



- ・ サブメニューを閉じるには、もう一度【サブメニュー】をタッチします。

ユーザーを切り替える

本機の一部の設定を2ユーザー分保存しておくことができます。また、ユーザー1、2は名前に変更することもできます。（→ P.26）

保存できる項目

- 音量設定（音声案内、着信、受話、Bluetoothの音質調整のマイクゲイン）
- 地図表示の設定（地図の向き、縮尺、ランドマーク）
- ユーザー登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルルートアジャスター

保存できる項目の設定を変更すると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【サブメニュー】をタッチする
- 2 【ユーザー】をタッチする



タッチするたびにユーザー1と2が切り替わります。

■ システム設定から切り替える

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】をタッチする



- 2 【ユーザー切替】（特別）をタッチする
- 3 【ユーザー選択】をタッチする



4 ユーザーを選ぶ

ユーザーを切り替えると「ユーザー切替中」と表示され、手順3の画面に戻ります。

■ ユーザー名を編集する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】をタッチする
- 2 【ユーザー切替】（特別）をタッチする
- 3 【ユーザー名編集】をタッチする
- 4 名前を編集する
 文字の入力方法は28ページをご覧ください。
- 5 【決定】をタッチする



ユーザー名が変更され、手順3の画面に戻ります。

音量を調整する

ナビゲーションの音量を調整する

ナビの音声案内の音量を調整します。1～40まで調整できます。

お買い上げ時は 25 に設定されています。

- 1 【HOME】 を押して 【メニュー】 ▶
【情報・設定】 ▶ 【ナビ】 をタッチする



- 2 【案内音声の音量】（案内）をタッチする

- 3 バーまたは  /  をタッチして音量を調整する



- 4 【閉じる】 をタッチして設定画面を閉じる



- ナビゲーションの音声案内中に音声案内の音量を音量キーで調整できるように設定できます。(→ P.112)

AV またはハンズフリー電話の音量を調整する

- 1 【▲】 / 【▼】（音量キー）を押す

AV ソースを選択しているときは、選択しているソースの音量を調整 (0～40) します。Bluetooth のハンズフリー電話は、通話中または着信中に音量が調整 (0～40) できません。



- 【▲】 を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。

画面表示を消す

本機を使用しないときなどに画面表示を消して時計のみを表示します。

時計表示も消すことができます。時計表示の設定については 126 ページをご覧ください。

- 1 【HOME】 を押して 【メニュー】 ▶
【サブメニュー】 をタッチする
- 2 【画面オフ】 をタッチする



画面が消えて時計が表示されます。



- 画面表示を消しているときに、本機の電源をオフにすると、次に本機の電源をオンにしたときには、画面は表示されません。
- リアビューカメラが接続されている場合は、画面を消しているときにシフトレバーを「R」に入れると、リアビューカメラの画面が表示されます。
- 画面表示を消しているときに、別の画面を表示すると画面オフは解除されます。

画面を表示させる

- 1 画面をタッチする



画面が表示されます。



- 【HOME】 を押すと HOME 画面を、【MAP/AV】 を押すと現在地図画面を表示します。
- ステアリングリモコンに「MAP」キーを設定している場合は、キーを押し続けると画面が消えます。もう一度押し続けると画面を表示します。

文字入力のしかた

文字を入力する

1 【入力切替】をタッチする



文字の入力形式をキーボード形式と携帯電話のようなテンキー形式に切り替えます。テンキー形式では、フリック入力とトグル入力ができます。

2 入力する文字をタッチする

【切替】：

文字種が切り替わります。

【小文字】：

小文字に切り替わります。

【半角】：

半角文字に切り替わります。

【音声入力】：

カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」を使うと音声で入力することもできます。詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては13ページを参照ください。

【変換】：

ひらがな、カタカナを漢字に変換します。変換候補リストを表示します。

【無変換】：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

【確定】：

テンキー形式時に、入力した文字を確定します。

【決定】：

文字入力を終了します。



- ◀ または ▶ をタッチして消去したい文字の右側にカーソルを移動して **削除** をタッチすると1文字を消すことができます。
- **BS** をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
- 名称検索の名称入力は、**【確定】** をタッチして決定してください。

最初にする設定/確認

はじめてご使用になるときや、本機の設定を初期化したときなど、最初に設定、確認していただきたい機能について説明します。

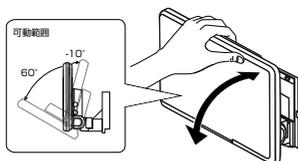
フロントパネルの角度調整

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライブポジションから見やすいように、フロントパネルの角度を調整できます。

角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。(MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/MDV-M809HDのみ)

■ MDV-M909HDL

- 1 フロントパネルの上側を持って、手で角度を調整する



- 角度を調整するときは、画面の操作ボタンに触れないようにフロントパネルの枠を持って調整してください。

■ MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/MDV-M809HD

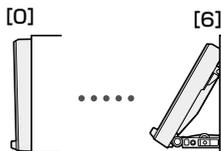
1

- MDV-M909HDL/MDV-M809HD
【▲】(オープンキー)を押す
- MDV-M809HDW

【HOME】を押して【メニュー】▶
【パネル】をタッチする



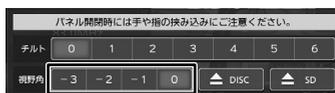
- 2 チルト [0] ~ [6] をタッチする



- チルトアダプター(純正部品)を取り付けている場合は、設定できない角度があります。(MDV-M909HDLのみ)
- フロントパネルの角度が [0] 以外に設定されていても、電源オフ時には [0] の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。(MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/MDV-M809HDのみ)

視野角を調整する (MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/ MDV-M809HDのみ)

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角([-3] ~ [0])をタッチして調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。



接続状態を確認する

本機に接続している機器の接続状態を確認します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶
[情報・設定] ▶ [接続] をタッチする



接続情報が表示されます。

表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。[初期化] をタッチすると、センサーの学習を初期化します。
専用カメラ	別売の CMOS-320 または CMOS-C320 をフロントまたはリアビューカメラとして接続しているときの接続状態を表示します。 フロント： フロントビューカメラのみが接続 リア： リアビューカメラのみが接続 フロント+リア： フロントビューカメラ、リアビューカメラの両方を接続
ドライブレコーダー	別売の本機対応フロントドライブレコーダーを接続しているときの接続状態を表示します。
リアドライブレコーダー	本機では使用しません。
ETC 車載器	別売の本機対応 ETC 車載器を接続しているときの接続状態を表示します。

項目	説明
ETC2.0 車載器	別売の本機対応 ETC2.0 車載器を接続しているときの接続状態を表示します。 接続中： ETC2.0 車載器を接続しているときに表示します。 接続中+光： ETC2.0 車載器が高度化光ビーコン/光ビーコンに対応しているときに表示します。



- 「専用カメラ」は、カメラの接続設定が [専用フロントカメラ] または [専用カメラ (コントロール機能付)] に設定されていると表示されます。専用カメラの設定方法についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。
- 「センサー学習」の初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。
- ETC2.0 車載器を接続すると、「ETC 車載器」が表示されている位置に「ETC2.0 車載器」の接続情報が表示されます。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きい場合は、センサー学習のリセットを行ってください。
センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習するには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物 (建物、街路樹など) が少ない場所を走行してください。



- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。
- ドライブレコーダー、リアドライブレコーダー、ETC 車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識できるまで数分かかる場合があります。

車両の設定をする

車両ナンバーを設定する

車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。お買い上げ時は [5・7] に設定されています。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶
【情報・設定】▶【ナビ】をタッチする



- 2 【車両ナンバー】（その他）をタッチする

- 3 車両ナンバーをタッチする

設定を変更すると手順 2 の画面に戻ります。設定を変更しない場合は、[閉じる] をタッチしてください。手順 2 の画面が表示されます。

車両メンテナンスを設定する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶
【情報・設定】▶【システム】を
タッチする



- 2 【車両メンテナンス】（車両）を
タッチする

- 3 設定する項目をタッチする

- 4 各項目の設定をする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
お知らせ設定	ON/OFF*	以下の設定した項目をお知らせするかどうかを設定します。[ON] に設定した項目は、手順 5 の「車両メンテナンス」画面で「ON」と表示されます。

項目	設定	説明
通知年月日	年月日 / 未設定 *	交換日などを設定します。
通知開始設定	なし * / 3 日前から / 7 日前から	お知らせを開始する日を設定します。
通知開始距離	*** km / 未設定 *	何 km 走行したらお知らせするかを設定します。
通知まであと		お知らせするまでの残りの距離を表示します。
メンテナンス名称		「お好み 1」、「お好み 2」でお知らせする名称を設定します。文字の入力方法は 28 ページをご覧ください。
設定消去		設定内容を消去します。タッチするとメッセージが表示されます。[[はい]] をタッチすると設定を消去します。

*：お買い上げ時の設定です。



- 【通知開始距離】は「バッテリー交換」、「車検」、「法定点検」、「お好み 1」、「お好み 2」では設定できません。
- 【メンテナンス名称】は「お好み 1」、「お好み 2」のみ設定できます。
- 設定した日、距離などになると本機を起動したときに画面でお知らせします。
※ 表示された画面の [今後表示しない] をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。([お知らせ設定] が [OFF] になります)
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず [設定消去] をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPS からの日付情報と車速信号を使用します。

ハンドルの位置を設定する

運転席の位置を設定します。左ハンドル車で、パッセンジャースリープ機能を使う場合に必要な設定です。お買い上げ時は [右] に設定されています。

パッセンジャースリープ機能については 69 ページをご覧ください。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】をタッチする



- 2 【ハンドル】(車両) をタッチする
- 3 ハンドルの位置をタッチする

設定を変更すると手順 2 の画面に戻ります。設定を変更しない場合は、[閉じる] をタッチしてください。手順 2 の画面が表示されます。

オートアンテナの設定をする (オートアンテナ装着車のみ)

オートアンテナを装着している場合に設定します。

[あり] に設定するとサブメニュー画面でアンテナを伸ばす/しまうができるようになります。お買い上げ時は [なし] に設定されています。

アンテナの設定をする

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】をタッチする



- 2 【オートアンテナ】(車両) をタッチする

タッチするたびに [あり]、[なし] が切り替わります。

アンテナを伸ばす / しまう

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【サブメニュー】をタッチする
- 2

■ アンテナを伸ばす

【アンテナを伸ばす】をタッチする



■ アンテナをしまう

【アンテナをしまう】をタッチする

ステアリングリモコンを使う

ステアリングリモコンについて

本機に車両のステアリングリモコンを接続し、設定を行うと、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。

ステアリングリモコン設定には、次の設定があります。

■ 車両設定

車両に合わせたステアリングリモコンの設定(下記)を行います。設定した後に機能の割り当てを変更することもできます。(→ P.35)

■ ユーザー学習

独自にステアリングリモコンのキーに機能を割り当てたい場合に、この設定を行います。(→ P.33)

独自に割り当てた機能は、後から変更することもできます。(→ P.35)



- 本機とステアリングリモコンは、付属のETC/ステアリングリモコン対応ケーブルで接続します。
- ステアリングリモコンの対応車両については、以下のホームページでご確認ください。

<https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-300ex/compatibility/>



- 音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が15まで上がります。

車両設定をする

車両に合わせたステアリングリモコンのキー割り当てを設定します。

お買い上げ時は、[なし]に設定されています。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】をタッチする



- 2 【ステアリングリモコン】(車両)をタッチする

- 3 お使いの車のメーカーをタッチする

独自に機能を割り当てる(ユーザー学習)

ステアリングリモコンのキーに機能割り当て(ステアリングリモコン学習)を行います。



- すべてのキーに機能を割り当ててください。割り当てを行っていないキーに他のキーで登録した機能が割り当てられることがあります。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】をタッチする



- 2 【ステアリングリモコン】(車両)をタッチする

- 3 【ユーザー学習】をタッチする

- 4 【ステアリングリモコン学習】(車両)をタッチする

ステアリングリモコン学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。ステアリングリモコンは押さないでください。

- 5 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを2秒以上押す



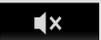
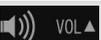
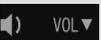
6 割り当てる機能をタッチする

割り当てた機能が表示されます。
手順 5 と 6 をくり返して、全てのキーに割り当てを行ってください。

7 【学習完了】をタッチする

学習が完了し、システム設定画面に戻ります。

■ キーに割り当てられる機能

キー	機能
未設定	設定しません。
HOME	HOME 画面を表示します。押し続けると MENU 画面を表示します。
MAP/AV	現在地図画面を表示します。現在地図画面中に押すと AV 画面を表示します。押し続けると、スマートフォンの音声機能を起動します。(Bluetooth 接続中)。
MAP	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面がオフになります。
AV	AV 画面を表示します。押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。AV オフ中に押し続けると前のソースに戻ります。
MODE	押すごとに AV ソースが切り替わります。押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。AV オフ中に押すと前のソースに戻ります。
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
	<ul style="list-style-type: none"> AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。 ハンズフリー通話時の受話音量 (0 ~ 40) を調整します。
	
	<ul style="list-style-type: none"> FM/AM / 地デジ : 放送局を切り替えます。FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 音楽再生 / ビデオ再生 : 前または次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。押し続けると、早戻し / 早送りします。 SMART USEN : お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。
詳細	詳細な地図を表示します。(地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。(地図画面表示中)

キー	機能
 音声検索	音声でフリーワード検索します。この機能を使用するには、カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」が必要です。詳細についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。
	音声でフリーワード検索します。この機能を使用するには、カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」が必要です。詳細についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。 ハンズフリーの着信中は通話を開始します。
	ハンズフリーの電話を受けます。(Bluetooth 接続中)
	ハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中) 着信時に押すと着信を拒否します。
	ハンズフリーの電話を受けます。着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。ハンズフリーの着信中は通話を開始します。
	スマートフォンの音声機能を起動します。(Bluetooth 接続中) 押し続けると音声機能を終了します。
 静止画	ドライブレコーダーで静止画を撮影します。
 録画	ドライブレコーダーで手動録画を開始します。

ステアリングリモコンキーの割り当てを変更する

割り当てた機能の変更や消去ができます。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】をタッチする



- 2 【ステアリングリモコン学習】（車両）をタッチする
- 3 割り当てを変更または消去するボタンをタッチする



- 4 変更したい機能をタッチする
機能を消去する場合は【未設定】をタッチしてください。
- 5 【変更完了】をタッチする
変更が完了し、システム設定画面に戻ります。

ステアリングリモコンキーの割り当てを初期化する

- 1 35 ページの「ステアリングリモコンキーの割り当てを変更する」の手順3で【学習初期化】をタッチする



初期化が完了し、システム設定画面に戻ります。

セキュリティの設定をする

暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- 暗証番号記入欄

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

暗証番号を忘れた場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】をタッチする



- 2 【暗証番号登録】（一般）をタッチする
- 3 設定する4～8桁の暗証番号を入力し、【決定】をタッチする



- 4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、【決定】をタッチする
メッセージが表示され、登録が完了します。

■ 暗証番号を変更する

設定した暗証番号を変更します。

- 1 [暗証番号変更] (一般) をタッチする
- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定] をタッチする



- 3 新しく設定する 4～8 桁の暗証番号を入力し、[決定] をタッチする
 - 4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定] をタッチする
- メッセージが表示され、変更が完了します。

■ 暗証番号を解除する

設定した暗証番号を解除します。

- 1 [暗証番号解除] (一般) をタッチする
- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定] をタッチする



メッセージが表示され、暗証番号が解除されます。

セキュリティインジケータの設定をする

本機の電源をオフにしたときに、セキュリティインジケータを点滅させるかどうかを設定します。お買い上げ時は [OFF] に設定されています。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [システム] をタッチする



- 2 [セキュリティインジケータ] (一般) をタッチする

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

- 1 自宅に車を停める
- 2 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [目的地検索] ▶ [自宅] をタッチする



確認メッセージが表示されます。

- 3 [はい] をタッチする
- 4 [地図] をタッチする
- 5 [自宅に設定する] をタッチする



メッセージが表示され、自宅が登録されます。

6 【決定】をタッチする



- 自宅までのルート設定や自宅の変更などは48ページをご覧ください。
- 自宅を登録していない場合は、現在地図画面の「自宅」からも登録することができます。(→ P.45)

Bluetooth 機器を登録する

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器側で “MDV-M909HDF”、 “MDV-M909HDL”、 “MDV-M809HDW”、または “MDV-M809HD” を選ぶ

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

3 デバイス名とパスキーを確認する



Bluetooth 機器側で PIN コードの表示または PIN コードの入力画面が表示された場合

表示されている本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力する

初期設定は「0000」に設定されています。Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。

PIN コードは、「Bluetooth の設定をする」(→ P.135) から確認できます。

4 使用する機能をタッチしてチェックを付けて【はい】をタッチする

【ハンズフリー 1】 / 【ハンズフリー 2】：
ハンズフリーを登録する番号を選びます。

【オーディオ/アプリケーション連携】：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

【電話帳登録】：
電話帳登録をします。

【Bluetooth テザリング】：
本機の MapFanAssist 機能または「KENWOOD Drive Info.」の機能を Bluetooth テザリングで使用するときは、外部機器設定の「Bluetooth テザリング」(その他)を【ON】に設定(→ P.131)しておいてください。

設定すると、この画面で【Bluetooth テザリング】が表示されます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。MapFan 連携機能と「KENWOOD Drive Info.」についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては13ページを参照ください。

Bluetooth 機器の登録が始まります。登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳の登録はここでチェックを付けなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は【ハンズフリー 1】にチェックが付いています。【ハンズフリー 1】に登録機器がある場合は、【ハンズフリー 2】にチェックが付いています。

オープニング画面をカスタマイズする

本機が起動するときに表示される画面（オープニング画面）を変更することができます。

1 オープニング画面にする画像ファイルをSDカードに保存する

オープニング画面として使用する画像ファイルを以下のようにSDカードに保存します。

ファイル形式	PNG ファイル
ファイル名	OpeningImage.png
ファイル配置	root/OpeningImage/ OpeningImage.png
画像サイズ	1280x720
ファイルサイズ	7Mbyte以下
色深度	トゥルーカラー (RGB888, 24bit カラー)、 αチャンネル無し

2 本機にSDカードを入れる

確認ダイアログが表示されます。



SDカードの挿入方法については、「SDカードを入れる / 出す」(→ P.73)をご覧ください。

3 【はい】をタッチする

オープニング画面が変更されます。

■ オープニング画面を初期化する

オープニング画面を元に戻します。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】▶【オープニング画面初期化】（表示）をタッチする

確認ダイアログが表示されます。



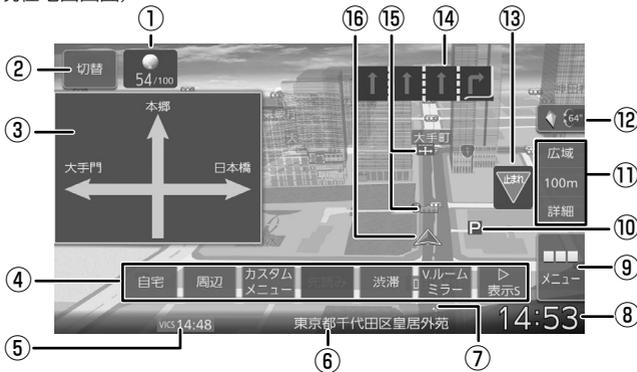
- 2 【はい】をタッチする

オープニング画面が初期化されます。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

現在地図画面以外を表示しているときにフロントパネルの【MAP/AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます。(現在地図画面)



① ECO 情報

ECO 情報を点数で表示します。(→ P.110)

② [切替]

タッチすると地図 2 画面表示の設定画面が表示されます。(→ P.42)

③ 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づく则表示されます。タッチすると表示を消します。

④ ショートカットボタン

タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。表示するボタンの数は「表示 S」と「表示 L」で異なります。また、別売のドライブレコーダーやカメラを接続していると異なります。(→ P.45)

⑤ VICS 情報提供時刻

VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑥ 現在地情報

現在の自転車位置の情報が表示されます。

⑦ 走行軌跡

これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示しないように設定できます。(→ P.115) また、走行軌跡のデータを消去することもできます。(→ P.115)

⑧ 時計

現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑨ [メニュー]

MENU 画面を表示します。(→ P.22)

⑩ ランドマーク

目印となる施設がマークで地図上に表示され

ます。表示するランドマークを設定することができます。(→ P.115)

⑪ [広域] / [詳細] / 縮尺

タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。(→ P.40) ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。縮尺表示をタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。(→ P.40)

⑫ (コンパスボタン)

地図の方位が表示されます。タッチすると、地図の向きと 2D/3D 表示を切り替えることができます。(→ P.41) 3D 表示のときにタッチし続けると、スライダーバーが表示され、傾き角度を変更することができます。(→ P.41)

⑬ (一時停止表示) / (日没ライト案内と警告表示)

一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンが表示されます。表示しないように設定することもできます。(→ P.112) 日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告が表示されます。

⑭ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑮ 案内地点

: 方面看板の案内地点が表示されます。
: レーン情報の案内地点が表示されます。

⑯ 自転車マーク

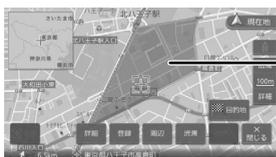
タッチすると自転車マークの周りの地図が拡大して表示されます。(ワンタッチルーペ機能) (→ P.40)



- 細街路（幅員 5.5m 未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図（→ P.41）の表示中は、常に細街路が表示されます。
- 地図 2 画面表示中と案内情報表示中はワンタッチルーペ機能（→ P.40）は使用できません。

ゾーン 30 エリアの表示について

ゾーン 30 エリアとは、歩行者や自転車の安全な通行を確保するために、時速 30 キロの速度規制を実施しているエリア（区域）のことです。縮尺が 300m 以下のときに地図上に青紫色で表示されます。表示しないように設定することもできます。（→ P.111）



ゾーン 30 エリア



- 気象・災害情報エリア（→ P.105）と重なる場合は、気象・災害情報エリアの表示が優先されます。
- ゾーン 30 エリアは、スクロール地図にも表示されます。

地図の縮尺を変える

HOME 画面、現在地図画面のどちらで操作しても同じ操作になります。

1 [広域] または [詳細] をタッチする



それぞれのボタンをタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

■ 地図を直接操作する

2 本の指でタッチして、指の間を開くまたは閉じます。



■ 自車位置の周りを拡大表示する (ワンタッチルーペ)

現在地図の縮尺が 65m 以上 650m 未満のときに、自車マークをタッチすると自車位置の周りの地図が拡大して表示されます。ワンタッチルーペを表示しないように設定することもできます。（→ P.111）



ワンタッチルーペの表示をタッチすると解除されます。

■ スライダーバーで縮尺を変える

1 縮尺表示をタッチして、タッチしたままスライダーバーのつまみを上下にドラッグする



市街地図について

市街地図は、縮尺が100m以下のスケールで表示されます。



- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることがあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面(→ P.43)で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 走行中は、連続スクロール、スライダーバーでの縮尺変更と、画面を直接タッチして拡大/縮小することはできません。

地図の向きと表示を切り替える

1 HOME画面または現在地図画面のコンパスボタンをタッチする

タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。



(3Dビュー)

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D地図が表示されます。3D地図では傾き角度を変更することができます。(→ P.41)

市街地図(→ P.41)では、スケールを50m以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル3Dマップが表示されます。

(2D ノースアップ)

地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

(2D ヘディングアップ)

進行方向が画面の上方向になるように表示されます。



- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。(→ P.111)
- 地域によっては、バーチャル3Dマップを表示できない場所があります。

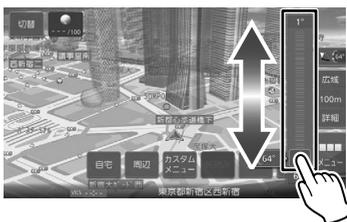
3D 地図の傾き角度を変更する

1 コンパスボタンをタッチし続ける



スライダーバーが表示されます。

2 スライダーバーのつまみを上下にドラッグする



スライダーバー上の任意のポイントをタッチしても傾き角度を変更できます。

■ 地図画面の傾き角度設定

1 コンパスボタンをタッチし続ける



傾き角度調整ボタンが表示されます。

2 傾き角度調整ボタンを押す



傾き角度調整ボタンをタッチするたびに5度ずつ調整できます。



- 傾き角度設定は、スクロール地図を表示中も変更できます。
- 現在地図の傾き角度は保存されるため、スクロール地図で傾き角度を設定しても、現在地図にすると元の傾き角度に戻ります。
- 現在地地図と地図子画面は同じ傾き角度になります。

地図を2画面表示する

現在地図画面の上に地図子画面を表示できます(地図2画面表示)。

1 [切替] をタッチする



2 表示方法を選ぶ



[地図]

現在地図画面が表示されます。

[地図&地図小]

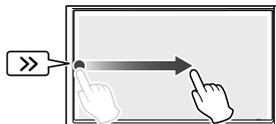
現在地図画面に地図小画面を表示します。

[地図&地図中]

現在地図画面に地図中画面を表示します。

地図小または中画面を引き出す

1 画面左から中央に向かってドラッグまたはフリックする



ドラッグまたはフリックする長さによって、小画面または中画面を表示できます。

[切替] をタッチして表示した場合もドラッグまたはフリックで小画面と中画面を表示することができます。



小画面 (ドラッグする距離が短い)



中画面 (ドラッグする距離が長い)



小、中どちらの画面でも地図の向き、表示、縮尺を切り替えることができます。



- 地図2画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の縮尺の変更やスクロールなどの操作ができます。
- 子画面の地図では、スクロールできません。
- 引き出した地図画面を画面の左に向かってドラッグまたはフリックすると、地図2画面表示が解除されます。
- [切替] をタッチしても地図小、中画面を選択することができます。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。



■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。



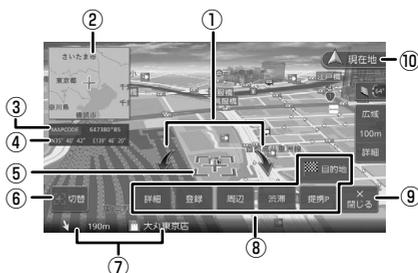
■ ポイントスクロール

地図をタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。



- スクロールした後に【MAP/AV】を押すと、現在地図画面を表示します。【HOME】を押すと、HOME画面を表示します。
- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。

スクロールしたときの地図表示



- ① 地図回転ボタン：**
3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。
 - ② フライビューマップ：**
スクロールした地点を広域地図で表示します。表示しないように設定することもできます。(→ P.111)
 - ③ マップコード：**
マップコード表示を【ON】に設定すると、マップコードを表示します。(→ P.111)
 - ④ 緯度・経度：**
緯度・経度表示を【ON】に設定すると、緯度経度を表示します。(→ P.111)
 - ⑤ [カーソル]：**
地図画面の中心点に表示されます。
 - ⑥ [切替]：**
同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。
 - ⑦ 地点情報：**
カーソルの位置の地点情報(住所や名称など)と現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。
 - ⑧ [提携 P]：**
カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。
- 【目的地】 / 【経由地】**(経由地は目的地を設定しているときのみ表示)：
この地点を目的地 / 経由地に設定します。

【渋滞】：
VICS 情報画面が表示されます。

【周辺】：
周辺の施設を検索します。カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携しているときは、周辺のガソリン価格や駐車場空き情報なども見ることができます。詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

【登録】：

この地点を登録します。

【詳細】：

地点詳細情報画面を表示します。
スマートフォンでQRコードを読み取ると、MapFanのサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。
(→P.44)

⑨ 【閉じる】：

⑨の表示を消して、[表示]に切り替わります。

⑩ 【現在地】：

現在地図画面に戻ります。HOME画面からスクロールしたときは、HOME画面に戻ります。



- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

ランドマークの情報を見る

1 情報を表示したいランドマークのアイコンをタッチする



施設名と現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。

さらに詳細な情報を見るには、[詳細]をタッチします。



- 複数のランドマークが重なっている場合は、[切替]をタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニエンスストア/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m以下のスケールで表示します。その他のランドマークは200m以下のスケールで表示されます。
- 地図の向きが3Dビューの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

マップクリップを利用する

マップクリップは、QRコード(2次元バーコード)に変換した地点情報を、スマートフォンで読み取って地図を表示するMapFanのサービスです。

- スマートフォンに表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することができます。
- 地図を表示するには、QRコードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 地図の縮尺変更や移動は無料です。(通信料、パケット料はお客様負担となります。)
- MapFanのサービスについては、https://www.kenwood.com/jp/faq/ce_navi/mapfan/をご覧ください。
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

1 地点詳細情報画面を表示したい地点を表示して、[詳細]をタッチする



2 QRコードを表示して、スマートフォンで読み取る

**【地点地図】：**

カーソルのある地点の位置をQRコードで表示します。

【地点地図+現在地】：

カーソルのある地点と現在地からのルート情報をQRコードで表示します。

【地点地図+目的地】：

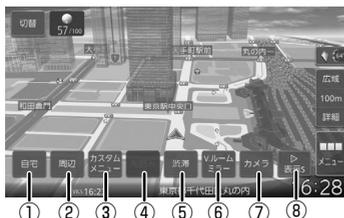
カーソルのある地点と目的地からのルート情報をQRコードで表示します。

QRコードを読み取るとMapFanのサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ショートカットボタンを使う

現在地図画面にショートカットボタンが表示されず。ショートカットボタンは「表示 S」と「表示 L」と「表示なし」があります。さらに接続される周辺機器によって表示されるショートカットボタンが異なります。

■ ショートカット L ボタンを表示時



- ① **【自宅】**：
自宅へ帰るルートを探します。(→ P.48)
自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。(→ P.36)
- ② **【周辺】**：
現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。(→ P.46) 検索した施設を目的地に設定することもできます。検索画面では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。(→ P.49)
- ③ **【カスタムメニュー】**：
カスタムメニューを表示します。(→ P.25)
- ④ **【先読み】**：
ルート案内中に案内先読みガイドを表示します。(→ P.59)
- ⑤ **【渋滞】**：
VICS 情報画面を表示します。
- ⑥ **【V. ルームミラー】**：
バーチャルルームミラーの映像に切り替えます。詳細についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。
- ⑦ **【カメラ】**：
フロントビューカメラの映像に切り替えます。
- ⑧ **【表示 S】**：
ショートカット S ボタンを表示します。

■ ショートカット S ボタンを表示時



- ① 接続される周辺機器によって表示されるボタンが異なります。

【カスタムメニュー】：

カスタムメニューを表示します。(→ P.25)
このボタンは [カメラ] と [V. ルームミラー] の両方が表示されていないときに表示されます。

【先読み】：

ルート案内中に案内先読みガイドを表示します。(→ P.59)
このボタンは [カメラ] と [V. ルームミラー] のどちらか、または両方が表示されていないときに表示されます。

【渋滞】：

VICS 情報画面を表示します。

【V. ルームミラー】：

バーチャルルームミラーの映像に切り替えます。詳細についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

【カメラ】：

フロントビューカメラの映像に切り替えます。

- ② **【閉じる】**：

ショートカットボタンの表示を閉じます。

■ ショートカットボタンを閉じたとき



①

① [表示L] :

ショートカットL ボタンを表示します。



- [カメラ] は、外部機器設定の「AV-IN 接続機器」(AV) 設定が「汎用フロントカメラ」または「専用フロントカメラ」に設定されているときに表示されます。
- [V. ルームミラー] は、外部機器設定の「バーチャルルームミラー」(その他) 設定が「ON」に設定されているときに表示されます。ただし、「ON」に設定されていても、外部機器設定の「リアカメラ接続」(カメラ) 設定が「なし」に設定され、別売のドライブレコーダー DRV-EMN5700、DRV-MN970、または DRV-MN940 が接続されていない場合は表示されません。
- バーチャルルームミラーに必要な別売のドライブレコーダー、リアビューカメラはの 178 ページの「別売品について」をご覧ください。
- リアビューカメラを接続していない場合でも、外部機器設定の「リアカメラ接続」(カメラ) 設定を「なし」以外に設定すると、バーチャルルームミラーのリアビューカメラ表示には切り替わりませんが映像は何も表示されません。

周辺検索と周辺情報を取得する

現在地の周辺の施設を検索します。

1 [周辺] をタッチする

2 [周辺検索] をタッチする



タッチするとジャンルリストが表示されます。検索したいジャンルをタッチしてください。ジャンルを絞り込んだ後の操作は、51 ページの手順 4 からご覧ください。

■ 周辺地点情報を取得する

カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info」と連携していると「ガソリン価格」、「駐車場満空」、「テレビ de み〜た」、「天気予報」の情報を表示します。詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

ナビゲーションの流れ

1

行き先を
探す

目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(→ P.49)



地図画面から

地図をスクロールして行きたい場所を探し(→ P.43)、[目的地] をタッチします。



2

行き先に
設定する

[目的地] をタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(→ P.54)



- 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。(→ P.62)

3

ルートを
設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(→ P.62)



- [推奨] / [距離] / [高速] / [一般] / [高速 / 距離] : 指定した条件でルートを探します。(→ P.54)

4

案内を
開始する

[案内開始] をタッチする

ルート案内が始まります。



ルート案内を開始した後は

- 経由地の設定・入れ替え
途中で立ち寄りしたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(→ P.62)
- 案内終了
ルート案内を中止します。(→ P.65)

自宅に帰る / 自宅を変更する

自宅に帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 現在地図画面で【自宅】をタッチする

【自宅】が表示されていないときはショートカットLボタンを表示してください。

(→ P.45)



確認メッセージが表示されます。

2 【はい】をタッチする

3 【案内開始】をタッチする



自宅へのルート案内が開始されます。
(→ P.54)



- 目的地検索画面の【自宅】をタッチして、ルート案内を開始することもできます。
(→ P.49)

自宅を変更する

1 新しく自宅に登録する地点を検索して【登録】をタッチする



2 【自宅】をタッチする

確認メッセージが表示されます。

3 【はい】をタッチする

4 【決定】をタッチする



この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は28ページをご覧ください。



- 先に自宅として登録されていた地点は、【未分類】グループに変更されます。

行き先を探す

さまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りしたい場所（経由地）を探ることができます。

1 **【HOME】を押して【メニュー】▶
【目的地検索】をタッチする**

2 **使用する検索方法をタッチする**

【名称】：

施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。（→ P.49）

【住所】：

住所から目的地を探します。（→ P.52）

【番号】：

電話番号、郵便番号、マップコード、緯度経度を入力して行き先を探します。（→ P.53）

【ジャンル】：

食事やショッピングなど、ジャンルで行き先を探します。（→ P.51）

【登録地点】：

本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。（→ P.52）

【履歴】：

いまままでにルートを探した行き先から探します。（→ P.52）

【自宅】：

現在地から自宅に帰るルートを探して、ルート案内を開始します。（→ P.48）自宅が未登録の場合はメッセージが表示され自宅を登録することができます。（→ P.36）

【スポットブラウザ】 / 【おでかけプラン】 /

【目的地予約】：

カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」でブックマークした地点やルートプランなど一部の機能を本機と連携することができます。この機能は、「KENWOOD MapFan Club」に入会（有料）し、ログインする必要があります。本機のMapFanAssist機能についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては13ページを参照ください。

検索画面での営業時間外表示について

目的地検索の周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索、提携駐車場検索では、検索した施設が営業時間外の場合「！」マークを表示します。



- 営業時間外表示ができるジャンルは、駐車場、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード、回転寿司です。
- 隔週定休日、不定期な休日や営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- 営業時間のデータがない施設の場合は、営業時間外の「！」マークを表示できません。
- 実際の営業時間は各施設に問い合わせてください。
- 本機で表示、入力する緯度経度は日本測地系に基づくものです。

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 **【HOME】を押して【メニュー】▶
【目的地検索】▶【名称】をタッチする**



2 **施設の名前を入力して、【検索】をタッチする**



【フリーワード】：

フリーワード検索ができます。フリーワード検索をするには、「KENWOOD Drive Info.」が必要です。詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては13ページを参照ください。



- 名称検索の名称入力時は、ひらがな以外の文字は入力できません。

- ・施設名の入力時に、「°」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- ・文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が5件以下になると、自動的に検索結果（手順3）が表示されます。
- ・名称検索の名称入力中に「完全一致」が0件になった場合は、文字の入力はできません。入力した文字を削除して他の名称を入力してください。

3 行き先をタッチする

【ジャンルで絞り込む】：

さらにジャンルで絞り込みます。（→ P.51）

【エリア指定】：

さらに指定したエリアで検索します。（→ P.50）

【名称順】：

検索結果を名称順で表示します。

【距離順】：

検索結果を距離順で表示します。

4 【このピンを選択】をタッチする



【リスト】：

リストから施設を選ぶことができます。

【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。（→ P.54）



- ・ピンは手順3で指定した行き先を含めて50件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、「前へ」または「次へ」をタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- ・地図をスクロールして【この地点を選択】をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。
- ・一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 「名称から探す」(→ P.49) の手順3で【エリア指定】をタッチする



2 指定したい項目をタッチする

【地域を指定】：

地域（都道府県から）を入力して検索します。

【地図から指定】：

地図をスクロールして場所を指定します。

【現在地周辺】 / 【目的地周辺】 /

【経由地1周辺】～【経由地5周辺】：

指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 【前へ】 / 【次へ】をタッチして、目的の施設を選ぶ

【前へ】 / 【次へ】をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、【前へ】 / 【次へ】は表示されません。手順4に進んでください。



【リスト】：

リストから施設を選ぶことができます。



- ・地図をスクロールして【この地点を選択】をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 【このピンを選択】をタッチする

【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。（→ P.54）



- ・手順2の【目的地周辺】 / 【経由地（1～5）周辺】は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

- 1 「名称から探す」(→ P.49)の手順3で「ジャンルで絞り込む」をタッチする



- 2 ジャンルをタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

【全て検索】：

選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

- 3 目的の施設を選ぶ

【エリア指定】：

さらに指定したエリアで検索します。
(→ P.50)

【名称順】：

検索結果を名称順で表示します。

【距離順】：

検索結果を距離順で表示します。

- 4 「前へ」 / 「次へ」 をタッチして、目的の施設を選ぶ

「前へ」 / 「次へ」 をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、「前へ」 / 「次へ」 は表示されません。手順5に進んでください。



【リスト】：

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして「この地点を選択」をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

- 5 「このピンを選択」をタッチする

「目的地」をタッチすると、ルート探索が始まります。(→ P.54)

ジャンルから探す

食事やショッピングなど、目的のジャンルから行き先を探します。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【目的地検索】▶【ジャンル】をタッチする



- 2 ジャンルをタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

【全て検索】：

選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

- 3 指定したい項目をタッチする

【地域を指定】：

地域（都道府県から）を入力して検索します。

【地図から指定】：

地図をスクロールして場所を指定します。

【ルート周辺】：

ルート前方にある施設を表示します。

【現在地周辺】 / 【目的地周辺】 /

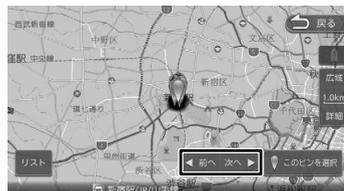
【経由地（1～5）周辺】：

指定した地点の周辺地図が表示されます。

- 4 「前へ」 / 「次へ」 をタッチして、目的の施設を選ぶ

「前へ」 / 「次へ」 をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、「前へ」 / 「次へ」 は表示されません。手順5に進んでください。



【リスト】:

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして【この地点を選択】をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 【このピンを選択】をタッチする

【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.54)



- 手順3の【ルート周辺】は現在地周辺の半径10km以内でルート前方両側にある施設を検索します。(最大50件) その他は指定した地点を中心とした半径50km以内で検索します。(最大50件)
- 【ルート周辺】検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順3の【目的地周辺】 / 【ルート周辺】 / 【経由地(1~5)周辺】は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。



- 事前に本機に地点を登録してください。(→ P.66)

1 【HOME】を押して【メニュー】▶【目的地検索】▶【登録地点】をタッチする



2 グループ名をタッチする

3 登録地点をタッチする

【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.54)

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 【HOME】を押して【メニュー】▶【目的地検索】▶【住所】をタッチする



2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ

リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。

【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.54)



- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、"."でつないで一度に入力することができます。
- [あ] ~ [わ] をタッチすると表示中のリストを頭出しします。
- 【代表地点】をタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

履歴から探す

いままでにルートを探した行き先から探します。

1 【HOME】を押して【メニュー】▶【目的地検索】▶【履歴】をタッチする



2 検索履歴をタッチする

【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.54)



- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は50か所まで保存されます。50か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。



- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で [削除] をタッチする



2 削除する履歴地点をタッチする

履歴は複数選択することもできます。選択した項目はチェックが付きます。

[全て選択] :

リスト内のすべての地点を選択します。

[全て解除] :

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 [削除] をタッチする。

確認メッセージが表示されます。

4 [はい] をタッチする

電話番号、マップコード、郵便番号、緯度経度で探す

電話番号、マップコード、郵便番号、緯度経度から行き先を探します。

1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [目的地検索] ▶ [番号] をタッチする



2 検索したい項目をタッチする



3 番号を入力して [検索] をタッチする

電話番号、郵便番号のハイフンは入力しません。



カーソルの前にある文字を消去します。

[目的地] をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.54)



- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。[検索] をタッチする必要はありません。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 一部の場所では、1つの電話番号に複数の地点が登録されているとリスト選択画面が表示されます。その場合はリストから場所を選ぶと地図が表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して [検索] をタッチします。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ (<https://www.denso-solution.com/mapcode/index.html>) をご覧ください。
- 電話番号検索で電話番号を入力するときは、国番号の入力は必要ありません。

ルート探索と案内

ルート探索と案内を開始する

検索した場所を行き先(目的地)に設定して、ルート探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探る

ここまでの手順 ▶ 行き先を検索して、地点情報画面を表示する

1 [目的地] をタッチする



表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。



- 経由地を設定する場合は62ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地(経由地)を設定します。よろしいですか?」と表示されたときは、
[はい]: 一般道を目的地(経由地)に設定します。
[いいえ]: 高速・有料道路を目的地(経由地)に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか?」と表示されたときは、55ページをご覧ください。

ルート探索条件を選択して案内を開始する

1 ルート探索条件をタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後のIC名が表示されます。



[推奨]:

本機が推奨するルートです。

[距離]:

走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

[高速]:

高速道路(有料道路)を優先的に通るルートです。

[一般]:

一般道路を優先的に通るルートです。一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路(有料道路)を通るルートになることがあります。

[高速/距離]:

高速道路(有料道路)を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

[全行程]:

すべての条件でルートを探ります。各条件のルートと比較することができます。

[ルート情報]:

選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

入 相模川 / 出 八王子:

利用するインターチェンジを変更します。
(→ P.64) 有料道路を使用するときに表示されます。

[スケール調整]:

タッチすると地図を拡大、縮小、スクロールできます。[戻る]をタッチすると元の画面に戻ります。

[マイルルートアジャスター]:

ルート探索の詳細条件を設定します。マイルルートアジャスター機能は、5ルート(推奨、距離、高速、一般、高速/距離)すべてに詳細条件が反映されます。(→ P.115)

2 【案内開始】をタッチする

ルート案内が開始されます。(→ P.56)



- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルート案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。
フェリーアイコン：
- フェリーを利用したルート案内する場合は「料金」表示には、フェリーの利用料は含まれていません。
- スマートICを利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマートICアイコンが表示されます。
スマートICアイコン：
- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥～以上」または「¥--」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報（通行止めなど）を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

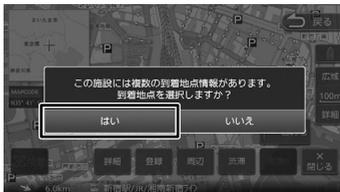
■ 渋滞考慮探索（最適時間考慮探索）

- ルート案内中に渋滞のある箇所近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(最適時間考慮探索)

複数の到着地点情報があったとき

検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 【はい】をタッチする



2 【前へ】 / 【次へ】をタッチして、目的の施設を選ぶ

【前へ】 / 【次へ】をタッチするたびに施設情報が切り替わります。



【リスト】：

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして【この地点を選択】をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 【このピンを選択】をタッチする

選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。(→ P.54)

ルート案内画面について

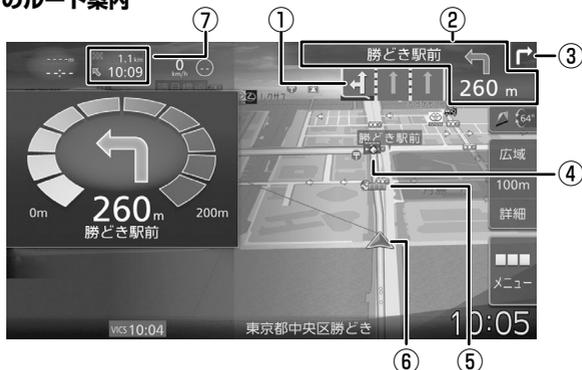
ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。

■ HOME 画面でのルート案内



■ 現在地図画面でのルート案内

1 【MAP/AV】を押す



① レーン情報表示

- ↑ (灰色矢印)：案内レーン
- ↑ (水色矢印)：推奨通過レーン

② 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

③ 次々案内ポイント情報

次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ ◆案内ポイント

⑤ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。道路の種類(一般道/高速道路/細街路)によって色分けして表示されます。

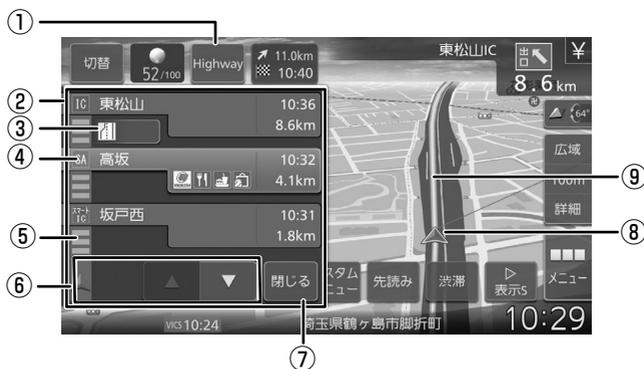
⑥ 自転車マーク

⑦ 到着予想時刻と距離

対象の行き先(次の経由地または目的地)への到着予想時刻と距離が表示されます。経由地が設定されている場合は、このボタンをタッチするたびに対象の行き先が切り替わります。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモードボタン

ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

② ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
ここでは案内または高速分岐イラストが表示されます。

③ 規制情報表示

車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が3件までマークで表示されます。（→ P.105）
マークをタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報をタッチすると詳細情報を表示します。

④ 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ（IC）、ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）などの名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。
SA、PAの場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。
施設情報に表示される設備のマークは、最大4個です。

⑤ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
灰色：順調
橙色：混雑
赤色：渋滞

⑥ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると「[現区間]」が表示されます。「[現区間]」をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦ [閉じる]

ハイウェイモード画面を閉じます。
①をタッチすると再度表示します。

⑧ 自車マーク

⑨ 案内ルート



・ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中も表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと、ここでは案内、交差点案内図、高速道分岐イラストが表示されます。

割り込み表示は案内ポイントを通ると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示をタッチしてください。

消した割り込み表示は、HOME 画面では【HOME】を押す、現在地図画面では【案内図】をタッチするともう一度表示できます。



- ・割り込み表示は表示しないように設定することができます。(→ P.112)

ここでは案内表示

案内する交差点の約 350m (高速道路は約 1.1km) 手前に近づくと表示されます。



交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m (高速道路は約 800m) 手前に近づくと表示されます。



■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



■ 空港構内案内

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。

場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。



■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。



■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。



ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。



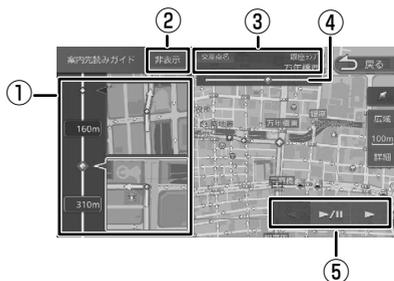
案内先読みガイド表示

ルート案内中に、次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントを見ることができます。

1 [先読み] をタッチする



案内先読みガイドが表示されます。



① 案内先読みガイド

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントが 2 ポイントずつ表示されます。

② [非表示]

案内先読みガイドの表示を消します。消すと [非表示] は [表示] になります。[表示] をタッチするとガイドを表示します。

③ 交差点名

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下の交差点名を表示します。

④ プログレスバー

案内先読みガイド表示 (最大 99) 全体の、どのあたりのガイド表示かを表示します。

⑤ オンルートスクロール操作ボタン

ボタン	説明
	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。
	オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。



- ・ オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

音声案内について

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。案内は状況によって正しく行われなかったことがあります。実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。



- 音声案内の前には“ジャン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(→ P.112)
- 音声案内の音量調整は 112 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。(→ P.126)
- ルート案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。
- 音声案内は、案内の状況により情報があっても音声案内しない場合があります。

■ 進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞回避探索

渋滞を回避してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。渋滞回避の探索は設定があります。115 ページをご覧ください。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います（ルート案内中以外でも音声案内を行います）。これらの音声出力の設定は変更することができます。(→ P.112)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行する車線にご注意ください。
	この先、走行する車線にご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行する車線にご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)



- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■ VICS 渋滞 / VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います（ルート案内中以外でも音声案内を行います）。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名)を先頭に、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名)を先頭に、渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。
	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。左へお寄りください。

■ 一時停止の音声案内

一時停止情報がある交差点の手前で、音声案内を行います。

音声

この先、一時停止です。

■ 盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います。(現在地付近については、ルート案内中以外でも音声案内を行います)

目的地付近で盗難が多い地点

音声

目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

ACC OFFした付近で盗難が多い地点

音声

現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

■ リフレッシュ通知

運転開始(本機が電源オン状態のまま)から90分ごとに以下の音声案内を行います。

音声

そろそろ90分になります。休憩しませんか？

■ 日没ライト案内 / 警告音声案内

日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告を行います。

案内の種類	音声
ライト案内	そろそろ日没です。ライトをつけましょう。
ライト警告	無灯火です。ライトをつけてください。

■ スマートフォン置き忘れ警告音声案内

iPhoneがUSB接続されているときに、本機の電源をオフにすると以下の音声案内を行います。

音声

携帯電話を忘れていませんか？

■ 逆走時の案内について

本機は高速道路にて逆走状態を検知した場合は、画面表示と音声で案内を行います。

● 画面表示

逆走中は以下の表示をします。



【閉じる】をタッチすると、案内を解除できます。

【MAP/AV】を押しても解除できます。

● 音声案内

逆走中は以下の音声案内をします。

音声

逆走しています。



- 以下のような場合、逆走中でも案内しないことや、順走中に案内する場合があります。
 - GPS信号を受信できない場合など、自車位置の誤差が大きい場合。(→P.179、P.180)
 - 複雑な走行規制、構造のインターチェンジ付近を走行している場合。
 - 地図データベースにはない道路や、形状が変更された道路を走行している場合。
- 逆走の案内は一般道では行われません。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【ルート】▶【再探索】をタッチする**



- 2 **探索条件を選んで【案内開始】をタッチする**



選択したルートでルート案内が開始されます。



- ・乗降ICを指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降ICの指定を解除してください。

ルートを編集する

経路地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

経路地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経路地）を追加します。経路地は5か所まで追加できます。



- ・目的地が設定されていないときは経路地を設定できません。

ここまでの手順▶ 経路地にしたい行き先を検索する

- 1 **【経路地】をタッチする**



- 2 **経路地の挿入位置を確認し、【決定】をタッチする**



ルートの探索が始まります。

- 3 **探索条件を選んで【案内開始】をタッチする**



【到着順変更】：

到着順を編集することができます。編集操作は63ページの「目的地・経路地の順番を入れ替える」の手順3からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【ルート】▶【到着順変更】をタッチする



- 2 順番を変更する行き先をタッチする
- 3 移動先の【挿入】をタッチする



- 4 【再探索】をタッチする

【やり直す】：

到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

- 5 探索条件を選んで【案内開始】をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地を削除する



- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【ルート】▶【到着順変更】をタッチする



- 2 削除する行き先をタッチする
- 3 【削除】をタッチする



選択した行き先が削除されます。

- 4 【再探索】をタッチする
- 5 探索条件を選んで【案内開始】をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【ルート】▶【再探索】をタッチする**



- 2 **変更したい入口または出口 IC をタッチする**



- 3 **入口または出口に指定する IC 名を地図を直接タッチして選ぶ**



【切替】：

タッチした地点に複数の情報があつた場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。



- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC（最大 36 件まで）を選ぶことができます。

- 4 **【この IC に変更】をタッチする**

- 5 **【案内開始】をタッチする**



- 手順 3 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、手順 4 で確認メッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとする、確認メッセージが表示され、【はい】をタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようすると確認メッセージが表示され、【はい】をタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探査する場合があります。
- 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【ルート】▶【再探索】をタッチする**



- 2 **【IC 変更を解除】をタッチする**



変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

- 3 **【案内開始】をタッチする**

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【ルート】▶【ルート表示】をタッチする



ルート全体が表示されます。

【ルート情報】：

ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

【デモ走行】：

地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

【X 1】 / 【X 2】 / 【X 3】：

デモ走行のスピードを変更できます。

【デモ終了】：デモ走行を終了します。



- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変換することができます。

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【ルート】▶【目的地表示】をタッチする



- 2 表示する目的地または経由地をタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。

ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【案内終了】をタッチする

メッセージが表示されます。

- 2 【はい】をタッチする

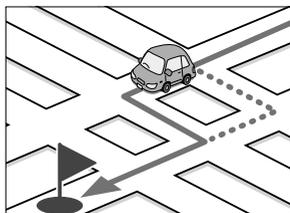
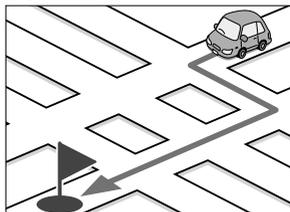
ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。



- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。

本機には 300 件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 [登録] をタッチする



3 登録するグループをタッチする

4 [決定] をタッチする



この画面で登録する名称を編集することができます。文字の入力方法は 28 ページをご覧ください。

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [目的地検索] ▶ [登録地点] をタッチする



2 見たい地点情報のグループをタッチする

登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [登録地点編集] をタッチする



2 [登録地点編集] をタッチする



3 編集したい地点のグループをタッチする

4 編集したい地点をタッチする

5 編集したい項目をタッチして編集する

● 名称を編集する

名称欄をタッチして名前を入力して [決定] をタッチします。

● グループを変更する

グループ欄をタッチして設定したいグループをタッチします。

● 電話番号を設定および変更する

電話番号欄をタッチして電話番号を入力して[決定]をタッチします。



- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法は28ページをご覧ください。
- 電話番号は15文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「-」は省略することもできます。
- 自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で48文字まで入力できます。

グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。



- 「未分類」、「自宅」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で48文字まで入力できます。

1 「登録地点を編集する」(→ P.66) の手順2の画面を表示する



● グループ名を編集する

[グループ名変更]をタッチして編集したいグループをタッチします。グループ名を編集して[決定]をタッチします。

● グループアイコンを変更する

[アイコン変更]をタッチしてアイコンを変更したいグループをタッチします。変更したいアイコンをタッチします。

登録地点を削除する



- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えないように、慎重に操作してください。

1 「登録地点を編集する」(→ P.66) の手順2の画面を表示する

2 「登録地点削除」をタッチする



3 削除したい地点のあるグループをタッチする

4 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。



【全選択】:

リスト内のすべての地点を選択します。

【全解除】:

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

5 「削除」をタッチする

メッセージが表示されます。

6 「はい」をタッチする

選択した登録地点が削除されます。

AVの基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶
[ソース切替] をタッチする

2 切り替えたいソースをタッチする

[交通情報] :

交通情報放送を受信します。(→ P.101)

[STANDBY] :

ソースをすべてオフにします。ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

[iPod] :

iPodの曲を再生します。(→ P.71)

[USB] ^[1] :

USB機器のオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.72)

[SD] :

SDカードのオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.72)

[内蔵メモリ] :

本機の内蔵メモリに録音したデータを再生します。(→ P.80)

[マルチ AV ブラウザ] :

マルチ AV ブラウザソースは、USB機器、SDカード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオをまとめて表示し、選択して再生することができます。(→ P.86)

[DISC] :

CDやDVD、オーディオファイルを保存したCD-Rなどのディスクを再生します。(→ P.88、P.92)

[地デジ] :

地上デジタルTV放送を受信します。(→ P.95)

[FM] :

FMラジオ放送を受信します。(→ P.99)

[AM] :

AMラジオ放送を受信します。(→ P.99)

[AV-IN] :

本機に接続した外部機器のソースに切り替えます。(→ P.102)

[Bluetooth Audio] :

本機に接続したBluetooth対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.142)

[SMART USEN] :

カーナビ連携アプリケーション「SMART USEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。「SMART USEN」についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては13ページを参照ください。

[HDMI] ^[2] :

本機にHDMI接続した機器のソースに切り替えます。(→ P.101)

[Wireless Mirroring] :

本機にWi-Fi接続したスマートフォン画面と音声のワイヤレスミラーリングを行います。(→ P.103)

^[1] USB接続ケーブル KNA-22USB(別売品)が必要です。

^[2] HDMI接続ケーブル KNA-20HC(別売品)が必要です。



- ・DISCソース以外は機器を接続したり、SDカードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

■ AV画面からソース切替画面を表示する

AV画面左上のソース名をタッチするとソース切替画面を表示します。



現在地図画面からAV画面を表示する

- 1 **[MAP/AV]** を押す

「K2テクノロジー」を使う

各ソースのAV画面に「K2テクノロジー」をオン/オフする [K2] ボタンがあります。

チェックを付けると、変質・劣化したデジタル音源をオリジナルマスターと同等に復元再生します。アナログソースにおいても「K2テクノロジー」の [K2] がタッチできるになっています。より高音質にお楽しみいただけるよう、本機ですべてのソースで高解像度なデジタル処理をしています。「K2テクノロジー」をオンにすることにより、本来の音に復元することが可能となります。



- 「K2テクノロジー」は、株式会社JVCケンウッドと株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントが共同開発した、音源のデジタル化における高音質化情報処理技術です。時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。

パッセンジャースリープ機能を使う

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

- パッセンジャースリープ機能を使用するには、運転席の位置を設定する必要があります。設定については、32 ページをご覧ください。
- 各ソースの AV 画面に「Pスリープ」をオン/オフするボタンがあります。チェックを付けると、パッセンジャースリープ機能がオンになります。



- パッセンジャースリープ機能がオン中は、サウンド設定を変更できません。(→ P.116)

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

- 調整する映像ソース画面を表示する
- 「映像調整」をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



- 「-」または「+」をタッチして各項目を調整する



コントラスト：

コントラストを調整します。

- 「+」：コントラストが強くなります。
- 「-」：コントラストが弱くなります。

ブライトネス：

明るさを調整します。

- 「+」：明るくなります。
- 「-」：暗くなります。

色の濃さ：

色の濃淡を調整します。

- 「+」：色が濃くなります。
- 「-」：色が淡くなります。

色合い (AV-IN/カメラ映像/ドライブレコーダー映像のみ)：

色合いを「+」/「-」で調整します。



- 地図画面の画質は調整できません。
- 「非表示」をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。
- カメラ映像の画質を調整しているときに「戻る」をタッチすると、カメラの操作画面に戻ります。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。



- カメラ映像、地デジの映像およびドライブレコーダーの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 「映像調整」をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



3 「アスペクト」の ◀ または ▶ をタッチして、サイズを調整する



レギュラー：

4:3 の比率で表示します。

フル：

画面いっぱいに表示します。

オリジナル：

映像の比率はそのままに、画面の縦が横いっぱいに表示します。

オート：

16:9 の映像はフルで、4:3 の映像はレギュラーで表示します。

■ 映像サイズイメージ

	16:9 画像	4:3 画像	その他	
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			



- オリジナルはSD、USB、マルチAVブラウザソースのみ設定できます。
- オートはDVD再生時のみです。

■ AV画面での割り込み表示について

AV画面表示中に案内割り込みがあるとAV画面と案内割り込み表示の2画面表示になります。

割り込み画面の表示が終わると自動でAV全画面に戻ります。

割り込み表示部をタッチすると(複数の割り込み表示がある場合は消えるまでタッチしてください)表示を消すことができます。

AV画面をタッチすると、AV全画面表示になります。

また、割り込み表示は、表示ないように設定することもできます。(→ P.113)



割り込み表示

iPod の曲を再生する

- iPod ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。
- iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。USB 接続の場合は、USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）と iPod 接続ケーブル KCA-iP103（別売品）で接続します。Bluetooth 接続の場合は iPod の登録を行ってください。（→ P.134）



- iPod 接続ケーブルを接続する USB 接続ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。

iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを iPod に切り替える（→ P.68）



- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、スクロールはできません。



- ① アーティスト名
- ② アルバム名
- ③ 曲名
- ④ アルバムアート画像
アルバムアート画像の情報がある場合は、AV 画面の背景がアルバムアートになります。
- ⑤ シークバー
- ⑥ 再生時間
- ⑦ 接続方法
- ⑧ ランダム再生モード
- ⑨ 曲番号 / 全曲数
- ⑩ リピート再生モード
- ⑪ 再生残り時間
- ⑫ 再生状態

- 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。（→ P.69）
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（→ P.69）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶	再生または一時停止（ポーズ）します。
◀◀ / ▶▶	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

「表示」をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の「閉じる」でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
【デバイス切替】 (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ●  OFF : シャッフル再生モードを解除します。 ●  曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ●  OFF : リピート再生モードを解除します。 ●  ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 ●  1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
【閉じる】	サブ機能ボタンを消します。

USB 機器 /SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する

USB 機器の接続には、USB 接続ケーブル KNA-22USB (別売品) が必要です。



USB 接続ケーブル KNA-22USB (別売品) USB 機器

- 本機で再生できる USB 機器は 191 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機では USB 接続ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 191 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の USB 機器を接続した場合は、USB の AV 画面で再生する USB 機器を切り替えることができます。(→ P.76)



- USB 接続ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

USB 機器を取り外す

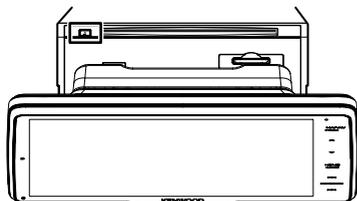
ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

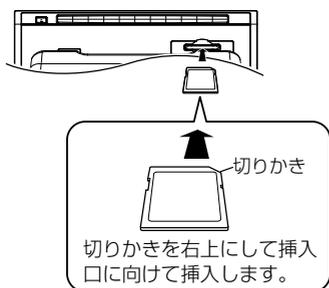
- 本機で再生できる SD カードは「本機で再生できる SD カード」(→ P.190) をご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

■ MDV-M909HDF

1 フロントパネルを手前に十分倒す



2 SD カードを挿入口に入れるまたは出す



入れるときは、SD カードが奥に突き当たるまで差し込んでください。

出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

3 フロントパネルを元に戻す

■ MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/MDV-M809HD

1

- MDV-M909HDL/MDV-M809HD
【▲】(オープンキー) を押す
- MDV-M809HDW
【HOME】 を押して 【メニュー】 ▶
【パネル】 をタッチする



2 【SD】 をタッチする

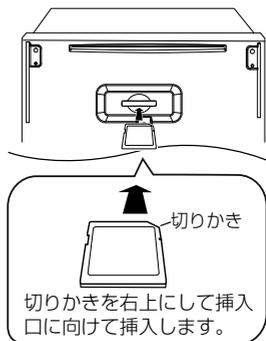


フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れるまたは出す

入れるときは、SD カードが奥に突き当たるまで差し込んでください。

出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



4 音量以外のキーを押してパネルを閉じる



- フルオープン状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは、同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ここまでの手順 ▶

ソースを USB または SD に切り替える (→ P.68)

オーディオファイルの AV 画面

USB 画面例



- ① **アーティスト名**
アルバム名 (フォルダ名)
曲名 (ファイル名)
 アルバムアート画像
- ② **再生時間**
- ③ **音声形式**
- ④ **シークバー**
- ⑤ **ランダム再生モード**
- ⑥ **ファイル番号**
- ⑦ **リピート再生モード**
- ⑧ **再生残り時間**
- ⑨ **再生状態**

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[P スリプ]	チェックを付けるとパッセンジャースリプ機能がオンになります。(→ P.69)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	前または次のファイルを再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 • 再生リストについては 76 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

USB 画面例



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

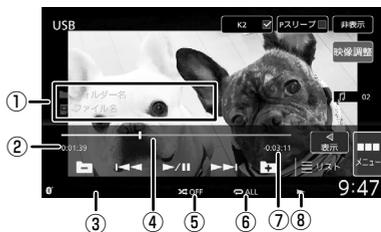
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリー DB 更新]	カテゴリーデータベースを作成、更新します。(→ P.77)
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ● OFF : ランダム再生モードを解除します。 ● フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 ● 曲 (カテゴリーデータベース再生のみ) : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ● ALL : すべてのファイルをくり返し再生します。 ● 1 : 再生中のファイルをくり返し再生します。 ● フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

ビデオファイルの AV 画面

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

USB 画面例



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① フォルダ名
 ファイル名
- ② 再生時間
- ③ 映像形式 / 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ ランダム再生モード
- ⑥ リピート再生モード
- ⑦ 再生残り時間
- ⑧ 再生状態

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブスリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.69)
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	前または次のファイルを再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 再生リストについては 76 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

USB 画面例



● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリ DB 更新]	カテゴリデータベースを作成、更新します。(→ P.77)
	<ul style="list-style-type: none"> OFF : ランダム再生モードを解除します。 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 曲 (カテゴリデータベース再生のみ) : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。再生リストを表示して、モードのリストを切り替えるボタンをタッチするたびにリストが切り替わります。ただし該当するデータがない場合は切り替わりません。

1 [リスト] をタッチする



2 再生モードを切り替えるボタンをタッチする



再生モードを切り替えるボタン

● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態再生します。
カテゴリリスト	本機でカテゴリデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリから選んで再生します。
録音データ (SD のみ)	本機で SD カードに録音したデータを再生します。



- カテゴリーデータベースモードで再生するには、データベースを作成する必要があります。
- SD カードに録音された録音データの 카테고리データベースは自動で作成、更新されます。

カテゴリーデータベースから曲またはビデオを再生する

リストから曲またはビデオを再生するときに、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリーから曲またはビデオを再生できます。

カテゴリーデータベースを作成する



- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに _ContentsDB フォルダが作成されます。_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

1 [表示] をタッチする



2 [カテゴリー DB 更新] をタッチする



メッセージが表示されます。

3 [[はい] をタッチする

カテゴリーデータベースが作成されます。

カテゴリーデータベースモードで再生する

1 [リスト] をタッチする



2 フォルダリスト画面の [カテゴリーリスト] をタッチする



3 [ビデオリスト] または [ミュージックリスト] を選ぶ



4 再生するファイルを選ぶ



該当するリストの先頭ファイルから再生されます。

[トップ] (ミュージックリストのみ) :

一番上の階層のリストに移動します。

[一つ上] (ミュージックリストのみ) :

1つ上の階層のリストに移動します。

内蔵メモリ/SDカードに録音する

録音について

- 本機では、再生中の音楽 CD を内蔵メモリまたは SD カードに録音できます。
- 録音中は、地デジ、マルチ AV ブラウザ、録音先のソースは選択することができません。
- 録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、画面左下に **REC** と表示されます。



- 録音中に本機の電源をオフにしたり、録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されています。
- 本機は SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を内蔵メモリまたは SD カードに録音することはできません。
- 内蔵メモリまたは SD カードがいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要なデータを削除してから録音してください。(→ P.83)
- 録音する音楽 CD のアルバム情報がないときには、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名:
"Track" _トラック番号_年_月日_時刻
 - アルバム名: "Album" _年_月日_時刻
 - アーティスト名: "Artist" _年_月日_時刻
 なお、年、月日、時刻は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。(→ P.81)
- 録音中は、「録音先」、「録音音質」は設定できません。
- 本機で再生できる SD カードについては、190 ページをご覧ください。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音音質によって異なります。以下は、録音可能曲数の目安です。

- 内蔵メモリ:
 - 標準音質 … 約 1000 曲
 - 高音質 … 約 500 曲
 - ロスレス … 約 150 曲
- SD カード (8GB の場合):
 - 標準音質 … 約 2000 曲
 - 高音質 … 約 1000 曲
 - ロスレス … 約 300 曲

■ 録音可能アルバム数について

内蔵メモリ、SD カードそれぞれ 999 枚録音できます。

録音設定をする

音楽 CD から録音するときの録音音質および録音先を設定します。

1 音楽 CD の AV 画面を表示して、サブ機能ボタンの【録音設定】をタッチする



2 設定したい項目をタッチする

■ 録音先

【内蔵メモリ】: 内蔵メモリに録音します。

【SD カード】: SD カードに録音します。

■ 録音音質

【標準 (128kbps)】: 標準の音質で録音します。

【高音質 (256kbps)】: 高音質で録音します。

【ロスレス】: 最高音質で録音します。

録音する

音楽 CD を再生しながら、内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音できます。



- エンジン切るまたは、スタートさせたいときは、録音を中止してください。
- 録音先を SD カードに設定している場合、SD カードが本機に挿入されていないと録音できません。

1 ソースを DISC に切り替えて、録音したい音楽 CD を再生する

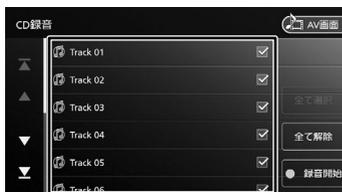
2 [録音] をタッチする



3 録音する曲を選択する

: 録音していない曲

: 録音済みの曲



表示されているリストでは、すべての曲が選択されています。録音しない曲をタッチすると、選択が解除されます。

[全て選択] :

すべての曲を選択します。

[全て解除] :

すべての曲の選択を解除します。

4 [録音開始] をタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 [はい] をタッチする

録音が始まります。

録音中の画面では、録音の状況を確認できます。また、録音済 / 録音予定の曲数が表示されます。

00/03 : SD カードに録音中です。

00/03 : 内蔵メモリに録音中です。

[録音停止] :

録音を停止して、ディスクの 1 曲目から再生します。

すべての録音が終了すると、[録音モード終了]が表示されます。[録音モード終了]をタッチして [[はい] をタッチすると、ディスクの 1 曲目から再生されます。



- 手順 3 で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。
- 録音中に [リスト] をタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されません。
 - : 録音済みの曲
 - : 録音中の曲 (赤)
 - : 録音予定の曲 (エンジン)
 - : 録音予定がない曲 (黒)
 - : エラーが発生して録音されなかった曲
- 録音中はシークバーを操作できません。
- SD カードに録音できない場合は、SD カード初期化を行ってください。(→ P.127)

録音したデータを再生する

ソース切替画面で内蔵メモリまたはSDを選択します。

ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える (→ P.68)

SDカードの録音データを再生する場合は、再生モードを「録音データ」にしてください。

(→ P.76)

内蔵メモリ画面例



- ① アーティスト名
- ② アルバム名
- ③ 曲名
- ④ ジャンルの画像またはアルバムアート画像
- ⑤ 再生時間
- ⑥ シークバー
- ⑦ ランダム再生モード
- ⑧ ファイル番号
- ⑨ リピート再生モード
- ⑩ 再生残り時間
- ⑪ 再生状態

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/	再生または一時停止(ポーズ)します。
◀▶/▶▶	前または次のファイルを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。

ボタン	説明
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては76ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU画面を表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

内蔵メモリ画面例



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の[閉じる]でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル編集]	録音データのタイトルを編集します。
[録音データ削除]	録音データを削除します。
[カテゴリーDB更新] (SDのみ)	カテゴリーデータベースを作成、更新します。(→ P.77)
[録音データ移動] (内蔵メモリーのみ)	内蔵メモリに録音したデータをSDカードに移動します。
◀▶	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・ <input type="checkbox"/> OFF: ランダム再生モードを解除します。 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 曲: 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
🔄	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ALL: 再生中のリスト内のファイルをくり返し再生します。 ・ <input type="checkbox"/> 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- ジャンルの画像、アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。

録音データのタイトルを編集する

本機の内蔵メモリまたはSDカードに録音したデータのタイトル(曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル、アルバムアートワーク)を編集することができます。

ここまでの手順 ▶

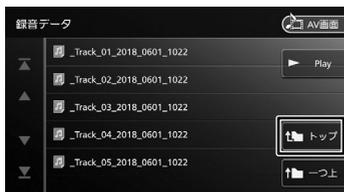
ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える(→ P.68)

SDカードの録音データを編集する場合は、SDカードの再生モードを録音データの再生に切り替えておいてください。(→ P.76)

1 [リスト] をタッチする



2 [トップ] をタッチする



3 アルバムをタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する



4 [表示] をタッチする

5 [タイトル編集] をタッチする

6 編集したい曲をタッチする

7 編集したい項目をタッチする

曲名:

文字入力画面が表示されます。

アルバム名:

文字入力画面が表示されます。

変更したアルバム名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

アーティスト名:

文字入力画面が表示されます。

編集すると確認メッセージが表示されます。

[はい]:

編集したアーティスト名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

[いいえ]:

編集している曲のみに反映されます。

ジャンル:

リストから選択します。

選択すると確認メッセージが表示されます。

[はい]:

選択したジャンルは同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

[いいえ]:

編集している曲のみに反映されます。

アルバムアートワーク:

録音データにお好みの画像をアートワークとして表示させることができます。



- 入力可能最大文字数は、曲名/アルバム名/アーティスト名とも128文字です。
- 文字入力については28ページをご覧ください。
- 手順6の画面で表示される「別候補タイトル」は、スマートフォンをBluetooth デザリングで接続しているときに、Gracenote 音楽認識サービスで使用します。(→ P.85)

タイトルを消去する

編集したアルバム内のすべてのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を消去することができます。

1 [リスト] をタッチする



2 [トップ] をタッチする



3 アルバムをタッチしてタイトルを消去したい曲が含まれるアルバムを再生する



4 [表示] をタッチする

5 [タイトル編集] をタッチする

6 [タイトル消去] をタッチする



確認メッセージが表示されます。

7 [はい] をタッチする

アルバムアートワークとして画像を表示させる

録音データを再生するときアルバム単位で、SDカードまたはUSB機器に保存したお好みの画像ファイル（JPEGまたはPNGのデータサイズ650KB以下）をアートワークとして表示させることができます。

1 「録音データのタイトルを編集する」(→ P.81) の手順7の画面を表示して [アルバムアートワーク] をタッチする



2 [デバイス切替] をタッチして画像を保存しているデバイスを選択する



3 アートワークにしたい画像を選ぶ

録音データの再生画面でアルバムアートワークが表示されるようになります。

アートワークを削除する

1 「録音データのタイトルを編集する」(→ P.81) の手順7の画面を表示して [画像削除] をタッチする



確認メッセージが表示されます。

2 [はい] をタッチする



- Gracenote 音楽認識サービスを使用してアルバムアートワークを自動取得することもできます。(→ P.84)

録音データを削除する

本機の内蔵メモリまたは SD カードに録音したデータを削除します。

ここまでの手順 ▶

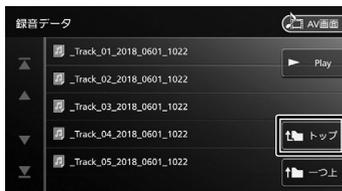
ソースを内蔵メモリまたは SD に切り替える (→ P.68)

SD カードの録音データを削除する場合は、事前に SD カードの再生モードを「録音データ」に切り替えておいてください。(→ P.76)

1 [リスト] をタッチする



2 [トップ] をタッチする



3 アルバムをタッチして削除したい曲が含まれるアルバムを再生する



4 [表示] をタッチする

5 [録音データ削除] をタッチする

6 削除するデータを選んでタッチする



[全て選択] :
すべての曲を選択します。

[全て解除] :
すべての曲の選択を解除します。

7 [削除] をタッチする

確認メッセージが表示されます。

8 [はい] をタッチする

録音データを SD カードに移動する

内蔵メモリに録音したデータを SD カードに移動します。

再生中の曲を含んだ 1 つのアルバムデータを移動します。移動したデータは、内蔵メモリから自動的に消去されます。

SD カード内に移動されたデータは、SD カードから再生できます。

ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリに切り替える (→ P.68)

1 SD カードに移動したい曲を再生する

2 [表示] をタッチする



3 [録音データ移動] をタッチする

メッセージが表示されます。

4 [はい] をタッチする

録音データの移動が始まります。

[中止] :
SD カードへの移動を中止します。



- SD カードに移動したデータは内蔵メモリに戻すことはできません。

楽曲情報を取得する

スマートフォンを Bluetooth テザリングで接続中は、Gracenote 音楽認識サービスにより、インターネット上にある楽曲情報データベースにアクセスし、再生している音楽 CD や録音したファイルのタイトル情報とアルバムアートを表示することができます。



- 取得した情報は、以下のアルバムタイトル数が本機に保存されます。
 - タイトル情報：約 100 タイトル
 - アルバムアート：約 400 タイトル
 制限数を超えた場合は、古い情報から削除されます。
- アルバムアートは、アルバムタイトルの画像が表示され、無い場合はアルバムアーティストの画像が表示されます。また、両方の画像が無い場合は、ジャンル別の画像が表示されます。
- 本機に保存されているタイトル情報とアルバムアートは、テザリング接続をしていないときでも表示されます。

Gracenote 音楽認識サービスを使うための準備

準備 1：スマートフォンのテザリング契約

Gracenote 音楽認識サービスを使用するためには、スマートフォンのテザリング契約が必要です。(費用や契約については契約会社により異なります。)

また、通信費用は別途かかります。

準備 2：本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続する

1 Bluetooth テザリングをするスマートフォンの Bluetooth とテザリング機能をオンにする

2 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [外部機器] をタッチする



3 [Bluetooth] (Bluetooth) をタッチして本機の Bluetooth 機能を [ON] にする

4 [Bluetooth テザリング] (その他) をタッチして [ON] にする

5 スマートフォン側で “MDV-M909HDF”、“MDV-M909HDL”、“MDV-M809HDW”、または “MDV-M809HD” を選ぶ

6 デバイス名とパスキーを確認する



7 [Bluetooth テザリング] をタッチしてチェックを付けて [はい] をタッチする

スマートフォンがテザリング接続され、インターネットに接続しているときに音楽 CD を挿入すると、楽曲情報データベースから音楽 CD の情報が取得されて表示されます。



- この機能をご使用の場合には、スマートフォンの通信料金が発生します。パケット定額料金プランをおすすめします。
- 以下の場合は、85 ページの「楽曲情報を取得/変更する」をご覧ください。
 - 音楽 CD の楽曲情報が自動で取得できない場合
 - 自動で引き当てられた音楽 CD の楽曲情報を変更したい場合
 - 録音した曲の楽曲情報を取得する場合

楽曲情報を取得 / 変更する

1 ソースを切り替えて、AV 画面を表示する

■ 音楽 CD の楽曲情報を取得 / 変更する

ソースを「DISC」に切り替え、AV 画面を表示して楽曲情報を取得したい CD を再生します。

■ 録音した曲の楽曲情報を取得する

ソースを「SD」または「内蔵メモリ」に切り替え、AV 画面を表示して楽曲情報を取得したい曲を再生します。

2 [表示] をタッチしてサブ機能ボタンを表示する

内蔵メモリ画面例

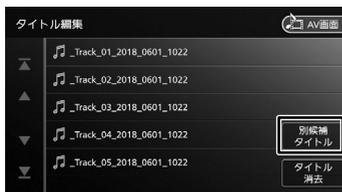


3 [タイトル検索] (DISC の場合) または [タイトル編集] (SD / 内蔵メモリの場合) をタッチする

内蔵メモリ画面例



4 [別候補タイトル] をタッチする



[タイトル消去] :

現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルが消去されます。

5 [楽曲情報取得] をタッチする



6 取得したい楽曲情報をタッチする

アルバム内の取得した楽曲情報が入ったリストが表示されます。

マルチ AV ブラウザを使う

画面の見かたと操作

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオを表示し、カテゴリから選択して再生することができます。

USB 機器と SD カードの曲またはビデオを再生するにはカテゴリデータベースを作成する必要があります。(→ P.77)



- カテゴリデータベースを一度も作成していない USB 機器を接続または SD カードを挿入すると、「カテゴリデータベースがありません。各ソース毎に作成してください。」と表示されます。

ここまでの手順

ソースをマルチ AV ブラウザに切り替える (→ P.68)



- ① アーティスト名
● アルバム名
♪ 曲名
アルバムアート画像
- ② 再生時間
- ③ 音声形式または映像形式
- ④ シークバー
- ⑤ ランダム再生モード
- ⑥ 曲番号 / 全曲数
- ⑦ リピート再生モード
- ⑧ 再生残り時間
- ⑨ 再生状態

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶	再生または一時停止(ポーズ)します。
◀◀ / ▶▶	前または次の曲を再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[トップ]	再生中のリストのトップを表示します。
[リスト]	再生中のリストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> OFF: ランダム再生モードを解除します。 曲: 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- アルバムアートの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。

リストから曲またはビデオを再生する

1 【トップ】 または 【リスト】 をタッチする



- ① ソース切替:**
SD、USB、内蔵メモリそれぞれタッチするたびに表示するかしないかを選択できます。
 - ② カテゴリー:**
アーティスト / アルバム / 楽曲 / ジャンルから選択できます。
 - ③ アルバムアート画像:**
情報にアルバムアートがある場合に表示されます。
 - ④ 曲またはビデオファイル**
 - ⑤ スクロールバー (表示のみ)**
 - ⑥ ビデオリストに切り替える**
 - ⑦ 曲リストに切り替える**
- ### 2 【MUSIC】 または 【VIDEO】 をタッチする
- ### 3 表示するソースを選択する
- ### 4 再生したいカテゴリーを選んで、ファイルを選ぶ

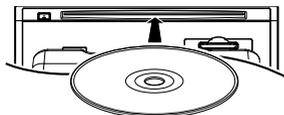
CD・オーディオファイルディスクを再生する

ディスクを入れる / 出す

ディスクを入れる

■ MDV-M909HDF

- 1 フロントパネルを手前に十分倒す
- 2 ディスクを挿入する



ソースが「DISC」に切り替わります。

- 3 フロントパネルを元に戻す

■ MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/MDV-M809HD



- ・ ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。
- ・ フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

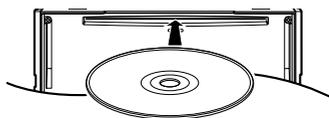
- 1
 - MDV-M909HDL/MDV-M809HD
【▲】（オープンキー）を押す
 - MDV-M809HDW
【HOME】を押して【メニュー】▶
【パネル】をタッチする



- 2 【DISC】をタッチする



- 3 ディスクを挿入口に入れる

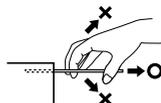


フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。

ディスクを取り出す



- ・ ディスクが排出された後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- ・ 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

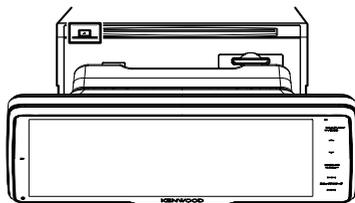


■ MDV-M909HDF



- ・ 必ずフロントパネルを十分に倒してから、ディスクを取り出してください。フロントパネルの倒しかたが不十分な場合、ディスクがぶつかり取り出せないことがあります。

- 1 フロントパネルを手前に十分倒す
- 2 【▲】（イジェクトキー）を押す



ディスクが排出されます。

- 3 ディスクを取り出す
- 4 フロントパネルを元に戻す

■ MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/ MDV-M809HD

1

- MDV-M909HDL/MDV-M809HD
【▲】（オープンキー）を押す
- MDV-M809HDW
【HOME】を押して【メニュー】▶
【パネル】をタッチする



2 【DISC】をタッチする



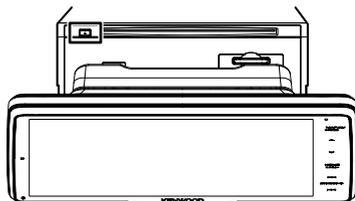
フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

ディスクを取り出せないときは

■ MDV-M909HDF

- 1 フロントパネルを手前に十分倒す
- 2 【▲】（イジェクトキー）を押し続ける



ディスクが排出されます。

- 3 ディスクを取り出す
- 4 フロントパネルを元に戻す

■ MDV-M909HDL/MDV-M809HD

- 1 【▲】（オープンキー）を押し続ける
- 2 【はい】をタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

■ MDV-M809HDW

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【パネル】をタッチする



2 【DISC】をタッチし続ける



3 【はい】をタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

4 ディスクを取り出す

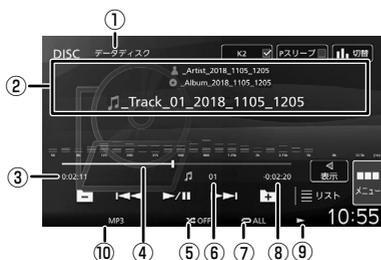
画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

ここまでの手順 

ソースを DISC に切り替える (→ P.68)

オーディオファイルディスク画面例



- ① ディスクの種類
- ② 音楽 CD :
 - ♪ トラック番号
 - オーディオファイルディスク :
 - 👤 アーティスト名
 - 📁 アルバム名 (フォルダ名)
 - ♪ 曲名 (ファイル名)
 - アルバムアート画像
- ③ 再生時間
- ④ シークバー
- ⑤ ランダム再生モード
- ⑥ トラック番号 / 全曲数 (ファイル番号)
- ⑦ リピート再生モード
- ⑧ 再生残り時間
- ⑨ 再生状態
- ⑩ ファイル形式 (オーディオファイルディスクのみ)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセンジャースリーブ機能がオンになります。(→ P.69)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	前または次の曲を再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[録音] (音楽 CD のみ)	現在の音楽 CD を内蔵メモリまたは SD カードに録音します。(→ P.78) [録音停止] をタッチすると、録音を停止します。
 (オーディオファイルディスクのみ)	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [トップ] (オーディオファイルディスクのみ) : 一番上の階層のフォルダに移動します。 ・ [一つ上] (オーディオファイルディスクのみ) : 1 つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル検索] (音楽 CD のみ)	Gracenote 音楽認識サービスで使します。(→ P.84)
[録音設定] (音楽 CD のみ)	本機の内蔵メモリまたは SD カードに録音するときの設定をします。(→ P.78)
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> OFF : ランダム再生モードを解除します。 ALL (音楽 CD のみ) : アルバム内の曲をランダム再生します。 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ALL : すべての曲をくり返し再生します。 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。
- 本機では、音楽 CD を再生しながら、本機の内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音することができます。(→ P.78)

はじめに
基本操作
ナビゲーション
オーディオ・ビデオ
情報・設定
Bluetooth
取付
付属

DVDを再生する

画面の見かたと操作 (DVDビデオ / DVD-VR)

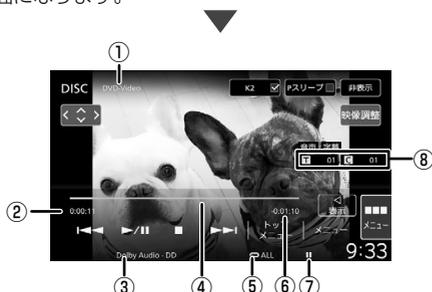
DVDを再生します。
ディスクの出し入れについては、88ページをご覧ください。

ここまでの手順 

ソースをDISCに切り替える (→ P.68)

DVDビデオを再生する

DVDの再生画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの[閉じる]をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の[非表示]でも消すことができます。

- ① ディスクの種類
- ② 再生時間
- ③ 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生残り時間
- ⑦ 再生状態
- ⑧ タイトル番号 / チャプター番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けたらK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[Pスリープ]	チェックを付けたらパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.69)

ボタン	説明
	カーソルを表示します。(→ P.94)
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	再生を停止します。  をタッチすると、停止した位置から再生を再開します。停止中に  をタッチするとディスクの先頭に戻り、  をタッチすると先頭から再生します。
	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU画面を表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは[表示]をタッチします。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の[閉じる]でも消すことができます。

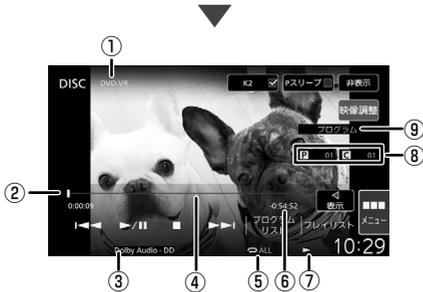
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD設定]	DVDの設定画面を表示します。(→ P.94) このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。

ボタン	説明
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ● ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。 ● チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 ● タイトル : 再生中のタイトルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD-VR を再生する

DVD-VR の再生画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの [閉じる] をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- 1 ディスクの種類
 - 2 再生時間
 - 3 音声形式
 - 4 シークバー
 - 5 リピート再生モード
 - 6 再生残り時間
 - 7 再生状態
 - 8 プログラム番号またはプレイリスト番号 / チャプター番号
 - 9 再生リスト
- 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになり(→ P.69)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.69)

ボタン	説明
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	再生を停止します。 をタッチすると、停止した位置から再生を再開します。停止中に をタッチするとディスクの先頭に戻り、 をタッチすると先頭から再生します。
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。
	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは [表示] をタッチします。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVD の設定をします。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕の表示 / 非表示を切り替えます。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ● ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。 ● チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 ● プログラム : 再生中のプログラムをくり返し再生します。 ● プレイリスト : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作する

1 ディスクメニュー表示中に画面をタッチする

2 [表示] をタッチする



3 <> をタッチする



4 各ボタンをタッチして操作する

[非表示] :

操作ボタンを消します。

◀/▶/✓/✗ :

タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

[リターン] :

ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。

[決定] :

選択中の項目を実行します。



- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVDによって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目を直接タッチして操作できます。



DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 サブ機能ボタンの [DVD 設定] をタッチする



2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー/トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。



- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

地デジを視聴する

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを地デジに切り替える (→ P.68)

地デジ画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの[閉じる]をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の[非表示]でも消すことができます。

- ① チャンネル番号
- ② プリセットモード
- ③ サービスのロゴ
- ④ プリセット番号
- ⑤ 放送時間、番組名
- ⑥ 受信モード
- ⑦ 音声の種類
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
- ⑧ 字幕の種類
字幕を選択しているときに表示されます。
- ⑨ 映像の種類
複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。
- ⑩ 電波の強さ
- ⑪ 受信している放送局名またはサービス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けたと音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けたとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[Pスリープ]	チェックを付けたとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.69)
[1] ~ [12] (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
◀▶ / ▶▶	前または次のプリセット局を選局します。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
[番組表]	番組表を表示します。(→ P.97)
[プリセット切替]	プリセットモード(エリア/ホーム/お出かけ)が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。(→ P.97)
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

【表示】をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
【受信モード切替】	受信モードを切り替えます。 自動： 自動受信モード（12Segまたは12Seg）に切り替えます。 固定12Seg： 12セグ固定モードに切り替えます。 固定1Seg： ワンセグ固定モードに切り替えます。
【音声切替】	視聴番組に複数の音声／二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
【字幕切替】	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
【映像切替】	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
【地デジ設定】	地デジ設定画面を表示します。 (→ P.99)
【閉じる】	サブ機能ボタンを消します。



- 12セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像／音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は5.1chサラウンドには対応していません。音声は2chで出力されます。

プリセットモードを切り替える

プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の3つのモードがあります。

■ エリア

エリアでは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するとき便利です。

■ ホーム / お出かけ

ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺ではホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

1 【プリセット切替】をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



タッチするたびに、エリア→ホーム→お出かけ→エリアの順に切り替わります。

放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。

放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 【プリセット切替】をタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



2 【プリセット一覧】をタッチする

3 【初期スキャン】をタッチする



4 現在地の都道府県をタッチする

5 【はい】をタッチする

受信できる放送局を検索し、登録されます。



- 【再スキャン】は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行っても、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

番組表を見る

最大 8 日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

1 【番組表】をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



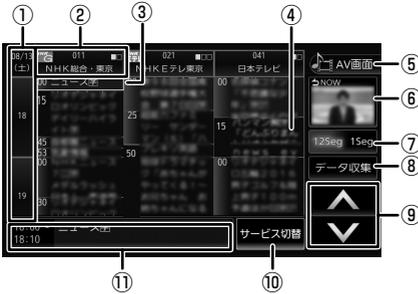
番組表が表示されます。



- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは「データ収集」をタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。

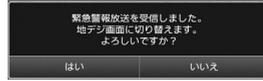


- ① **日時：**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。
- ② **放送局：**
タッチするとその放送局を受信します。
- ③ **フォーカス：**
緑色の枠で表示されます。
- ④ **現在視聴中の番組：**
背景が青色で表示されます。
- ⑤ **[AV 画面]：**
番組表を消して、AV 画面に戻ります。
- ⑥ **視聴中番組：**
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。
- ⑦ **[12Seg] / [1Seg]：**
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。
- ⑧ **[データ収集]：**
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。
- ⑨ **▲ / ▼：**
フォーカスを移動します。
- ⑩ **[サービス切替]：**
マルチ編成番組 (1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること) の場合はタッチすると番組表内の番組情報を別サービスに切り替えます。
- ⑪ **番組詳細：**
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急警報放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。



[はい]：

緊急警報放送に切り替わります。



- ・ 緊急警報放送は、AV ソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます (中継局サーチ)。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定」の [中継局 / 系列局サーチ] で設定できます。[中継局 / 系列局サーチ] を「自動切替 (中継局)」に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。



- ・ 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- ・ 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- ・ 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 【表示】をタッチする



2 【地デジ設定】をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨*/ 12セグを優先/ 切替頻度を低減	受信モードを[自動]に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局/系列 局サーチ	自動切替しない/ 自動切替(中継局) /自動切替(中継局+系列局)*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない/ 第一言語*/ 第二言語/	表示する文字スーパーを設定します。
デバイス ID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合時のお問い合わせ時に必要になることがあります。	
番組表文字サイズ	小/大*	番組表の文字のサイズを選ぶことができます。

*: お買い上げ時の設定です。

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを AM または FM に切り替える (→ P.68)



- 1 プリセットモード
- 2 プリセット番号 / 周波数 / 受信中の放送局名
- 3 ステレオ受信表示
- 4 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
【クリアボイス】	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
【K2】	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
【Pスリープ】	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
【切替】	画面のデザインが切り替わります。
【1】～【8】 (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
◀ / ▶	放送局を選択します。タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します(マニュアル選局)。タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
◀◀ / ▶▶	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します(オート選局)。

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / お気に入り 1 / お気に入り 2）を切り替えます。（→ P.100）
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。（→ P.100）
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。

エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティ FM 局を除く）が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。

エリアモードで選択できる放送局は、[リスト] をタッチすると表示できます。（→ P.100）

■ お気に入りモード

手動で好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。（→ P.100）

1 【プリセット切替】をタッチする



タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 → お気に入り 2 → エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

- 1 【プリセット切替】をタッチして、エリアモードに切り替える
- 2 【リスト】をタッチする



3 受信する放送局をタッチする

- 1 ~ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局
- : コミュニティ FM 局



- ・「コミュニティ FM 局」とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

- 1 登録する放送局を受信する
マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。（→ P.99）
- 2 【プリセット切替】をタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える



- 3 登録先のプリセットボタン（[1] ~ [8]）を 2 秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンをタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHzまたは1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを交通情報に切り替える（→ P.68）



- ① 周波数
- ② 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。（→ P.69）
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（→ P.69）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1620kHz] / [1629kHz]	受信周波数を1620kHzまたは1629kHzに手で切り替えます。
[メニュー]	MENU画面を表示します。



- 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

HDMI 出力機器を接続する

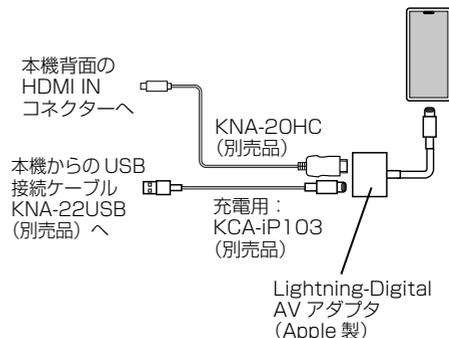
接続のしかた

本機にHDMI出力機器を接続します。HDMI機器の接続には、HDMI接続ケーブルKNA-20HC（別売品）が必要です。上記以外のHDMI接続ケーブルでは接続できません。



■ iPod/iPhone の場合

iPod/iPhoneの場合は以下のように接続してください。



- iPod/iPhoneをApple製「Lightning-Digital AVアダプタ」を使用してHDMI接続ケーブル接続しているときは、iPodソースでは音声出力されません。上記の接続状態のまま音声を聞きたい場合は、iPod/iPhoneをBluetooth接続の上、Bluetooth Audioソースに切り替えてください。iPodソースで再生音を聞きたい場合は、「Lightning-Digital AVアダプタ」を外して接続しなおしてください。（→ P.71）
- 「Lightning-Digital AVアダプタ」は車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

画面の見かたと操作

本機に接続した HDMI 機器の映像を視聴します。

ここまでの手順 ▶

ソースを HDMI に切り替える (→ P.68)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセージャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.69)
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

外部機器 (AV-IN) を接続する

画面の見かたと操作

本機に接続した外部機器の音楽や映像を視聴します。接続する外部機器の種類の設定が必要です(→ P.130)。フロントビューカメラを接続しているときは、AV-IN を使用できません。

ここまでの手順 ▶

ソースを AV-IN に切り替える (→ P.68)

ビデオ画面例

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセージャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[切替] (オーディオのみ)	画面のデザインが切り替わります。
[非表示] (ビデオのみ)	操作ボタンを消します。
[映像調整] (ビデオのみ)	映像の画質を調整します。(→ P.69)
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

「Wireless Mirroring」を使う

ミラーリング接続した Android スマートフォンの音声と画面を、本機から出力、表示します。また、ミラーリングした表示を本機からタッチコントロールすることができます。

Wireless Mirroring を使うための準備

本機の Wi-Fi 機能をオンにする

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【外部機器】をタッチする



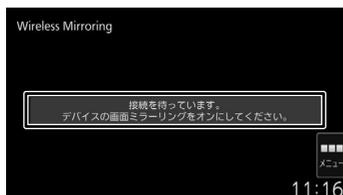
- 2 【Wi-Fi 接続】(Wi-Fi) をタッチして本機の Wi-Fi 機能を【ON】にする

本機とスマートフォンをミラーリング接続する

ここまでの手順 ▶

ソースを Wireless Mirroring に切り替える
(→ P.68)

- 1 Wireless Mirroring ソースに切り替える



メッセージが表示されます。

- 2 スマートフォンのミラーリング設定から本機の SSID を選択する



- Wireless Mirroring はミラーリング接続に対応した Android スマートフォンのみで使用できます。ただし、ミラーリング接続に対応していても、機種によ

っては使用できない場合があります。

- ミラーリング機能は、スマートフォンの機種によって「ワイヤレスディスプレイ」、「スクリーンミラーリング」、または「AllShare Cast」などと呼ばれています。
- スマートフォンの「ワイヤレスディスプレイの有効化」機能を ON に設定する必要があります。
- 本機の SSID の初期 ID はモデル名となっています。この SSID は外部機器設定の「SSID」(Wi-Fi) で変更することができます。(→ P.130)
- 本機の画面からコントロールするには、Android 4.2 以降のバージョンおよび UIBC 対応のスマートフォンが必要です。
- アプリの機能によっては、本機のモニターからコントロールできない場合があります。
- ミラーリング表示した画面のマルチタッチ操作はできません。
- ミラーリング中は Wi-Fi の設定が無効となります。

画面の見かたと操作

本機にミラーリング接続したスマートフォンの画面を視聴します。

ビデオ画面例

[表示] ボタンをタッチすると操作ボタンが表示されます。[表示] ボタンが表示されていないときは画面をタッチします。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の【非表示】でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.69)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.69)
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶**
【情報・設定】をタッチする
- 2 **項目をタッチする**

■ 情報

【VICS】：
FM VICS、ETC2.0 割り込み情報を表示します。(右記)

【接続】：
本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(→ P.30)

【バージョン】：
本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(→ P.132)

【ETC】：
本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。ETC 機器の設定方法についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

【ECO】：
車の ECO ドライブ情報を表示します。(→ P.110)

■ 設定

【ナビ】：
ナビゲーションに関する設定を行います。(→ P.111)

【サウンド】：
サウンドに関する設定を行います。(→ P.116)

【システム】：
システムに関する設定を行います。(→ P.126)

【外部機器】：
外部機器を接続するときの設定を行います。(→ P.130)

【登録地点編集】：
登録地点を編集します。(→ P.66)

【MapFan 連携】：
本機の MapFanAssist 機能を使用するときの設定を行います。本機の MapFanAssist 機能についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル (種類) があります。

- **レベル 1 (文字型情報)**
情報が文字で表示されます。
- **レベル 2 (簡易図形型情報)**
情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3 (地図表示型情報)**
情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送 (NHK-FM)、光ビーコンと ITS スポットを通じて、VICS の情報を受信することができます。



- ITS スポットから情報を取得するには、本機対応の ETC2.0 車載器が必要です。(→ P.178)
- 光ビーコン情報を取得するには、本機に接続する ETC2.0 車載器が高度化光ビーコンまたは光ビーコンに対応している必要があります。

VICS 情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

■ FM 多重放送

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所 (雑音、建造物や地形などの影響で電波の屈折や反射が生じることで起こる電波障害などによる) では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります (情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります)。
- FM 放送時間外は利用できません。

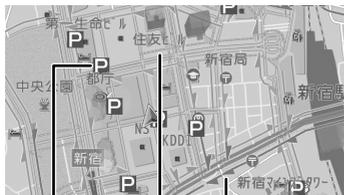
■ 光ビーコン

- 光ビーコンの発信器は主に一般道に設置されています。
- 以下の場合には受信が困難になることがあります。
 - 通信エリア外
 - 雨や雪の影響がある
 - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
 - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
 - アンテナ受光面が汚れている
 - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている
- 受信状況によっては、対向車線の光ビーコンを受信してしまうことがあります。

地図に表示される VICS 情報

地図表示型（レベル 3）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



駐車場情報

赤色：満車
 橙色：混雑
 青色：空車
 黒色：不明

渋滞情報

赤色：渋滞
 橙色：混雑
 水色：順調

統計情報による渋滞線（点線）

薄赤色：渋滞
 薄橙色：混雑
 薄青色：順調

気象・災害情報エリアの表示



気象・災害情報エリア

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害	チェーン 規制
故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限
火災	凍結	車線規制	車線規制： 右側	進入禁止
片側交互 通行	駐車場 閉鎖	駐車場 混雑	駐車場 空き	駐車場 満車
		背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場 不明	SA・PA 閉鎖	SA・PA 混雑	SA・PA 空き	SA・PA 満車
背景黒色 SA・PA 不明	背景橙色 その他の 規制	背景橙色 工事	背景青色 徐行	背景赤色 速度規制
背景黒色	SA PA	!	↙	10
背景黒色	対面通行	作業	気象情報	災害情報
!	!	!	!	!



- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図表示型（レベル 3）情報を表示できる地図の縮尺は 10m ~ 1km です（一般道では 10m ~ 500m です。また、駐車場情報は 10m ~ 200m で表示します）。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICS が受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。

緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。



- 緊急情報表示は「戻る」をタッチすると消えます。
- 注意警戒情報表示は「戻る」をタッチする、または約 15 秒経過すると消えます。

■「VICIS WIDE」サービスによる緊急割り込み表示



【詳細】：

タッチすると緊急情報（特別警報）の詳細を見ることができます。

【閉じる】：

タッチすると緊急情報（特別警報）を画面の下部または上部に表示します。



【詳細】：

上記の VICIS 詳細情報を表示します。

【上位置】 / 【下位置】：

表示を画面上部または下部に移動させます。

【切替】：

複数の緊急情報（特別警報）がある場合に表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

【閉じる】：

割り込み表示を消します。

地図上の VICIS 情報を見る

地図画面に表示された VICIS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークをタッチする



地点情報表示に規制情報が表示されます。

【切替】：

複数の VICIS 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

2 【詳細】をタッチする



VICIS の詳しい情報が表示されます。

簡易図形型（レベル 2） / 文字型（レベル 1）情報の割り込み表示

光ビーコンから受信した簡易図形型（レベル 2） / 文字型（レベル 1）情報は、地図画面に割り込み表示されます。



▼ / ▲：

表示ページを切り替えます。

【図形】 / 【文字】：

文字型（レベル 1）情報と簡易図形型（レベル 2）情報の表示を切り替えます。



- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図以外の画面（設定画面や AV 画面など）が表示されているときには、割り込み表示されません。
- FM 多重放送で受信した文字情報および簡易図形型情報は、現在地図画面の「渋滞」をタッチするか、または情報・設定画面（→ P.104）からご覧ください。
- 文字情報、簡易図形型情報が割り込み表示をしないように設定することができます。（→ P.109）
- 割り込み表示時間は設定することができます。（→ P.109）
- ここで案内、交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

ETC2.0 割り込み表示

本機に対応のETC2.0車載器(→ P.178)を接続している場合、ITS スポットからデータを受信したとき、または指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。(優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。)音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。

対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報
 - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- 一般情報
 - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報



▼ : 表示ページを切り替えます。

【再生】 / 【停止】 :

音声情報を再生または停止します。



- ETC2.0 優先情報、一般情報が割り込み表示しないように設定できます。(→ P.109)
- 割り込み表示の時間を設定することができます。(→ P.109)
- 音声情報を再生中は、設定した割り込み表示の時間を過ぎてても表示し続けます。
- ETC2.0 一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報 (文字型情報 / 簡易図形型情報) を表示します。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【VICS】をタッチする



- 2 表示したい情報をタッチする

【FM 図形情報】 / 【FM 文字情報】 :

FM-VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

【ビーコン図形情報】 / 【ビーコン文字情報】 :

ビーコン VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

【ETC2.0 割り込み情報】 :

ETC2.0 車載器で受信した割り込み情報を表示します。(→ P.108)

FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示



番号をタッチすると、図形 / 文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

■ 図形情報



▼ / ▲ : 1つ前または次の情報に切り替えます。

■ 文字情報



▼ / ▲ : 1つ前または次の情報に切り替えます。

ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示

■ 図形情報



▼ / ▲ : 表示ページを切り替えます。

【文字】: ビーコン VICS 文字情報に切り替えます。

■ 文字情報



▼ / ▲ : 1つ前または次の情報に切り替えます。

【図形】: ビーコン VICS 図形情報に切り替えます。

ETC2.0 割り込み情報



▼ / ▲ : 1つ前または次の情報に切り替えます。

【再生】 / 【停止】:

音声情報を再生または停止します。（音声がある場合のみ）

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局:
現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局のほうが便利です。
- 手動選局:
FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【VICIS】をタッチする



- 2 【VICIS FM 選局モード】をタッチする
- 3 【自動】をタッチしてチェックを付ける



- 4 【閉じる】をタッチする

手動で選局する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【VICIS】をタッチする



- 2 【VICIS FM 選局モード】をタッチする
- 3 【自動】をタッチしてチェックを外す



- 4 ◀ または ▶ をタッチして受信周波数を設定する



- 5 【閉じる】をタッチする

VICS 情報の表示設定をする

1 [HOME] を押して [メニュー] ▶
[情報・設定] ▶ [ナビ] をタッチする



2 設定する交通情報の項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS 情報表示	—	VICS 情報の表示内容について設定します。「VICS 情報表示を設定する」(→ P.109)をご覧ください。
図形情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器の光ビーコンで受信した簡易図形型 (レベル 2) 情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
文字情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器の光ビーコンで受信した文字型 (レベル 1) 情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した優先情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した一般情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
割り込み表示の時間	5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間*	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
ETC2.0 アップリンク	ON*/OFF	ETC2.0 アップリンク機能のオン/オフを設定します。
プローブ情報送信	この設定は「KENWOOD Drive Info.」が必要です。詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。	

項目	設定	説明
渋滞情報の取得間隔		この設定は「KENWOOD Drive Info.」が必要です。詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

* : お買い上げ時の設定です。



- 別売の本機対応の ETC2.0 車載器についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

■ VICS 情報表示を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 [VICS 情報表示] (交通情報) をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示 : 高速道	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示 : 一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示 : 高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示 : 一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線 (統計) の表示 : 高速道	統計情報による高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線 (統計) の表示 : 一般道	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線 (統計) の表示 : 高速道	統計情報による高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線 (統計) の表示 : 一般道	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。



- 表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目をタッチすると、選択が解除されます。
- [表示オフ] をタッチするとすべての VICS 情報が表示されなくなります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付録

ECO 情報を確認する

ECO 情報を見る

HOME 画面の INFO エリア (→ P.23) または現在地図画面で ECO ドライブ情報を見ることができます。

HOME 画面

ECO ドライブ評点



現在地図画面

ECO ドライブ評点



ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。e スタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [ECO] をタッチする



ECO 情報画面が表示されます。



現在表示されている情報の 1 日前 / 1 日後の情報を表示します。

[ECO レシオ] :

燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート** : 停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速** : 加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速** : 減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度** : 一定スピード (経済速度) での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

ECO レシオを表示する

燃費度合グラフを表示します。

1 [ECO レシオ] をタッチする



ECO レシオ画面が表示されます。



グラフ表示を 1 日分スクロールします。

[ECO 判定モード] :

ECO 度の判定のモード (ソフト / ノーマル / ハード) を設定します。ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。(お買い上げ時は [ノーマル] に設定されています)

[ECO データ消去] :

過去の ECO データを消去します。確認のメッセージで [はい] をタッチすると、ECO データが削除されます。



- ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

ナビゲーションの 設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶
【情報・設定】▶【ナビ】をタッチする**



2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● 地図

項目	設定	説明
地図色/ 文字サイズ	地図色: 1*/2 / ダークモード 文字サイズ: 小/中*/大 地図色昼夜切 替: 昼色に固 定/夜色に固 定/自動*	地図色、文字サイズと 地図表示の設定をし ます。(→ P.114)
ランドマーク 表示	—	地図に表示するランド マークを設定します。 (→ P.115)
登録地点 表示	—	地図に表示する登録地 点を設定します。表示 したい登録地点のカテ ゴリーをタッチします。 もう一度タッチすると 選択を解除します。 [表示オフ] をタッチする とすべて表示しません。
自転車マーク	▲*/■/●	自転車マークのデザイ ンを設定します。
走行軌跡の 表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示する かどうかを設定します。 (→ P.115)
走行軌跡を 消去	—	記憶されている走行軌 跡を消去します。 (→ P.115)
地図の向き	ノースアップ/ ヘディング アップ/ 3Dビュー*	地図の向きを設定し ます。

項目	設定	説明
地図の向き (子画面)	ノースアップ/ ヘディング アップ/ 3Dビュー*	地図子画面の地図の向 きを設定します。
フライビュー マップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを 表示するかどうかを設定 します。
ワンタッチ ルーペ	ON*/OFF	自車マークをタッチし たときに、自車マーク の周りの地図を拡大し て表示するかどうかを 設定します。 (→ P.40)
市街地図の 表示縮尺	50m以下 /100m以下*	市街地図の表示縮尺を 設定します。
盗難多発地 点表示	ON*/OFF	盗難多発地点を表示す るかどうかを設定し ます。 縮尺が200m以下の 地図表示のとき、盗難 が多発している場所を 赤色、橙色、黄色で区 分して表示します。
冠水注意 地点表示	ON*/OFF	冠水注意地点を表示す るかどうかを設定し ます。 • 縮尺が200m以下 の地図表示のとき、 豪雨時に一時的に道 路が冠水し通行に支 障・危険をもたらす おそれがある場所を 表示します。 • 冠水注意地点表示は 一部地域を除く都道 府県で表示対応して います。
ゾーン30 エリア表示	ON*/OFF	ゾーン30エリア(30 キロ規制区域)を 表示するかどうかを設定 します。 縮尺が300m以下の 地図表示のとき、ゾ ーン30エリアを青紫 色で表示します。
マップコード 表示	ON/OFF*	スクロール画面にマ ップコードを表示する かどうかを設定し ます。
緯度・経度 表示	ON/OFF*	スクロール画面に緯 度・経度を表示する かどうかを設定し ます。
3Dポリゴン ランドマーク の半透過 表示	ON*/OFF	3Dビューにて3D ポリゴンランドマ ークを半透過にする かどうかを設定し ます。

*: お買い上げ時の設定です。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
Bluetooth

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

● 案内

項目	設定	説明
案内中の音量調整	ON/OFF*	[ON] に設定すると音声案内中は音量キーでも案内音声の音量調整ができるようになります。
案内音声の音量	1 ~ 25* ~ 40	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	車速に応じて、案内音声の音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時またはVICS情報の案内音声を出力するかどうかを設定します。
VICS車線規制のHOME画面表示	ON*/OFF	HOME画面でVICS車線規制の注意喚起表示をするかどうかを設定します。(→ P.23)
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF : 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON : ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON* : 音声を出力します。	
合流案内のHOME画面表示	HOME画面で合流案内の注意喚起をするかどうかを設定します。(→ P.23) 常に OFF : 表示しません。 ルート案内時のみ ON : ルート案内時のみ、表示します。 常に ON* : 表示します。	
踏切案内のHOME画面表示	HOME画面で踏切案内の注意喚起表示をするかどうかを設定します。(→ P.23) 常に OFF : 表示しません。 ルート案内時のみ ON : ルート案内時のみ、表示します。 常に ON* : 表示します。	
一時停止の音声案内	一時停止の情報のある交差点の手前で音声案内をするかどうかを設定します。(→ P.61) 常に OFF : 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON : ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON* : 音声を出力します。	

項目	設定	説明
一時停止の表示		一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンを表示するかどうかを設定します。(→ P.23) (→ P.39) 常に OFF : 表示しません。 ルート案内時のみ ON : ルート案内時のみ、表示します。 常に ON* : 表示します。
ETC音声の出力 ⁽¹⁾	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 音声を出力するかどうかを設定します。
ETC料金の表示 ⁽¹⁾	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。(→ P.39)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。(→ P.39)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。(→ P.58)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。(→ P.58)
ここでは案内表示		ここでは案内の表示を設定します。(→ P.58) OFF : 表示しません。 一般道のみ ON* : 一般道のみ表示します。 ON : 表示します。
ここでは案内の自動消去	ON*/OFF	[ON] に設定すると案内ポイントの50m手前(高速道路では300m手前)で、ここでは案内を消去します。交差点案内図の表示が[ON] に設定されているときは、自動的に交差点案内図の表示に切り替わります。
ETCレーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときに ETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。(→ P.59)

項目	設定	説明
信号情報案内 (TSPS) の表示 ^[2]	ON*/OFF	信号情報案内 (TSPS) をするかどうかを設定します。信号情報案内 (TSPS) の詳細についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。
盗難多発地点音声案内	ON*/OFF	盗難多発地点の音声案内をするかどうかを設定します。 (→ P.61)
AV 画面時の案内割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかが設定します。
バーチャルルームミラー時の地図割り込み ^[3]	ON*/OFF	バーチャルルームミラー表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかが設定します。バーチャルルームミラーの詳細についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

* : お買い上げ時の設定です。

^[1] 別売の本機対応 ETC 車載器または本機対応の ETC2.0 車載器が接続されているときに設定できます。

^[2] 別売のケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 を接続しているときに設定できます。

^[3] 別売のドライブレコーダー (DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940) または別売のリアビューカメラ (CMOS-C320、CMOS-C230、CMOS-C230W、CMOS-320、CMOS-230W、CMOS-230) を接続しているときに使用します。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(→ P.54)
マイルルートアジャスター	探索の詳細条件を選択し、マイルルート 1 ~ 3 に設定することができます。(→ P.115)	

項目	設定	説明
スマート IC 考慮	ON/OFF*	スマート IC を利用する探索を行うかどうかを設定します。
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/OFF	目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。

* : お買い上げ時の設定です。



- スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

● 交通情報

項目	説明
VICS 情報表示	この設定については、「VICS 情報の表示設定をする」(→ P.109) をご覧ください。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0 アップリンク	
プローブ情報送信	この設定の「KenwoodDriveInfo」については、オプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページをご覧ください。
渋滞情報の取得間隔	

* : お買い上げ時の設定です。

● その他

項目	設定	説明
NaviCon 友達マップ		この設定の「NaviCon」についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページをご覧ください。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付録

項目	設定	説明
車両ナンバー	軽 / 5・7* / 3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
現在地修正		自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。(→ P.114)
地図更新プログラム		地図の更新用のSDカードを作成します。(→ P.133)
オービス更新プログラム		オービスの更新用のSDカードを作成します。

*: お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶ **[情報・設定]** ▶ **[ナビ]** ▶ **[地図色 / 文字サイズ]** (地図) をタッチする

2 設定したい項目をタッチする



地図色:

地図色を設定します。

文字サイズ:

小、中、大から文字サイズを設定します。

地図色昼夜切替:

• **[自動]:**

「ディマー」(→ P.126) で設定した連動方法に応じて自動的に地図色を切り替えます。

ディマー設定が OFF のとき:

常に昼色の地図を画面に表示します。(昼画面)

ディマー設定が ON のとき:

常に夜色の地図を画面に表示します。(夜画面)

ディマー設定がイルミ連動のとき:

車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)

ディマー設定が時刻連動のとき:

日の出または日の入り時刻の前後で3段階の色の地図を表示します。

- **[昼色に固定]:**
常に昼色の地図を画面に表示します。(昼画面)
- **[夜色に固定]:**
常に夜色の地図を画面に表示します。(夜画面)

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶ **[情報・設定]** ▶ **[ナビ]** ▶ **[現在地修正]** (その他) をタッチする

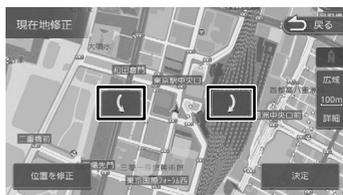
地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる (位置を修正)



3 **[向きを修正]** をタッチする

4 **[左向き]** または **[右向き]** をタッチして、自車の向きを設定する (向きを修正)



5 **[決定]** をタッチする



- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。(→ P.40)
- 手順5で **[決定]** をタッチする前なら、**[位置を修正]** または **[向きを修正]** をタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【ナビ】▶【走行軌跡の表示】（地図）をタッチする

走行軌跡を消去する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【ナビ】▶【走行軌跡を消去】（地図）をタッチする



- 走行軌跡は、現在地より過去 1000km の軌跡が保存されています。1000km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を [OFF] に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニエンスストア/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示します。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【ナビ】▶【ランドマーク表示】（地図）をタッチする
- 2 設定するパターンをタッチする



- 3 表示するランドマークのジャンル【選択】をタッチする

タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。各ジャンル内を施設別に選択したい場合は、ジャンル名をタッチすると表示される詳細リストの施設名にタッチしてチェックマークを付けます。

表示させたいパターン(1～3)にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。



- 「表示オフ」にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。
- 駐車場、宿泊、トイレは、施設別の選択はできません。

ルート探索の条件を設定する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【ナビ】▶【マイルルートアジャスター】（探索）をタッチする
- 2 探索条件を登録したいマイルルート 1～3 のいずれかをタッチして (1) 設定したい項目をタッチして (2) 調整する (3)



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
有料優先	低～中* ～高 (5段階)	有料道路を使った探索をするときに有料道路を優先して使うかどうかを設定します。
道幅優先	狭い～ 広い (5段階)	狭い道幅を優先するか広い道幅を優先するかを設定します。お買い上げ時の設定は[狭い]と[広い]の間です。
渋滞回避	0～1* ～3 (4段階)	0：渋滞回避しません。 1：渋滞回避を多少優先する。 2：渋滞回避を優先する。 3：渋滞回避を積極的に優先する。
踏切考慮	低～中* ～高	踏切の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
信号考慮	ON*/ OFF	信号の少ないルートを優先するかどうかを設定します。

項目	設定	説明
ルート学習	ON*/OFF	自宅から半径 3km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行していると、実際に走ったルートをナビが学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかどうかを設定します。 [学習の初期化] をタッチするとメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると学習したルートの初期化が開始されます。

*: お買い上げ時の設定です。

■ 案内開始画面から

【マイルートアジャスター】機能を使う

1 【マイルートアジャスター】をタッチする



2 探索条件を登録したいマイルート 1～3 のいずれかをタッチして (①) 設定したい項目をタッチして (②) 調整する (③)



3 【再探索】をタッチする

ルートを再探索します。

サウンドの設定をする

音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。



- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (STANDBY) のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリー電話の通話中、発信、着信中やスマートフォン音声認識機能を使用中は、「バランス / フェーダー」以外のサウンドの設定はできません。
- パッセンジャースリープ機能がオンのときはサウンドの設定はできません。(→ P.69)

1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【サウンド】をタッチする



2 設定する項目をタッチする

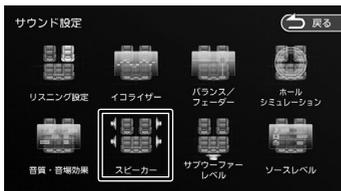
設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リスニング設定	音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。(→ P.118)
イコライザー	低音域から高音域までの音質を設定します。(→ P.120)
バランス / フェーダー	◀ または ▶ をタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ をタッチして前後のバランスを調整します。 [センターに戻す]: 左右 / 前後ともに中央になります。
ホールシミュレーション	サラウンド効果を設定します。(→ P.121)
音質・音場効果	音響効果を設定します。(→ P.121)
スピーカー	スピーカーの構成を設定します。(→ P.117)
サブウーファースレベル	◀ または ▶ をタッチしてサブウーファースレベルを設定します。
ソースレベル	各 AV ソースの音量をそろえます。(→ P.125)

車両タイプを設定する

車両タイプを設定すると、簡易的に車両タイプに合わせた音質が設定されます。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** ▶ **【情報・設定】** ▶ **【サウンド】** ▶ **【スピーカー】** をタッチする



- 2 **【車両】** をタッチする

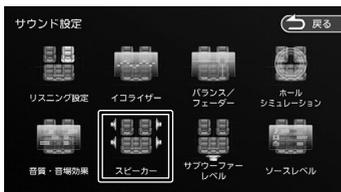


- 3 車両タイプを選んでタッチする

スピーカー構成を設定する

実際に設置されているスピーカーの取付位置、スピーカー口径などを設定します。さらにスピーカーのクロスオーバー周波数も調整することができます。より車両に適したリスニング設定ができます。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** ▶ **【情報・設定】** ▶ **【サウンド】** ▶ **【スピーカー】** をタッチする

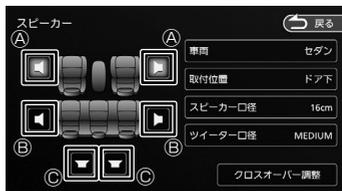


- 2 **【車両】** をタッチする



- 3 車両タイプを選んでタッチする

- 4 設定するスピーカーをタッチする



- ①：フロントスピーカー
 ②：リアスピーカー
 ③：サブウーファー

- 5 各項目をタッチして設定する



【取付位置】：

スピーカーの位置を設定します。

【スピーカー口径】：

スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは“なし”には設定できません。

【ツイーター口径】：

ツイーターの口径を設定します。

スピーカーのクロスオーバー周波数を調整する

フロント/リアスピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数とスロープ（減衰率）、サブウーファーの位相、スピーカーレベルを設定します。



・ カットオフ周波数は、スピーカーにより異なります。

- フロント/リアスピーカー：
指定した周波数よりも低い成分をカットする周波数。
- サブウーファー：
指定した周波数よりも高い成分をカットする周波数。

この機能により、フロント/リアスピーカーでは低域成分、サブウーファーでは高域成分が出力されないようにできます。

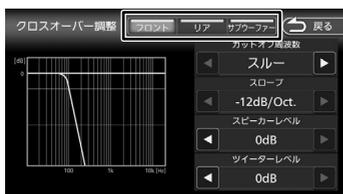
- ・ 各スピーカーやツイーターの出力レベルを変えると、トーンカーブ全体が上下に動きます。各スピーカーの出力レベルがそろるように調整します。

- ・スピーカー構成の設定でリアスピーカー、サブウーファースピーカーのスピーカー口径を「なし」に設定している場合は、それぞれのクロスオーバーは調整できません。
- ・カットオフ周波数とは、通過域と減衰域との境の周波数のことをいいます。定義としては、3dB 落ちた周波数をカットオフ周波数といえます。

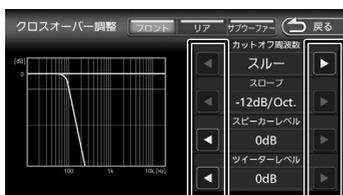
- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶ **[情報・設定]** ▶ **[サウンド]** ▶ **[スピーカー]** ▶ **[クロスオーバー調整]** をタッチする



- 2 **クロスオーバー周波数を変更するスピーカー** をタッチする



- 3 ◀ または ▶ をタッチして、各項目を設定する



[カットオフ周波数] :

カットする周波数の値を設定します。
「スルー」にすると、機能がオフになります。

[スロープ] :

カットオフ周波数で設定した帯域の音をカットするときの減衰率を設定します。
1 オクターブ (oct) あたりの減衰率を dB で設定します。

[スピーカーレベル] :

スピーカーレベルを設定します。

[ツイーターレベル] :

ツイーターレベルを設定します。
スピーカー設定 (→ P.117) でツイーターの口径が設定されている場合のみ設定できます。

【位相反転】 :

位相の反転をする (チェックあり)、しない (チェックなし) をタッチして設定します。(サブウーファーのみ)

リスニングを設定する

リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。
リスニング設定には2つの設定方法があります。
2つ同時に設定することはできません。

リスニングポジション :

設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる (ディレイ) ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

フロントフォーカス :

仮想の音像イメージを設定した座席の正面に定位させる機能です。フロントフォーカスの「前の両座席」と「全ての座席」のそれぞれについては、音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「右側優先」を、左側に定位させたい場合は「左側優先」を選んでください。

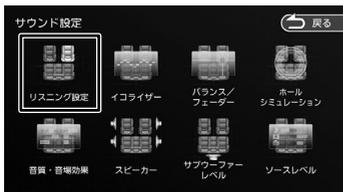


- ・リスニング設定はスピーカー構成の設定 (→ P.117) で両面タイプとスピーカー構成の両方が設定されていないと正しく設定できません。
- ・スピーカー構成の設定でリアスピーカー、サブウーファースピーカーのスピーカー口径を「なし」に設定している場合は、それぞれのスピーカー調整ができません。
- ・フロントフォーカス調整の [ディレイ] 設定の [音像左右 (主調整)] の [リア・サブウーファーを出力しない] で調整は、スピーカー構成の設定でリアスピーカー、サブウーファースピーカーのスピーカー口径を両方 [なし] に設定している場合はタッチできません。
- ・フロントフォーカス調整の [ディレイ] 設定の [仮想音場の広さ] は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を「なし」に設定している場合は調整できません。
- ・フロントフォーカス調整の [ディレイ] 設定の [仮想音場の広さ] と [音像左右 (微調整)] は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を「なし」に設定している場合は調整できません。
- ・フロントフォーカス調整の [ディレイ] 設定の [サブウーファースピーカーのディレイ] は、スピーカー構成の設定でサブウーファースピーカーのスピーカー口径を「なし」に設定している場合は調整できません。

- ・フロントフォーカスを調整するときに表示される画面は、[閉じる] をタッチすると画面を閉じることができます。

1 車両タイプを設定してスピーカーを設定する (→ P.117)

2 [リスニング設定] をタッチする



3 リスニングポジションまたはフロントフォーカスの設定したい座席をタッチする

選択した座席に合わせた音場効果が設定されます。設定はさらに微調整することもできます。

リスニングポジションを微調整する

1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [サウンド] ▶ [リスニング設定] ▶ [調整] をタッチする



2 [ディレイ] をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして実際に測った距離を設定する



リスニングポジションを [全ての座席] または [前の両座席] に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

3 [レベル] をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして音を聴きながら調整する



フロントフォーカスの微調整をする

1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [サウンド] ▶ [リスニング設定] ▶ [調整] をタッチする



2 [ディレイ] をタッチして下記の順で各項目を設定する



[音像左右 (主調整)] をタッチする

[リア・サブウーファーを出力しないで調整] にチェックが付いている状態で、◀ または ▶ をタッチして、音像イメージが座席の正面になるように調整します。

次に [リア・サブウーファーを出力しないで調整] をタッチしてチェックが消えている状態で、音像イメージが座席の正面になっているか確認してください。音像の位置がずれた場合は ◀ または ▶ をタッチして調整してください。

[仮想音場の広さ] をタッチする

音を聞きながら ◀ または ▶ をタッチしてお好みの広さのイメージになるよう調整します。この調整で音像イメージが正面からずれたときは [音像左右 (微調整)] で微調整してください。



【サブウーファースのディレイ】をタッチする
音を聞きながら ◀ または ▶ をタッチして
サブウーファースのディレイを調整します。

- 3 【レベル】をタッチして、各スピーカ-
の ◀ または ▶ をタッチして音を
聴きながら調整する



設定した値を初期設定に戻す

【初期値に戻す】をタッチするとメッセージが表示
されます。【はい】をタッチするとディレイとレベ
ルで調整した両方の値を初期設定に戻します。

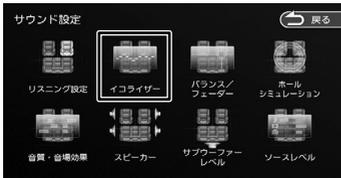
プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザー
をソースごとに設定します。



- ・【クリアボイス】がオンになっているソ-
ース (FM、AM、地デジ、または交通情報)
を選択中は、イコライザーの設定はできま
せん。

- 1 設定したいソースを選ぶ
- 2 【HOME】を押して【メニュー】▶
【情報・設定】▶【サウンド】▶
【イコライザー】をタッチする



- 3 【プリセット選択】をタッチする



- 4 設定したいプリセットイコライザー
(ジャンル) をタッチする

手順1で選択したソースに設定されます。

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソ-
ースごとに設定します。ジャンル別に設定されたプ
リセットイコライザーを呼び出してイコライザー
カーブを調整することもできます。

- 1 設定したいソースを選ぶ
- 2 【HOME】を押して【メニュー】▶
【情報・設定】▶【サウンド】▶
【イコライザー】をタッチする
- 3 画面を指でなぞる



【フラット】:

すべての周波数帯域をフラットにします。

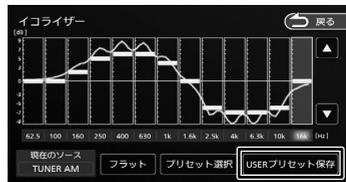


- ・調整したい周波数を選んでタッチし、▲
または ▼ をタッチしてレベルを設定す
ることもできます。

調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプ
リセットイコライザーのUSER1～4に保存でき
ます。

- 1 イコライザーカーブを調整する
- 2 【USERプリセット保存】をタッチする

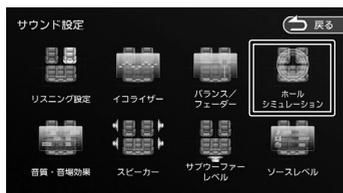


- 3 保存先をタッチする



ホールシミュレーションを設定する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【サウンド】▶【ホールシミュレーション】をタッチする



- 2 サラウンドの【ON】をタッチする



- 3 設定する項目をタッチする

反射音レベルと反射音のディレイタイムを設定することもできます。
[反射音のレベル] (LOW/MID/HIGH) または [ディレイタイム] (SHORT/MID/LONG) をタッチして聴きながら調整してください。

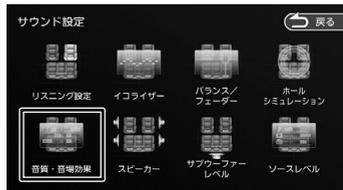


- ホールシミュレーションのサラウンドを【ON】に設定しているときは、リアスピーカーの音量が小さくなります。

音響効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【サウンド】▶【音質・音場効果】をタッチする



- 2 各項目を調整する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
ミュージック バスブースト	OFF/1*/2/ /3	低音楽器の音を増強するレベルを設定します。
ナチュラル ラウドネス	OFF/ LOW*/ HIGH	音量に応じて低域高域のバランスを保ち、小音量時でも自然に聞こえるように低音と高音を補正します。録音レベルが大きい曲の場合はLOW、小さい曲の場合はHIGHが適しています。
Drive Equalizer +	OFF ~ 7* ~ 9	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
内蔵アンプ 出力	OFF/ ON*	内蔵アンプを使用するかどうかを設定します。
K2テクノ ロジー	OFF/ ON*	録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。(→ P.69)
リアライザー	OFF/1*/2/ /3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティのある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サウンド ライザー	OFF*/ LOW/ MIDDLE/ HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置(高さ)を設定します。
プロモード EQ	「プロモードEQを使う」(→ P.122)をご覧ください。	

*：お買い上げ時の設定です。

プロモードEQを使う

従来の「グラフィックイコライザー」に加えて、より精密な調整が可能な「パラメトリックイコライザー」を搭載しこれをプロEQと名付けました。それぞれを使い分けることで、より完成度の高いチューニングが可能になります。

ただし、調整するには専門知識が必要です。

■ 使い分け

● プロモードEQ（パラメトリックイコライザー）
車内音響の周波数特性の細かな補正や改善に使用し調整のベースを整えます。

車内音場問題点を把握するためには熟練した耳、あるいは測定器が求められる場合もあります。

● グラフィックイコライザー

従来通り積極的な「音作り」に使用し魅力的な音を作り出します。

直観的な作業で試行錯誤を繰り返すことで誰でも容易に結果を得られます。

プロモードEQでベースが整えられることで一層効果的な調整が可能となります。

プロモードEQについて

■ 概略

フロント/リア/サブウーファー共通の9ポイント、フロント専用の2ポイント、リア専用の2ポイント、サブウーファーの1ポイントの合計14ポイントそれぞれで、フィルタ、周波数、Qファクタ（鋭さ）、スロープゲインを自在にコントロールできるシステムです。

■ 注意点

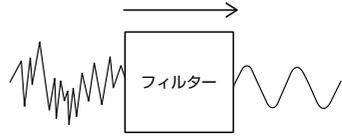
- ・ グラフィックイコライザーの調整前にプロモードEQの補正を行い、ベースを整えます。
- ・ プロモードEQの調整結果はグラフィックイコライザー画面には反映されません。
- ・ プロモードEQ ON/OFF ボタンで効果の確認ができます。

■ 調整について

耳障りなピークはピーキングフィルタを左右にスライドさせて耳で周波数をサーチできます。スタジオエンジニアは、このようにして短時間で効率的に補正を行いますが、カーオーディオで正確なピークやディップをみつけるには、周波数エネルギーが一定なピンクノイズを再生したスピーカー音を、マイクを通して測定器（RTA リアルタイムアナライザ）にて測定する必要があります。その測定結果から補正すべきピークやディップをみつけ、それを打ち消すようにフィルタを設定します。

■ プロモードEQのフィルタについて

フィルタを使うと、信号処理により特定の音を取り除いたり、取り出したりすることができます。

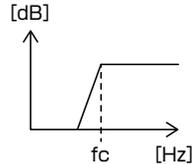


- ・ カットオフ周波数とは、通過域と減衰域との境の周波数のことをいいます。定義としては、3dB 落ちた周波数をカットオフ周波数といいます。

● ハイパスフィルタ

ある周波数（fc：カットオフ周波数）までは通過し、それ以下の周波数は減衰します。高域の周波数のみを通す時などに使用します。例として以下の使用方法があります。

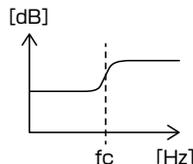
- セパレートツイーターの帯域の取り出し用。取り出す事でその帯域のみのレベル調整が可能となります。
- 低い周波数を再生すると、もこもこした音になる場合があります。これはスピーカーの再生できる周波数以下の音を入れたため、この状況を解消するためにはスピーカーの最低周波数以下をHPFでカットします。



● ハイシェルビングフィルタ / ローシェルビングフィルタ

ある周波数（fc：カットオフ周波数）から上または下をまとめて持ち上げたり、減衰させたりして段差（Shelf：棚）をつけるフィルタ。目的の周波数よりも上を操作するものを High Shelving Filter (HSF) と呼び、下を操作するものを Low Shelving Filter (LSF) と呼びます。LowShelf と HighShelf がありますが、低域のレベルを制御するものが LowShelf で、高域のレベルを制御するものが HighShelf です。例として以下の使用方法があります。

- ツイーターが耳に近い場合、うるさく感じた場合など、音量を変えたいとき
- サブウーファーの音量を手元で変えたいとき

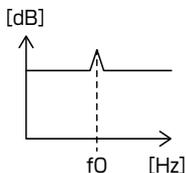


● ピーキングフィルタ

ある周波数 (f_0 : 中心周波数) を中心に、 f_0 付近が強調される、もしくは減衰します。

例として以下の使用方法があります。

- 車の中の周波数の乱れを補正するために、狭い周波数帯域で音量を制御したいとき
- スピーカーのビビリ音がある場合、その周波数を下げることによってビビリを解消させる
- 複数のピーキングフィルタを用いて低域から高域までの音のバランスを調整するとき

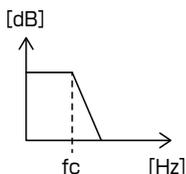


● ローパスフィルタ

ある周波数 (f_c : カットオフ周波数) までは通過し、それ以上の周波数は減衰します。低域の周波数のみ通す時などに使用します。

例として以下の使用方法があります。

- サブウーファ用に低域を取り出したいとき
- セパレートツイーターのスピーカーで、高域はツイーターに出力し、中低域をウーファに出すときの中低域の音の取り出し用
- 高域がうるさいときのカット用

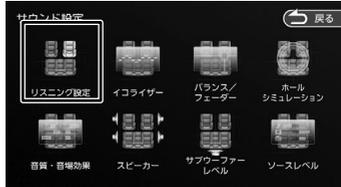


プロモードEQの調整をする



- プロモードEQ機能をON中は、ホールシミュレーション機能を使用できません。
- プロモードEQは、STANDBY以外のソースを選択しないと設定できません。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶ **[情報・設定]** ▶ **[サウンド]** ▶ **[リスニング設定]** をタッチする



- 2 **リスニングポジション** または **フロントフォーカス** の設定したい座席をタッチする



- 3 **[調整]** をタッチする

- 4 **[ディレイ]** をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして実際に測った距離を設定する



リスニングポジションを「全ての座席」または「前の両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

5 [レベル] をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして音を聴きながら調整する



6 [戻る] を 2 回タッチしてサウンド設定画面を表示する

7 [音質・音場効果] をタッチする



8 プロモード EQ の [ON] をタッチする



プロモード EQ の設定を [ON] に変更したときのみ、メッセージが表示されます。

調整には専門知識が必要です。調整に問題がない場合は [はい] をタッチしてください。

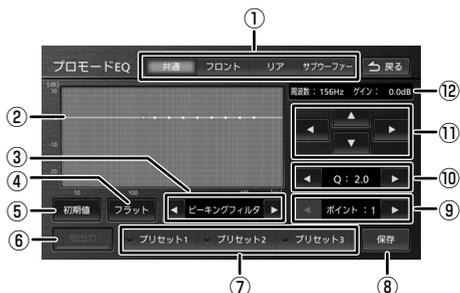
9 音楽を試聴しながら、ピーキングフィルタを左右に動かして耳障りなピークを探して抑制する

10 ディップは探しにくいいためピンクノイズと測定器で調べる

一般的に 10dB 以上の急峻なピーク、ディップは、音質障害要因と言われるので補正をする。

11 [設定] をタッチする

プロモード EQ の調整画面が表示されます。



① [共通] :

フロント出力、リア出力、サブウーファー出力を共通で調整します。

[フロント] :

フロント出力を調整します。

[リア] :

リア出力を調整します。

[サブウーファー] :

サブウーファー出力を調整します。

②ポイント /EQ カーブ表示

調整するポイントと調整された EQ カーブを表示します。

- ポイント (赤) : 選択 (調整) 中ポイント
- ポイント (青 / 黄) : 非選択ポイント
- EQ カーブ (橙) : 選択ポイントの EQ カーブ
- EQ カーブ (青) : フロント出力、リア出力、サブウーファー出力の各設定値と、共通出力の設定値のオーバーオール EQ カーブ (共通出力設定中は、共通出力のみのオーバーオール EQ カーブを表示)

③フィルタ選択

選択中ポイントのフィルタを選択します。
(→ P.122)

- ハイパスフィルタ
- ハイシェルピングフィルタ
- ローシェルピングフィルタ
- ピーキングフィルタ
- ローパスフィルタ

④ [フラット]

選択されているチャンネルのフィルタ設定をフラットに戻します。

⑤ [初期値]

すべての出力をフラットに戻します。

⑥ [他出力]

選択されたチャンネル以外のチャンネルから音を出したいとき [ON] にします。共通出力を選択されている時は無効となります。

⑦ [プリセット1] ~ [プリセット3]

調整した共通出力、フロント出力、リア出力、サブウーファー出力を1セットとして、3セットまで保存/呼び出しができます。タッチすると保存されているプロモードEQの設定が呼び出されます。

⑧ 保存

タッチすると調整した共通出力、フロント出力、リア出力、サブウーファー出力を [プリセット1~3] に保存できます。

⑨ 調整ポイント選択

調整するポイントを選択します。各出力で以下のポイント数の調整ができます。

- [共通] : 9ポイント
- [フロント] : 2ポイント
- [リア] : 2ポイント
- [サブウーファー] : 1ポイント

⑩ Q / スロープ設定

ピーキングフィルタを選択時はQを設定します。ハイパスフィルタ / ローパスフィルタを選択時はスロープを設定します。

- Q 設定値 : 0.2 ~ 10.0
- スロープ設定値 : -6dB/Oct.、-12dB/Oct.

⑪ 周波数 / ゲイン設定

選択中ポイントの周波数とゲインを設定します。

- [◀] [▶] : 周波数を設定します。
- [▲] [▼] : ゲインを設定します。

⑫ 周波数 / ゲイン表示

選択中ポイントの周波数とゲイン値を表示します。

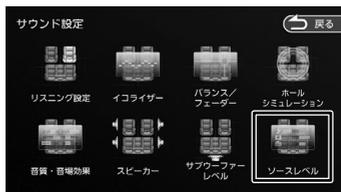
12 調整が完了したらプリセットに保存し、プリセットの切り替えや、プロモードEQの [ON] または [OFF] で効果を確認する

13 グラフィックイコライザーで最終調整を行う

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [サウンド] ▶ [ソースレベル] をタッチする



- 2 現在のソースの [-] または [+] をタッチして、音量を調整する



- 「iPod」と「SMART USB」は接続方法別に調整してください。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶ **[情報・設定]** ▶ **[システム]** をタッチする



2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● AV

項目	設定	説明
案内音声出力時のAV音量	そのまま / 下げる* / 消音	音声案内時のAVソースの音量を設定します。
リバーズ時のAV音量ダウン	ON*/OFF	バックするときにはAVソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない* / 更新間隔：速 / 更新間隔：中 / 更新間隔：遅	電源オン時にAVの音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。
ゴールオートボリューム	ON/OFF*	目的地の残り距離、および自宅近くの距離に応じて音量を自動で下げていきます。(→ P.129)
楽曲情報自動取得	ON*/OFF	Gracenote 音楽認識サービスを使用し、楽曲を自動取得するかどうかを設定します。

● 表示

項目	設定	説明
キーイルミネーション色選択	キーイルミネーションの色を設定します。(→ P.128)	

項目	設定	説明
ディマー	OFF/ ON/ イルミ連動*/ 時刻連動	ディマー（自動輝度設定）の連動方法を設定します。 OFF：昼画面固定になります。 ON：夜画面固定になります。 イルミ連動：車両のライトスイッチに連動します。 時刻連動：日の入り、日の出時間に連動します。
アナログメーター	昼固定 / 夜固定 / 朝夕固定 / 自動*	AV画面のアナログメーター画面のアナログメーター部の色を変えることができます。(→ P.130)
映像画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中に時計を表示するかどうかを設定します。映像表示中以外の画面（現在地図画面またはHOME画面など）では、この設定を[OFF]にしても、時計表示を消すことはできません。
消灯画面の時計表示	ON*/OFF	画面表示を消しているときに、時計を表示するかどうかを設定します。画面表示を消しているとき以外の画面（現在地図画面やHOME画面など）では、この設定を[OFF]にしても、時計表示を消すことはできません。
画面・ボタンの色変更	OFF/ キーイルミネーション連動*/ 個別設定	メニューなどの背景やボタンの枠などが設定した色に変わります。(→ P.129) 地図の色はこの設定では変わりません。
HOME画面のInfoサイズ自動切り替え		HOME画面のINFOエリアを「小」または「中」にしているときに、注意喚起表示を自動でINFOエリアを「大」にして表示するかどうかを種類別に設定することができます。お買い上げ時はすべて自動切り替えする(チェックあり)設定になっています。チェックを外すと自動で「大」エリアにならないため、アイコンだけの表示になります。(→ P.23)
オープニング画面初期化		オープニング画面の初期化を行います。(→ P.38)

● 車両

項目	設定	説明
オートアンテナ	あり / なし *	オートアンテナを装着している場合に設定します。(→ P.32)
ステアリングリモコン	車両のステアリングリモコンで本機を操作できるように設定します。(→ P.33) お買い上げ時は、[なし] に設定されています。	
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの動作を設定します。(→ P.33)	
車両メンテナンス	この設定については、「車両メンテナンスを設定する」(→ P.31) をご覧ください。	
パネル基準角度 ^[1]	一部の車両で本機を取り付ける場合に設定するメニューです。	
ハンドル	パッセンジャースリープ機能で運転席の場所を把握するために設定します。(→ P.32)	

● 一般

項目	設定	説明
操作音の音量	0 ~ 3* ~ 5	操作音の音量を設定します。
ショートカットボタン登録	カスタムメニューに表示されるショートカットボタンに機能を割り当てます。(→ P.25)	
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。(→ P.35)	
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。(→ P.36)	
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。(→ P.36)	
セキュリティインジケータ	ON/OFF*	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケータを点滅させるかどうかを設定します。(→ P.36)
リフレッシュ通知	ON*/OFF	休憩を促す音声案内をするかどうかを設定します。(→ P.61)
日没ライト案内 / 警告音声案内	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告をするかどうかを設定します。(→ P.61)

項目	設定	説明
日没ライト案内 / 警告表示	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告を表示するかどうかを設定します。(→ P.39)
SDカード初期化		SDカードの初期化を行います。SDカード内のデータは、すべて消去されます。

● 特別

項目	設定	説明
オープンソースライセンス		ライセンスを表示します。
ユーザー切替		一部の設定を2ユーザー分保持することができます。(→ P.26)
設定データの書き出し		設定をSDカードに保存します。(→ P.128)
設定データの読み込み		書き出した設定データを本機に読み込みます。(→ P.128)
システムの初期化		ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。(下記)

* : お買い上げ時の設定です。

^[1] MDV-M909HDL のみ

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。次の項目は、設定を初期化しても削除されません。

- ・ 暗証番号
- ・ 内蔵メモリ / SD カードに録音した曲

1 **【HOME】を押して【メニュー】 ▶ 【情報・設定】 ▶ 【システム】 ▶ 【システムの初期化】(特別) をタッチする**

メッセージが表示されます。

2 **【はい】をタッチする**

設定をSDカードに保存する

本機の設定をSDカードに保存（書き出し）することができます。

次の項目は、SDカードに保存（書き出し）できない項目です。

- パネル基準角度設定（MDV-M909HDLのみ）
- HOME画面のバーチャルルームミラー調整
- センサーの学習データ
- 録音データ
- MapFan会員サービスのID/パスワード
- 暗証番号
- ステアリングリモコン設定（ステアリングリモコン学習内容を含む）
- Bluetoothテザリング設定
- 車両メンテナンス設定
- SSID

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化される項目です。

- 走行軌跡データ/ECOデータ/目的地または経由地の検索履歴
- Bluetooth機器の登録
- 本機のハンズフリー電話帳/着信履歴/不在着信履歴/発信履歴/プリセットダイヤル
- ナビのデバイス名（Bluetooth）
- PINコード（Bluetooth）

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】▶【設定データの書き出し】（特別）をタッチする**

メッセージが表示されます。

- 2 **【はい】をタッチする**

SDカードに保存されると自動で再起動します。

設定データを本機に読み込む

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】▶【設定データの読み込み】（特別）をタッチする**

メッセージが表示されます。

- 2 **【はい】をタッチする**

読み込みが終了すると自動で再起動します。

イルミネーション色を設定する

フロントパネルキーのイルミネーション色を設定します。

また、イルミネーション色を独自に設定することもできます。

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】▶【キーイルミネーション色選択】（表示）をタッチする**

- 2 **色のボタンをタッチする**



■ (SCAN) :

イルミネーション色が時間とともに変化します。（お買い上げ時の設定）

【ユーザーカラー 1】 / 【ユーザーカラー 2】 / 【ユーザーカラー 3】 :

独自に作成したイルミネーション色に設定します。ユーザーカラーを設定する場合は手順5に進んでください。

- 3 **登録したいユーザーカラー番号 (①) をタッチして【ユーザーカラー調整】 (②) をタッチする**



- 4 **各色の◀または▶をタッチして、色を調整する**

変更した色はすぐにキーに反映されます。



- スライダーバーのつまみを動かしても調整できます。

画面の色を設定する

メニューなどの背景やボタンの枠などの色を設定します。

また、画面の色を独自に設定することもできます。地図の色はこの設定では変わりません。

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】▶【画面・ボタンの色変更】(表示)をタッチする**

2 設定する項目をタッチする

【OFF】:

Blue に固定されます。

【キーイルミネーション連動】:

「イルミネーション色を設定する」(→ P.128)で設定した色に設定されます。(お買い上げ時の設定)

【個別設定】:

手順5で色を設定できます。

3 手順2で【個別設定】をタッチした場合は、色のボタンをタッチする

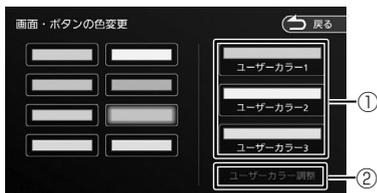
【ユーザーカラー 1】 / 【ユーザーカラー 2】

/ 【ユーザーカラー 3】:

独自に作成した画面の色に設定します。

ユーザーカラーを設定する場合は手順6に進んでください。

4 登録したい①【ユーザーカラー 1】～【ユーザーカラー 2】をタッチして②【ユーザーカラー調整】をタッチする



5 ◀ または ▶ をタッチして、画面を見ながら色を調整する



- スライダーバーのつまみを動かしても調整できます。

ゴールオートボリュームを設定する

目的地の残り距離、または自宅近くの距離が最大約700m手前から音量が「5」になるまで徐々に下げていきます。お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

また、ゴールオートボリュームが働いた後に本機の電源をオフしてオンすると、音量「5」から5秒ごとに音量を「1」ずつ大きくし、ゴールオートボリュームが働く前の音量に戻します。

- 1 **【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【システム】▶【ゴールオートボリューム】(AV)をタッチする**

タッチするたびに【OFF】、【ON】が切り替わります。



- ルート案内していないときに自宅周辺を通過する場合もこの機能が働きます。
- ゴールオートボリュームが働いているときに音量を調整するとこの機能は解除され、その時点の音量のままになります。
- ゴールオートボリュームが働いているときは、スターターボリュームは動きません。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、自宅周辺(100m以内)で本機の電源をオフしてオンすると、自宅に到着したと判断され、ゴールオートボリュームが働く前の音量に戻します。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、残り距離700m以内で本機の電源をオフしてオンすると、この機能は解除されます。
- 目的地が自宅以外のルート案内中は、自宅に近づいてもこの機能は動きません。

アナログメーターの設定をする

AV 画面のアナログメーター画面のアナログメーター部の色を変えることができます。



〔昼固定〕は明るめ、〔夜固定〕は暗めになります。
〔朝夕固定〕は、昼と夜の間色になります。
お買い上げ時〔自動〕に設定されています。

- 1 **〔HOME〕** を押して **〔メニュー〕** ▶
〔情報・設定〕 ▶ **〔システム〕** ▶
〔アナログメーター〕 (表示) をタッチする

2 設定する項目をタッチする

〔自動〕:

〔ディマー〕(→ P.126) で設定した連動方法に応じて自動的にアナログメーターの色を切り替えます。

ディマー設定が OFF のとき:

常に昼色のアナログメーターを表示します。

ディマー設定が ON のとき:

常に夜色のアナログメーターを表示します。

ディマー設定がイルミ連動のとき:

車両のライトスイッチに連動して自動的にアナログメーターの色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)

ディマー設定が時刻連動のとき:

日の出または日の入り時刻の前後で3段階のアナログメーターの色を表示します。

〔昼固定〕:

常に昼色のアナログメーターを表示します。

〔夜固定〕:

常に夜色のアナログメーターを表示します。

〔朝夕固定〕:

常に朝夕色のアナログメーターを表示します。

外部機器の設定をする

本機に外部機器を接続するときに必要な設定を行います。

- 1 **〔HOME〕** を押して **〔メニュー〕** ▶
〔情報・設定〕 ▶ **〔外部機器〕** を
タッチする



2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● Wi-Fi⁽¹⁾

項目	設定	説明
Wi-Fi 接続	ON*/OFF	Wi-Fi 接続するかどうかを設定します。Wireless Mirroring ソースを使用するときは [ON] に設定します。
SSID	現在の本機の SSID が表示されます。また、本機の SSID を変更します。(→ P.132)	
MAC アドレス	本機の MAC アドレスが表示されます。	

● Bluetooth

Bluetooth の設定については 135 ページをご覧ください。

● AV

項目	設定	説明
AV-IN 接続機器		別売の AV プリアウト拡張ケーブル KNA-17AV の AV-IN に接続する機器を設定します。 なし： AV-IN ソースを使用しないとき。 オーディオ機器： オーディオ機器（音声のみ）を接続しているとき。 AV 機器*： AV 機器（音声と映像）を接続しているとき。 汎用フロントカメラ： 市販のカメラを接続しているとき。 専用フロントカメラ： CMOS-320（別売品）を接続しているとき。
外部出力切替 ^[2]	アナログ VIDEO OUT*/ HDMI OUT/ HDMI ミラーリング	リアモニターに出力する機器の出力を設定します。設定方法についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

● カメラ

項目	設定	説明
フロントカメラ調整	—	CMOS-320（別売品）を接続しているときはここから設定を行ってください。 フロントカメラの設定方法についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。
切り返し時のフロントカメラ自動表示	ON*/OFF	リアビューカメラ表示中にシフトレバーを“R”以外にしたときにフロントビューカメラ映像を表示するかどうかを設定します。
リアカメラ接続	なし*/汎用カメラ/専用カメラ（コントロール機能付）/HD カメラ	リアビューカメラの接続を設定します。 リアビューカメラの設定方法についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

項目	設定	説明
リアカメラ調整	—	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。

● その他

項目	設定	説明
Bluetooth テザリング	ON/OFF*	本機の MapFanAssist 機能、「KENWOOD Drive Info.」の機能、または Gracenote 音楽認識サービスを Bluetooth テザリングで使用するときは [ON] に設定します。
MapFan 会員サービス		本機の MapFanAssist 機能と「KENWOOD Drive Info.」の機能をテザリングで使用するときの設定項目です。
スマートループ 渋滞情報の利用		「KENWOOD Drive Info.」の機能をテザリングで使用するときの設定項目です。
ETC2.0 接続	なし / タイプ A/ タイプ B*	ETC2.0 車載器の接続を設定します。 ETC 機器の設定方法についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。
バーチャルルームミラー ^[3]	ON*/OFF	現在地図画面からドライブレコーダー（リア用）の映像またはリアビューカメラの映像に切り替えるかどうかを設定します。
HOME 画面のバーチャルルームミラー調整		「バーチャルルームミラー」が [ON] に設定されているときに、HOME 画面で表示されるバーチャルルームミラー表示の位置や表示の拡大、縮小を調整することができます。
サブリアカメラ ^[4]	ON/OFF*	シフトレバーを“R”（リバース）にしたときに、リアビューカメラの補助としてドライブレコーダー（リア用）映像に切り替えるかどうかを設定します。
スマートフォン置き忘れ警告	ON*/OFF	61 ページの「スマートフォン置き忘れ警告音声案内」をご覧ください。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

* : お買い上げ時の設定です。

- [1] WirelessMirroring ソースを使用中は設定できません。
- [2] MDV-M909HDF、MDV-M909HDL のみ
別売のドライブレコーダー (DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940) または別売のリアビューカメラ (CMOS-C320、CMOS-C230、CMOS-C230W、CMOS-230W、CMOS-230) 接続時に使用します。
- [4] 別売のドライブレコーダー (DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940) 接続時のみ設定できます。



- ・「ETC2.0 接続」は、次回起動時から有効となります。設定後は、本機の電源をオフにしてオンにしてください。

本機の SSID を変更する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【外部機器】▶【SSID】(Wi-Fi) をタッチする
- 2 SSID を入力して【決定】をタッチする



バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【バージョン】をタッチする



バージョン情報が表示されます。

地図更新について

開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> をご覧ください。

KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する

KENWOOD MapFan Club のサービスとは

「KENWOOD MapFan Club」は、インクリメントP 株式会社が提供するサービス「MapFan」とKENWOODのカーナビが連動した会員制地図更新サービスプログラムです。

サービスの詳細や会員登録については、同梱のKENWOOD MapFan Club に関するお知らせをお読みください。

また、当社ホームページからご覧になれます。
https://www.kenwood.com/jp/faq/ce_navi/mapfan/

また、オービスデータのSD 版またはデータダウンロード版をお得に購入することもできます。オービスデータの購入については当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/car/option/orbis/> をご覧ください。

会員登録は本機に表示されるQRコードを使って会員登録できます。

QRコードを使ってKENWOOD MapFan Club に登録する



- あらかじめ、スマートフォンにQRコード読み込みアプリケーションのインストールが必要です。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】▶【情報・設定】▶【ナビ】をタッチする



- 2 【地図更新プログラム】（その他）をタッチする

- 3 画面に表示されているQRコードをスマートフォンで読み取る

「KENWOOD MapFan Club」会員登録サイトにアクセスします。

画面に従って会員登録を行ってください。



- カーナビ登録に使用する「モデル名」と「シリアル番号（製造番号）」はQRコード表示画面（手順3）に表示されます。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

取付

付録

Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。



Bluetooth 接続中アイコン



- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。11 台目を登録しようとするすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、196 ページをご覧ください。

本機に Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

- 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする
- Bluetooth 機器側で “MDV-M909HDF”、“MDV-M909HDL”、“MDV-M809HDW”、または “MDV-M809HD” を選ぶ
- デバイス名とパスキーを確認する



- 本機の MapFanAssist 機能または「KENWOOD Drive Info.」の機能を Bluetooth デザリングで使用するときは、外部機器設定の「Bluetooth デザリング」（その他）を [ON] に設定（→ P.131）しておいてください。

- Bluetooth 機器側で PIN コードの表示または PIN コードの入力画面が表示されたときは、表示されている本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力してください。初期設定は [0000] に設定されています。Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。（→ P.135）

4 使用する機能をタッチしてチェックを付けて [はい] をタッチする

[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2] :

ハンズフリーを登録する番号を選びます。

[オーディオ/アプリケーション連携] :

オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[電話帳登録] :

電話帳登録をします。

[Bluetooth デザリング] :

本機の MapFanAssist 機能または「KENWOOD Drive Info.」の機能を Bluetooth デザリングで使用するとき設定します。

MapFan 連携機能と「KENWOOD Drive Info.」についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

Bluetooth 機器の登録が始まります。登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳の登録はここでチェックを付けてなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが付いています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが付いています。

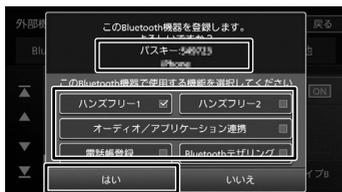
オートペアリング機能で登録する

iPhone または iPod touch を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone または iPod touch を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。(→ P.135)



- iOS のバージョンによっては登録できないことがあります。
- 登録ができない場合は 134 ページの登録方法で登録してください。

- 1 iPhone または iPod touch の Bluetooth 設定をオンにする
- 2 iPhone または iPod touch を USB 接続する
- 3 デバイス名とパスキーを確認して、使用する機能をタッチしてチェックを付けて [はい] をタッチする



[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2] :
ハンズフリー登録する番号を選びます。

[オーディオ/アプリケーション連携] :
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[電話帳登録] :
電話帳登録をします。

[Bluetooth テザリング] :
本機の MapFanAssist 機能または「KENWOOD Drive Info.」の機能を Bluetooth テザリングで使用するとき設定します。
MapFan 連携機能と「KENWOOD Drive Info.」についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

Bluetooth 機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳の登録はここでチェックを付けてなくても後から登録できます。

- 電話帳は最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが付いています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが付いています。

Bluetooth の設定をする

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [外部機器] をタッチする



- 2 設定する Bluetooth の項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/ OFF	Bluetooth 接続するかどうかを設定します。
デバイス接続	本機に Bluetooth 機器を接続します。 (→ P.136)	
PIN コード	0000*	現在の本機の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。 (→ P.137)
デバイス名	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。(→ P.137)	
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレスが表示されます。	
オートペアリング	ON*/ OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	OFF*/1 秒 / 5 秒 /10 秒 / 15 秒 /30 秒	着信時に、自動的に通話可能になるまでの時間を設定します。
着信音量	0 ~ 15* ~ 40	着信音量を調整します。
受話音量	0 ~ 15* ~ 40	受話音量を調整します。

項目	設定	説明
通話中の音量調整	ON*/OFF	ハンズフリー通話中の音量を音量キーで調整するかどうかを設定します。
音質調整	—	通話時の音質を調整します。(→ P.136)

*: お買い上げ時の設定です。

■ 音質を調整する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [外部機器] ▶ [音質調整] (Bluetooth) をタッチする

2 各項目を調整する



[エコーキャンセル] (−5～0*～+5):
エコーキャンセルの値を調整します。

[ノイズリダクション]

(−5～0*～+5):
ノイズリダクションの値を調整します。

[マイクゲイン] (−10～0*～+10):
マイクゲインの値を調整します。

[クリアボイス]:

通話中にタッチしてチェックを付けると音声聞き取りやすくなります。もう一度タッチしてチェックを外すと元に戻ります。

[ミュート]:

通話中にタッチしてチェックを付けると送話音量を一定量下げます。もう一度タッチしてチェックを外すと元の音量に戻ります。

*: お買い上げ時の設定です。

Bluetooth 機器の使用する機能を変更する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [外部機器] ▶ [デバイス接続] (Bluetooth) をタッチする
- 2 機能を変更したい Bluetooth 機器をタッチする
- 3 チェックボックスをタッチして使用する機能にチェックを付ける

[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2]:

ハンズフリー登録する番号を選びます。

[オーディオ / アプリケーション連携]

オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[Bluetooth テザリング]:

本機の MapFanAssist 機能または「KENWOOD Drive Info.」の機能を Bluetooth テザリングで使用するとき設定します。

MapFan 連携機能と「KENWOOD Drive Info.」についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては 13 ページを参照ください。

■ 機能アイコンについて

: ハンズフリー

: オーディオ / アプリケーション連携

: Bluetooth テザリング

Bluetooth 機器の接続を解除する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶ [情報・設定] ▶ [外部機器] ▶ [デバイス接続] (Bluetooth) をタッチする
- 2 解除したい Bluetooth 機器をタッチする
- 3 接続を解除する接続方法をタッチして [閉じる] をタッチする

登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** ▶ **【情報・設定】** ▶ **【外部機器】** ▶ **【デバイス接続】** (Bluetooth) をタッチする
- 2 **【削除】** をタッチする



- 3 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチする

複数選択することもできます。



【全て選択】 :

リスト内のすべての機器を選択します。

【全て解除】 :

リスト内のすべての機器の選択を解除します。

- 4 **【削除】** をタッチする
メッセージが表示されます。
- 5 **【はい】** をタッチする

PIN コードを変更する

接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機の PIN コードを変更できます。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** ▶ **【情報・設定】** ▶ **【外部機器】** ▶ **【PIN コード】** (Bluetooth) をタッチする
- 2 PIN コードを入力して **【決定】** をタッチする



PIN コードが変更されます。

←BS :

カーソルの前にある文字を消去します。



• 入力できる PIN コードは 4～8 桁です。

本機のデバイス名を変更する

本機に Bluetooth 機器を登録 (ペアリング) するときに選択するデバイス名を変更することができます。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** ▶ **【情報・設定】** ▶ **【外部機器】** ▶ **【デバイス名】** (Bluetooth) をタッチする
- 2 デバイス名を入力して **【決定】** をタッチする



デバイス名が変更されます。



• デバイス名は 20 文字まで入力できます。アルファベット (大文字、小文字)、数字、記号、スペースが使用できます。

• 文字入力については 28 ページをご覧ください。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話メニュー画面を表示する

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶
[電話メニュー] をタッチする

電話メニュー画面が表示されます。

電話メニュー画面の見かたと操作



- 1 **ハンズフリー 1/ハンズフリー 2**
2台登録している場合は、2台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は1または2をタッチして接続機器を選択してください。
 - プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
 - 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態、機器のバッテリー残量、デバイス名が表示されます。
 - 2 **[接続切替]**
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
(→ P.136)
 - 3 **[音声認識]**
スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。
 - 4 **[リダイヤル]**
前回発信した電話番号に発信します。
 - 5 **[編集]**
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。
(→ P.139)
 - 6 **[プリセット]**
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。(→ P.139)
- [履歴]**
PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。(→ P.140)

【電話帳】

電話帳を表示します。(→ P.140)

【10キー】

電話番号を入力します。(→ P.141)



- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

- 1 をタッチする



(通話終了) : 着信を拒否します。



[通話切替] (割り込みの通話が発生中に表示) :
通話先を切り替えます。
接続している機器が割り込み通話の契約をしていないと現在の通話が切れる場合があります。

[音質調整] :
音質を調整します。(→ P.136)

[トーン]
トーンダイヤルをするための 10 キーが表示されます。

:
プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

[閉じる] :
表示を消します。

[電話] をタッチすると再度表示します。





- ハンズフリー電話の着信音量と受信音量は、AVの音量とそれぞれ独立して調整できます。(→ P.19)
- ハンズフリー電話の受信音声は、フロントスピーカーからのみ出力されます。
- ハンズフリー1と2に登録している機器がある場合、1台が発信または着信状態になったときは、もう1台の機器との接続が切断されます。通話が終わると切断した機器を再度接続します。

2 通話が終わったら、 をタッチする

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。

あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。(→ P.139)

1 【HOME】を押して【メニュー】▶【電話メニュー】をタッチする

2 発信するダイヤルをタッチする



選択した電話番号に発信されます。

プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

1 【HOME】を押して【メニュー】▶【電話メニュー】▶【編集】をタッチする



2 登録するプリセットをタッチする

3 登録方法をタッチし、電話番号を登録する

【電話帳から登録】:

登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

【10キーで登録】:

電話番号を入力し、【登録】をタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 【HOME】を押して【メニュー】▶【電話メニュー】▶【編集】をタッチする



2 削除する

■ 全て削除する場合

【全て削除】をタッチする



■ 選んで削除する場合

削除したいプリセットダイヤルをタッチして【削除】をタッチする

メッセージが表示されます。

3 【はい】をタッチする

プリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。PBAP に対応していない機器は使用できません。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶
[電話メニュー] をタッチする
- 2 **[履歴]** をタッチする



機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

- 3 **[発信する履歴をタッチする]**
メッセージが表示されます。
- 4 **[はい]** をタッチする
選択した電話番号に発信されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶
[電話メニュー] をタッチする
- 2 **[電話帳]** をタッチする



- 3 **[発信する相手をタッチする]**
- 4 **[発信する電話番号をタッチする]**
メッセージが表示されます。
- 5 **[はい]** をタッチする
選択した電話番号に発信されます。



• 電話帳の登録方法については右記をご覧ください。

PBAP 対応機器の電話帳を登録する

最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の PBAP 対応機器の電話番号を本機に登録することができます。



• 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** ▶
[電話メニュー] をタッチする
- 2 **[電話帳]** をタッチする



- 3 **[登録]** をタッチする



- PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によっては携帯電話 (スマートフォン) でアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。
- 電話帳登録中に **[終了]** をタッチすると登録を中断します。

電話帳を削除する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶
[電話メニュー] をタッチする
- 2 [電話帳] をタッチする



- 3 [削除] をタッチする



- 4 削除する登録名をタッチして、[削除] をタッチする



複数選択することもできます。
メッセージが表示されます。

[全て選択]：

リスト内のすべてを選択します。

[全て解除]：

リスト内のすべての選択を解除します。

- 5 [はい] をタッチする

選択した登録が削除されます。

ダイヤルして電話をかける

- 1 [HOME] を押して [メニュー] ▶
[電話メニュー] をタッチする
- 2 [10キー] をタッチする



- 3 電話番号を入力して、 をタッチする



メッセージが表示されます。

- 4 [はい] をタッチする

入力した電話番号に発信されます。

地点情報から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 ▶ 地点の詳細情報画面を
表示する (→ P.44)

- 1  をタッチする



メッセージが表示されます。

- 2 [はい] をタッチする

電話が発信されます。



- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

リダイヤルで電話をかける

前回発信した電話番号に発信します。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** ▶
【電話メニュー】 をタッチする
- 2 **【リダイヤル】** をタッチする



- 3 **【はい】** をタッチする
前回の電話番号に発信されます。

音声認識機能で電話をかける

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけることができます。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** ▶
【電話メニュー】 をタッチする
- 2 **【音声認識】** をタッチする



スマートフォンの音声認識機能が起動します。

3 電話番号または電話帳の名前を話す

- 【開始】:**
音声を認識できる状態にします。
- 【終了】:**
音声認識機能を終了します。



- **【MAP/AV】** を押し続けても音声認識が起動します。
- スマートフォンが音声認識機能に対応していない場合は、使用できません。
- スマートフォンの機種によっては、電話をかける動作ができない場合があります。

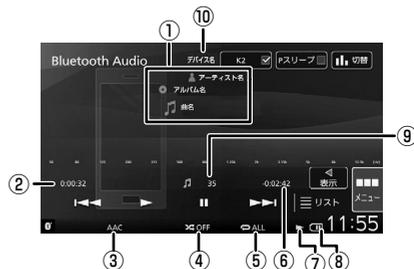
Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを Bluetooth Audio に切り替える
(→ P.68)



- 1 アーティスト名
- 2 アルバム名
- 3 曲名
- 4 再生経過時間
- 5 音声形式
- 6 ランダム再生モード
- 7 リpeat再生モード
- 8 再生残り時間
- 9 再生状態
- 10 バッテリー残量
- 11 曲番号
- 12 デバイス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。 (→ P.69)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.69)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
	再生します。
	一時停止 (ポーズ) します。
	前または次のファイルを再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 ・ [トッパ] : 一番上の階層のフォルダに移動します。 ・ [一つ上] : 一つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

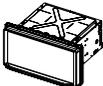
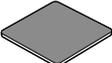
ボタン	説明
[デバイス切替]	デバイス切替画面が表示され、Bluetooth デバイスを切り替えることができます。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応機器をハンズフリー接続したときに表示されます。
- 他の Bluetooth 機器と通信中は音が途切れる場合があります。
- 音飛びが発生する際には、ご利用の機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
- 再生する音楽アプリを変えたい場合は、使用中の Bluetooth オーディオ機器にて音楽アプリを切り替えてください。

取付用部品一覧

取付作業を始める前に、以下の部品が揃っていることを確認してください。

部品	個数	部品	個数	部品	個数
①本体ユニット ^[1] 	1	⑨セムスネジ (M4x8mm) 	1	⑰手前用カバー ^[1] 	2
②ディスプレイユニット ^[1] 	1	⑩中継コネクター 	7	⑱手前用ブラケット(L/R) ^[1] 	1
③本機 ^[5] 	1	⑪Bluetoothハンズフリー 通話用マイク(3.0m) 	1	⑲十字穴付き六角ネジ ^[1] (M5x8mm) 	6
④GPSアンテナ (3.5m) 	1	⑫アンテナエレメントA 	2	⑳目隠しカバー ^[1] 	1
⑤GPSアンテナ用プレート 	1	⑬アンテナエレメントB 	2	㉑バインドネジ (黒) (Φ3x6mm) 	4 ^[1] または 2 ^[5]
⑥電源ハーネス 	1	⑭アンテナケーブル (4.0m) 	4	㉒背面カバー 	1
⑦トラスネジ (M5x8mm) 	6 ^[2] または 8 ^[3]	⑮クリーナー 	1	㉓ETC/ステアリング リモコン対応ケーブル 	1
⑧サラネジ ^[4] (M5x8mm) 	6	⑯ソフトテープ 	1		

●⑩中継コネクターの使いかたについては 176 ページをご覧ください。

●MDV-M909HDL を取り付けるには、取付用部品のほかに、チルトアダプター（純正部品）が必要な車両があります。必要な車両については <https://www.kenwood.com/jp/car/compatibility/> をご覧ください。

[1] MDV-M909HDF
 [2] MDV-M909HDF/MDV-M809HDW
 /MDV-M809HD
 [3] MDV-M909HDL
 [4] MDV-M909HDF/MDV-M809HD
 [5] MDV-M909HDL/MDV-M809HDW
 /MDV-M809HD

取付作業の進めかた

MDV-M909HDFのご注意

⑳ 目隠しカバーは、必ず
㉑ バインドネジ（黒）で取り付け
てください。

㉒ 目隠しカバーを取り付けて
いない場合、本機の電源がオ
ンになりません。

作業上のご注意

- 各ユニットとも次のような場所には取り付け
ないでください。
 - 水のかかる場所、高湿になる場所
 - しっかりと固定できない場所
 - グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
 - 直射日光やエアコンの送風が当たる場所
(MDV-M909HDL/MDV-M809HDW
/MDV-M809HD)
- 本機は所定の場所に取り付けてください。通
気性の悪い場所などに取り付けると、内部の
湿度が高くなり故障や誤動作の原因となりま
す。
- 本機はしっかりと取り付けてください。
- 本機動作中に強い衝撃を与えると内部データ
等が破損する恐れがあります。取り付け前に
動作確認などを行う際は注意してください。
- 取り付け前にCDなどで動作確認をする場合
は、本機を水平な状態にしてディスクの出し
入れを行ってください。

取り付け手順

MDV-M909HDF

別売のCMOS-320フロントビューカメラを接続
する場合は取り付け手順が異なります。「●フロン
トビューカメラを接続する場合」(→ P.146)を
ご覧ください。

1. 取り付け情報を取得する。(P.150)
2. パネルの前後位置を変更する。変更の必
要が無い場合は手順3へ。(P.151)
3. パネルの高さを調整する。調整の必要が
無い場合は手順4へ。(P.152)
4. エンジンキーを抜きバッテリーの⊖端子
を外す。
5. GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー
通話用マイク、地デジ用アンテナを取り
付ける。(P.155～P.159)
6. 本体ユニットに車両ブラケットを取り付
ける。(P.153)
7. 周辺機器を接続する。(P.160)
8. 電源ハーネスを接続する。(P.176)
9. 本体ユニットを車両に取り付けてディス
クユニットを本体ユニットに取り付
ける。(P.153)
10. 取り付け終了後にバッテリーの⊖端子を
接続する。
11. 車両のエンジンキーを"ACC"または
"ON"にして本機の電源をオンにして本
機の電源が入ることを確認する。
12. 取り付け作業が終わったら、センサー学
習を行う。(P.149)

●フロントビューカメラを接続する場合

1. 取り付け情報を取得する。(P.150)
2. パネルの前後位置を変更する。変更の必要が無い場合は手順3へ。(P.151)
3. パネルの高さを調整する。調整の必要が無い場合は手順4へ。(P.152)
4. エンジンキーを抜きバッテリーの⊖端子を外す。
5. GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー通話用マイク、地デジ用アンテナを取り付ける。(P.155～P.159)
6. 本体ユニットに車両ブラケットを取り付ける。(P.153)
7. 周辺機器を接続する。(P.160)
8. フロントビューカメラCMOS-320 (別売品) のカメラの識別設定をするためCMOS-320に付属のスイッチユニットを接続する。(P.163)
9. 電源ハーネスを接続する。(P.176)
10. バッテリーの⊖端子を接続して車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして本機の電源をオンにする。
11. フロントビューカメラCMOS-320 (別売品) の識別設定を行う。(P.163)
12. 車両のエンジンキーを"OFF"にして本機の電源をオフにする。
13. バッテリーの⊖端子を外す。
14. フロントビューカメラCMOS-320 (別売品) の接続をする。(P.166)
15. 本体ユニットを車両に取り付けてディスプレイユニットを本体ユニットに取り付ける。(P.153)
16. 取り付け終了後にバッテリーの⊖端子を接続する。
17. 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして本機の電源をオンにして本機の電源が入ることを確認する。
18. 取り付け作業が終わったら、センサー学習を行う。(P.149)

MDV-M909HDL

1. フロントパネルの基準角度の設定が必要が確認する。

以下のwebサイトを参照して、取り付ける車両ではフロントパネルの基準角度の設定が必要が確認します。

<https://www.kenwood.com/jp/car/compatibility/>

手順2以降の取り付け方法は、フロントビューカメラの接続と取り付ける車両によって変わります。

●別売のフロントビューカメラ CMOS-320を接続しない場合

「フロントビューカメラを接続しない場合」(→ P.147)

●別売のフロントビューカメラ

CMOS-320を接続し、フロントパネルの基準角度設定が不要な車両に取り付ける場合

「フロントビューカメラを接続する場合 (基準角度設定が不要な車両)」(→ P.147)

●別売のフロントビューカメラ CMOS-320を接続し、フロントパネルの基準角度設定が必要な車両に取り付ける場合

「フロントビューカメラを接続する場合 (基準角度設定が必要な車両)」(→ P.148)

■ フロントビューカメラを接続しない場合

2. エンジンキーを抜きバッテリーの⊖端子を外す。
3. GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー通話用マイク、地デジ用アンテナを取り付ける。(P.154～P.159)
4. 本機に車両ブラケットを取り付ける。(P.152)
5. 周辺機器を接続する。(P.160)
6. 電源ハーネスを接続する。(P.176)
7. 本機を車両に取り付ける。(P.152)
8. バッテリーの⊖端子を接続する。
9. 車両のエンジンキーを“ACC”または“ON”にして本機の電源がオンになることを確認する。

本機の電源がオンになると、フロントパネルの基準角度の設定を行うか確認するメッセージが表示されます。



10. フロントパネルの基準角度の設定が必要な車両に取り付ける場合は[はい]をタッチし、不要な車両に取り付ける場合は[いいえ]をタッチする。

[はい]をタッチした場合は、172 ページの「フロントパネルの基準角度設定 (MDV-M909HDLのみ)」を参照して、フロントパネルの基準角度の設定を行います。

11. 取り付け作業が終了後に、センサー学習を行う。(P.149)

■ フロントビューカメラを接続する場合 (基準角度設定が不要な車両)

2. エンジンキーを抜きバッテリーの⊖端子を外す。
3. GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー通話用マイク、地デジ用アンテナを取り付ける。(P.154～P.159)
4. 本機に車両ブラケットを取り付ける。(P.152)
5. 周辺機器を接続する。(P.160)
6. フロントビューカメラCMOS-320 (別売品) とカメラの識別設定をするための CMOS-320カメラに付属のスイッチユニットを接続する。(P.163)
7. 電源ハーネスを接続する。(P.176)
8. バッテリーの⊖端子を接続する。
9. 車両のエンジンキーを“ACC”または“ON”にして本機の電源がオンになることを確認する。

本機の電源がオンになると、フロントパネルの基準角度の設定を行うか確認するメッセージが表示されます。



10. [いいえ] をタッチする。
11. フロントビューカメラ CMOS-320 (別売品) の識別設定を行う。(P.163)
12. フロントビューカメラ CMOS-320 (別売品) の接続をする。(P.166)
13. 本体を車両に取り付ける。(P.152)
14. 車両のエンジンキーを“ACC”または“ON”にして本機の電源が入ることを確認する。
15. 取り付け作業が終了後に、センサー学習を行う。(P.149)

■ フロントビューカメラを接続する場合
(基準角度設定が必要な車両)

2. エンジンキーを抜きバッテリーの⊖端子を外す。
3. GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー通話用マイク、地デジ用アンテナを取り付ける。(P.155～P.159)
4. 本機に車両ブラケットを取り付ける。(P.152)
5. 周辺機器を接続する。(P.160)
6. フロントビューカメラCMOS-320 (別売品) とカメラの識別設定をするためのCMOS-320カメラに付属のスイッチユニットを接続する。(P.163)
7. 電源ハーネスを接続する。(P.176)
8. バッテリーの⊖端子を接続する。
9. 車両のエンジンキーを“ACC”または“ON”にして本機の電源がオンになることを確認する。

本機の電源がオンになると、フロントパネルの基準角度の設定を行うか確認するメッセージが表示されます。



10. [いいえ] をタッチする。

基準角度の設定をする場合でも先にフロントビューカメラの設定をするため、ここでは[いいえ]を選択します。

11. フロントビューカメラCMOS-320 (別売品) の識別設定を行う。(P.163)
12. フロントビューカメラCMOS-320 (別売品) の接続をする。(P.166)
13. 本体を車両に取り付ける。(P.152)
14. 車両のエンジンキーを“ACC”または“ON”にして本機の電源が入ることを確認する。

15. 基準角度の設定画面を表示させて設定を行う。(P.172～P.175)

基準角度の設定をするには、チルトアダプター (純正部品) が必要です。



16. 取り付け作業が終わったら、センサー学習を行う。(P.149)

1. エンジンキーを抜きバッテリーの⊖端子を外す。
2. GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー通話用マイク、地デジ用アンテナを取り付ける。(P.155～P.159)
3. 本機に車両ブラケットを取り付ける。(P.152)
4. 周辺機器を接続する。(P.160)
5. 電源ハーネスを接続する。(P.176)
6. 本機を車両に取り付ける。(P.152)
7. 取り付け終了後にバッテリーの⊖端子を接続する。
8. 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして本機の電源をオンにして本機の電源が入ることを確認する。
9. 取り付け作業が終わったら、センサー学習を行う。(P.149)

センサー学習は、GPSアンテナを正しく接続し受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。しばらくすると、センサー学習が完了し、自転車マークの位置が正しく表示されます。



- GPSアンテナの接続状態やGPS情報の受信状態の確認は、「接続状態を確認する」をご覧ください。(P.30)
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。
- ナビゲーションの自転車マークの位置は、センサー学習が完了するまで、実際と大きく異なる場合があります。
- センサー学習を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。

MDV-M909HDFの取り付け情報を取得する

適合車種（取付可否など）や取り付け推奨位置情報を以下のウェブサイトから取得してください。

<https://www.kenwood.com/jp/car/compatibility/>



●パネルの前後位置変更が必要な場合

パネルの前後位置は、お買い上げ時「奥」に設定されています。

取り付け情報で、推奨パネルの前後位置が「手前」の場合は、151ページを参照してスライダーを手前に引き出してください。

●パネルの上下位置調整が必要な場合

パネルの上下位置は、お買い上げ時「1」に設定されています。取り付け情報で、推奨パネルの上下位置を「1」以外に設定する場合は、152ページを参照して上下位置を調整してください。

●取り付けられない車両について

以下のような車両には取り付けられません。

ただし、スライダーの位置とパネルの高さの調整で回避できる場合は取り付けられます。

シフトレバー、ワイパーレバー、ウィ ンカーレバーなどの操作を妨げる	運転席から見てハザードスイッ チが隠れる	車両のパネルと接触する

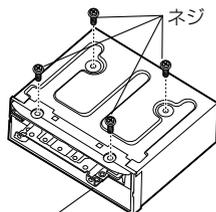
スライダー の位置	パネルの角度			パネルの高さ				
	-10	0	60	1*	2	3	4	
奥*				-10	14.8			
				b	14.9	24.8	34.6	44.5
	0	a	28.4					
			b	11.4	21.4	31.4	41.4	
	60	c	6.6					
			d	29.8	24.8	19.8	14.7	
手前				-10	34.8			
				b	14.9	24.8	34.6	44.5
	0	a	48.4					
			b	11.4	21.4	31.4	41.4	
	60	c	26.6					
			d	29.8	24.8	19.8	14.7	

*お買い上げ時の設定

■ スライダーを手前に引き出す

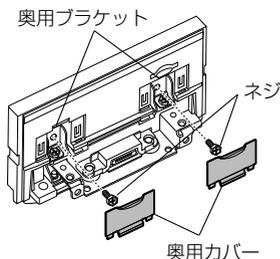
推奨パネルの前後位置が「手前」の場合はスライダーを手前に引き出してください。

1. ①本体ユニット底面のネジ4本を外します。

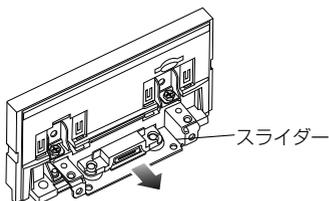


①本体ユニット

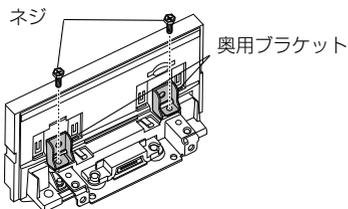
2. 奥用カバー2カ所を取り外し、奥用ブラケットのネジ2本を外します。



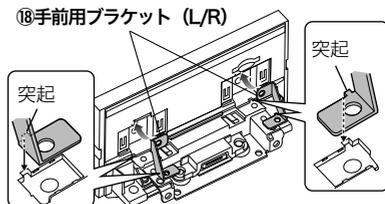
3. スライダーを手前に引き出します。



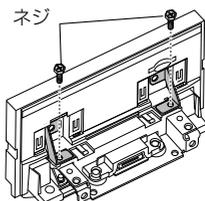
4. ネジ2本を外して奥用ブラケットを取り外します。



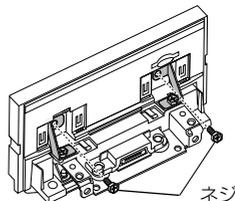
5. ⑩手前用ブラケット (L/R) の突起が溝に合う向きで取り付けます。



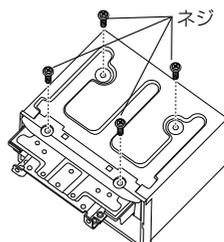
6. スライダー側の⑩手前用ブラケット (L/R) をネジ2本で固定します。



7. スライダーが止まる位置まで押し込み、本体側の⑩手前用ブラケット (L/R) をネジ2本で固定します。



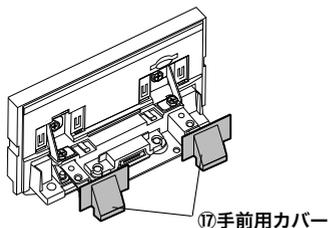
8. ①本体ユニット底面のネジ4本を取り付けます。



注意

①本体ユニット、②ディスプレイユニットを持ち運ぶときや、取り付け時に落とさないように注意してください。足の上などに落とすとけがや機器の損傷の原因となります。

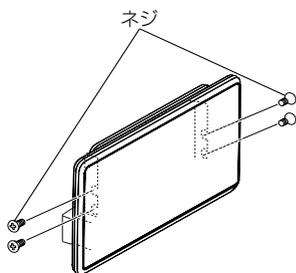
9. ⑰手前用カバーを2カ所に取り付けます。



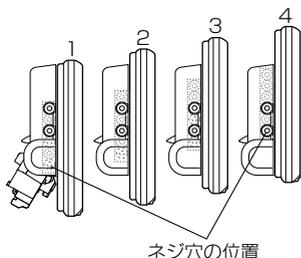
■ パネルの高さ調整

推奨パネルの上下位置が「1」以外の場合は、パネルの高さを調整してください。

1. パネル両側のネジ4本を外します。



2. ネジ穴の位置を合わせるようにして、パネルの高さを調整します。(お買い上げ時は1)



3. 両側のネジを4本取り付け、パネルを固定します。



注意

①本体ユニット、②ディスプレイユニットを持ち運ぶときや、取り付け時に落とさないように注意してください。足の上などに落とすとけがや機器の損傷の原因となります。

本機の取り付け

● 取り付け上のご注意

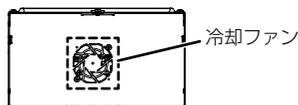
- 必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、ブラケットまたは車両のブラケットなどから本機が外れることがあります。必ず車両のブラケットなどを使って取り付けてください。



- 本機は上下方向に0~40°の範囲で取り付けてください。範囲を超えた角度で取り付けると、ジャイロセンサーが正しく動作しないことやディスクの音飛びの原因となります。

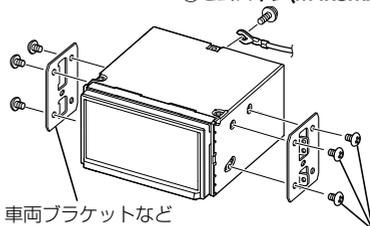


- 無線機を取り付ける場合は、無線機のアンテナを本機から1.5m以上離れた位置に取り付けてください。無線受信に影響をおよぼすことがあります。
- 本機は内部温度を下げるための冷却ファンがあります。冷却ファンをふさがないように取り付けてください。



■ MDV-M909HDL /MDV-M809HDW /MDV-M809HD

⑨セムスネジ(M4x8mm)



車両ブラケットなど

⑦トラスネジ(M5x8mm)または
⑧サラネジ(M5x8mm)
(MDV-M809HDのみ)

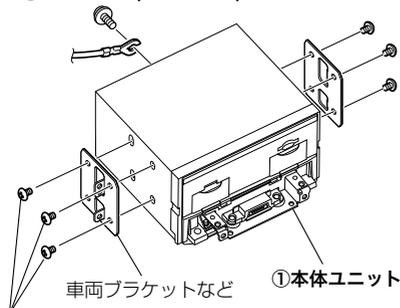


- 別売のワイヤリングキットや別売のカメラなどのアースコードは、付属の⑨セムスネジで本機の背面に固定します。

■ MDV-M909HDF

1. 車両のパネルなどを取り外します。
2. 車両ブラケットを①本体ユニットに取り付けます。

⑨セムスネジ(M4x8mm)



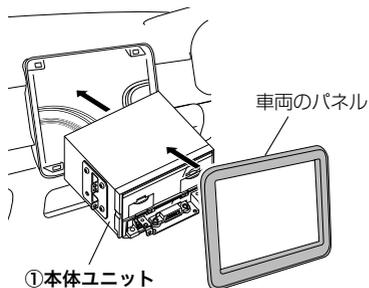
⑦トラスネジ(M5x8mm)

または⑧サラネジ(M5x8mm)

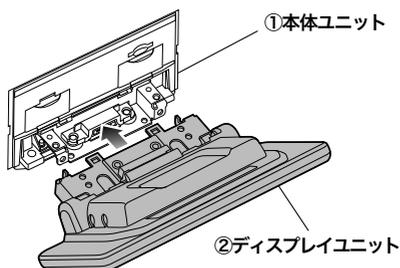


- 別売のワイヤリングキットや別売のカメラなどのアースコードは、付属の⑨セムスネジで①本体ユニットの背面に固定します。

3. 周辺機器や⑥電源ハーネスを接続します。
4. ①本体ユニットを車両に取り付けて、外した車両のパネルを取り付けます。



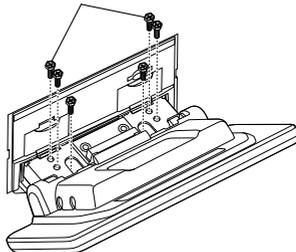
5. ②ディスプレイユニットを①本体ユニットに取り付けます。



- パネルが車両のパネルと干渉する場合は、152 ページを参照してパネルの高さを調整してください。

6. ⑩十字穴付き六角ネジ6本で②ディスプレイユニットを固定します。

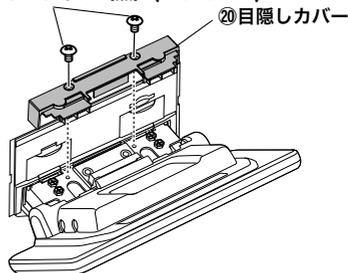
⑩十字穴付き六角ネジ(M5x8mm)



- ⑩十字穴付き六角ネジを完全に締めないと本機の電源が入りません。ドライバーを使用して締められない場合は、レンチを使用して完全に締めてください。

7. 結合部に⑳目隠しカバーを取り付けて、㉑バインドネジ (黒) 2本で固定します。

㉑バインドネジ (黒) (Φ3x6mm)



- ㉑目隠しカバーを取り付けないと本機の電源が入りません。

8. パネルを手動で起こします。
9. 運転操作や視界の妨げになっていないか、車両のパネルと干渉していないかなどを確認します。



注意

- ①本体ユニット、②ディスプレイユニットを持ち運ぶときや、取り付け時に落とさないように注意してください。足の上などに落とすとけがや機器の損傷の原因となります。

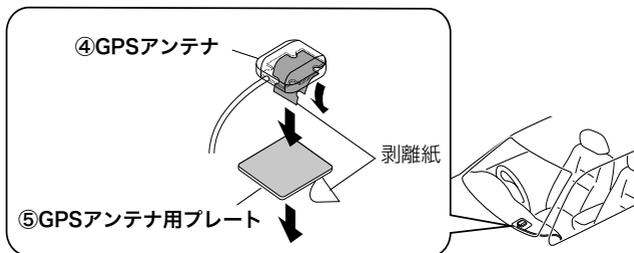
GPS アンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- ④GPSアンテナは車室内専用です。
- GPS衛星の電波を受信しやすいようにできるだけ水平に取り付けてください。
- 携帯電話や無線機などの電気・電子機器から30cm以上離れた位置に取り付けてください。GPS衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- ④GPSアンテナを本機に近づけると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなる場合があります。本機からできるだけ離して取り付けてください。
- GPS衛星からの電波の受信状態が悪い場合は、④GPSアンテナを移動して受信状態の良い場所に設置しなおしてください。
- 車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかり取り付けてください。
- 次の場合は受信感度が低下します。
 - フロントガラスが電波を通さないガラス(熱反射ガラスや断熱ガラス)である場合
 - フロントガラスにミラー調ガラスフィルムなどが貼ってある場合
- 車種により取り付けられない場合があります。
- ⑤GPSアンテナ用プレートを貼り付ける場所が平らでない場合は、⑤GPSアンテナ用プレートを曲げて場所の形状に沿って貼り付けてください。
- 本機に付属以外のGPSアンテナは使用しないでください。

取り付け方法

1. 貼り付け面の油分や汚れをきれいに拭き取ります。
2. ⑤GPSアンテナ用プレート裏面の剥離紙をはがし、ダッシュボード上に貼り付けます。
3. ④GPSアンテナ裏面の剥離紙をはがし、⑤GPSアンテナ用プレート上に取り付けます。



4. 本機に接続します。(P.160)

Bluetooth ハンズフリー通話用マイクの取り付け

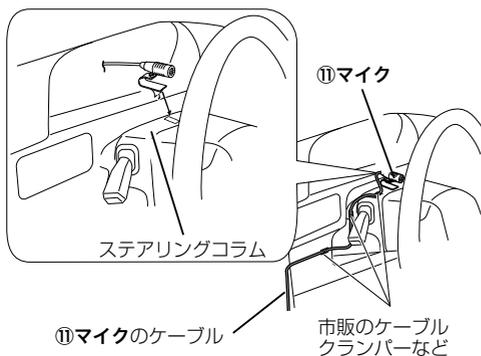
取り付け上のご注意

- ・ 運転者の視界を妨げる位置やエアバッグや保安部品の動作の妨げとなる位置に取り付けしないでください。
- ・ ①Bluetoothハンズフリー通話用マイク（以降①マイク）は、携帯電話や無線機などの電気・電子機器から離れた位置に取り付けてください。ハンズフリー通話時の音声 que これらの通信によって妨害される場合があります。
- ・ 車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかり取り付けてください。
- ・ ケーブルの引き直しなどを確認してから貼り付けてください。

取り付け方法

ステアリングコラム上への取り付け例

1. ①マイクを貼り付ける場所の汚れをきれいに拭き取り、①マイクをステアリングコラム上に貼り付けて配線します。必要に応じて配線を市販のケーブルクランパーなどで固定します。



①マイクは運転者の正面に向くように設置してください。



注意

配線するときにケーブルを可動部に挟み込まないように注意してください。

2. 本機に接続します。（P.160）

地デジ用アンテナの取り付け

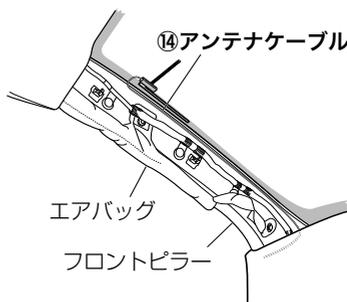
取り付け上のご注意

- ・ フィルムアンテナは車室内専用です。
- ・ 次の位置には取り付けしないでください。
車検標章などと重なる位置、運転者の視界を妨げる位置、エアバッグや保安部品の動作の妨げとなる位置、リアハッチなど可動するガラス面、車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）、リアウィンドウなど
- ・ 次の場合は受信感度が低下します。
 - 純正ラジオなどのアンテナ（パターン）に重なる場合、ウィンドウの熱線と重なる場合、フロントガラスが電波を通さないガラス（熱反射ガラスや断熱ガラス）である場合、ミラー調ガラスフィルムが貼ってある場所にアンテナを貼った場合
 - 本書に記載の取付条件（エレメント位置や間隔など）を満たさない場合
- ・ アンテナエレメント（A⑫とB⑬）を折り曲げたり、傷を付けしないでください。
- ・ 貼り付け面の温度を、暖房をかけるなどして高くしてから作業を行ってください。
- ・ 車種により取り付けられない場合があります。
- ・ フロントピラーカバーと⑭アンテナケーブルのアンブ部が干渉しないように、必ずフロントピラーカバーを取り外す前に確認してください。

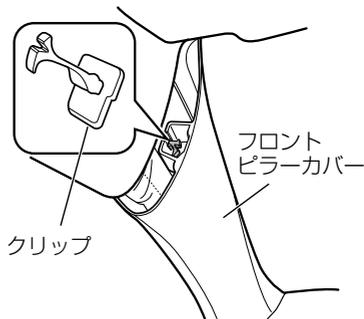


⑭アンテナケーブルをエアバッグが装着されているフロントピラー内を通す場合、次の点に注意してください。

アンテナとエアバッグが干渉しないようにするため、⑭アンテナケーブルがエアバッグよりも前方または上方になるように取り付けてください。



フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定され、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。

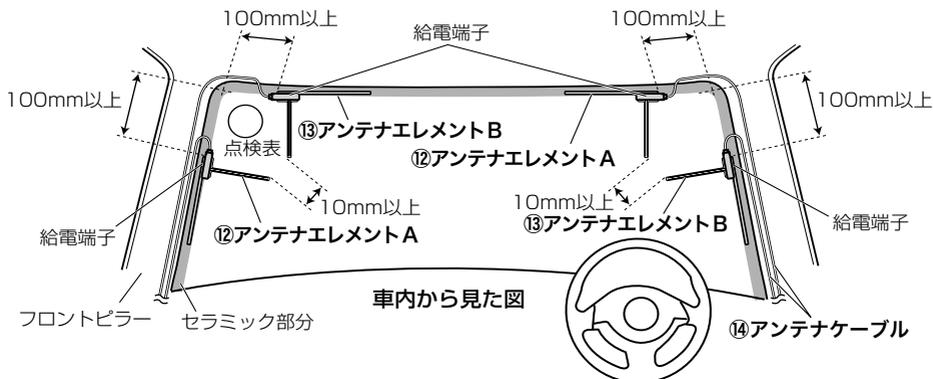


取り付け方法

1. 下図を参考にアンテナエレメントの貼り付け位置を決定します。

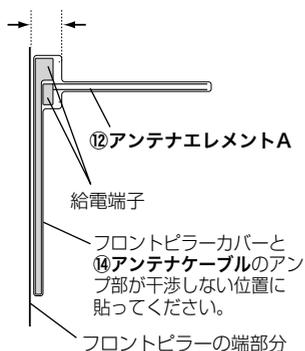


- アンテナエレメント (A ⑫と B ⑬) と⑭アンテナケーブルの取り付け位置、向きを間違えないように下図のように貼り付けてください。貼りなおすことはできません。
- 国土交通省の定める保安基準* に適合するように貼り付けてください。
* 保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条 (窓ガラス)
- 正常に受信するために本書をよくお読みになり正しく貼り付けてください。
- 図中の数字は、最低限あける必要がある間隔を表します。

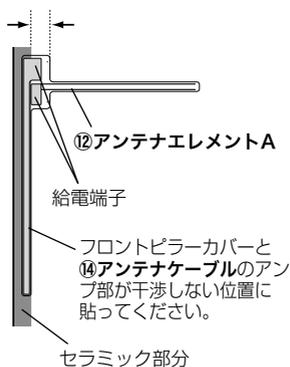


アンテナエレメントの給電端子がフロントガラス周縁のセラミック部分またはフロントピラーの端から25mm以内の位置になるように貼り付けてください。

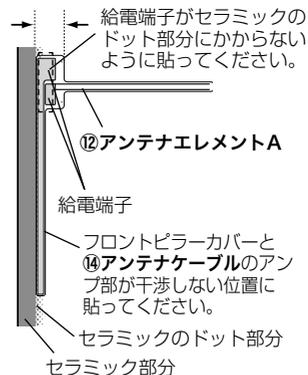
<セラミック部分がない場合>
25mm以内



<セラミック部分にドットがない場合>
25mm以内



<セラミック部分にドットがある場合>
25mm以内



はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

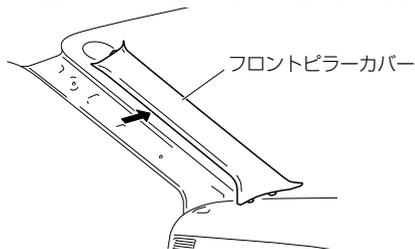
情報・設定

Bluetooth

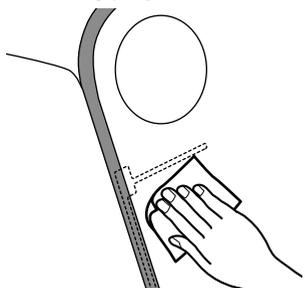
取付

付属

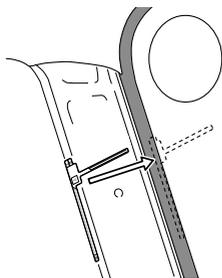
2. フロントピラーカバーを取り外します。



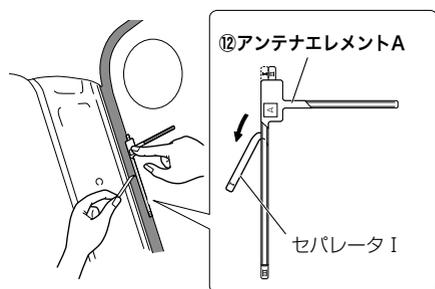
3. ⑫アンテナエレメントAを貼り付ける場所の汚れを付属の⑮クリーナーできれいに拭き取ります。



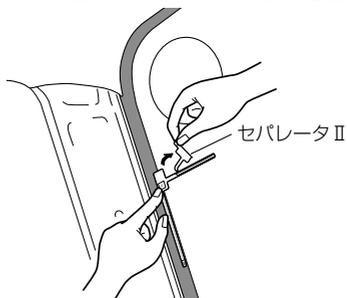
4. 手順1で決定した位置に⑫アンテナエレメントAを当てます。



5. ⑫アンテナエレメントAを押さえながらセパレータ I をはがし貼り付けます。



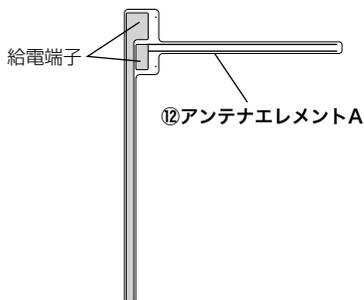
6. ⑫アンテナエレメントAを押さえながらセパレータ II をはがし、⑫アンテナエレメントAを貼り付けます。



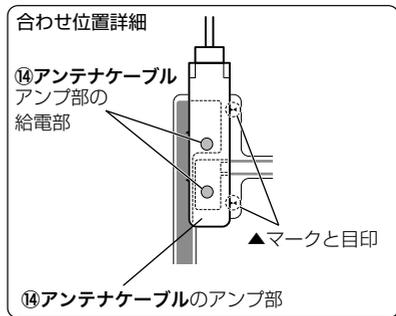
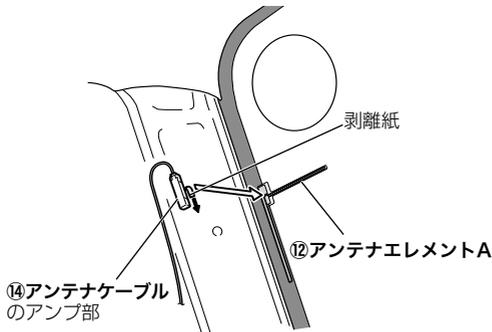
7. 樹脂製のヘラなどでフィルムの上から⑫アンテナエレメントAを十分に密着させた後、保護フィルム III を静かにはがします。



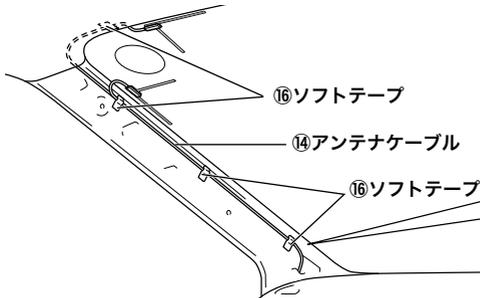
- エレメントが保護フィルム III と一緒にはがれる場合は、保護フィルム III を元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。
- 給電端子には直接手で触れないでください。



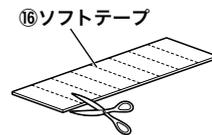
8. ⑭アンテナケーブルのアンブ部裏面の剥離紙をはがし、⑫アンテナエレメントAの給電端子に、⑭アンテナケーブルのアンブ部を貼り付けます。
アンブ部の目印を⑫アンテナエレメントAの▲マークに合わせて貼り付けてください。



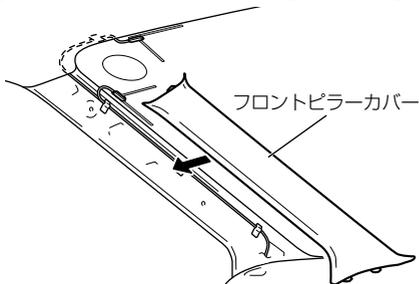
9. ⑭アンテナケーブルを配線します。必要に応じてケーブルを⑯ソフトテープで固定して配線します。



⑯ソフトテープは⑭アンテナケーブルがきちんと留められる大きさに切ってください。



10. フロントピラーカバーを元通りに取り付けます。



- フロントピラーカバーが給電端子と干渉しないように注意してください。
- ⑭アンテナケーブルをピラーカバーやコンソールなどに挟み込まないように注意してください。ショートを起こし、放送が受信できなくなります。

11. ⑭アンテナケーブルを本機に接続します。(P.160)

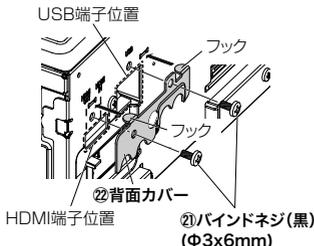
周辺機器の接続



USB 接続ケーブルを使用しないときは、キャップを外さないください。
コネクター部が車の金属部分に接触すると本機の誤動作の原因となります。

②背面カバーについて

②背面カバーは HDMI/USB 接続ケーブル (別売品) の抜けを防止のために取り付けます。HDMI/USB 接続ケーブル接続後、②背面カバーを①バンドネジ (黒) で 2ヶ所固定してください。



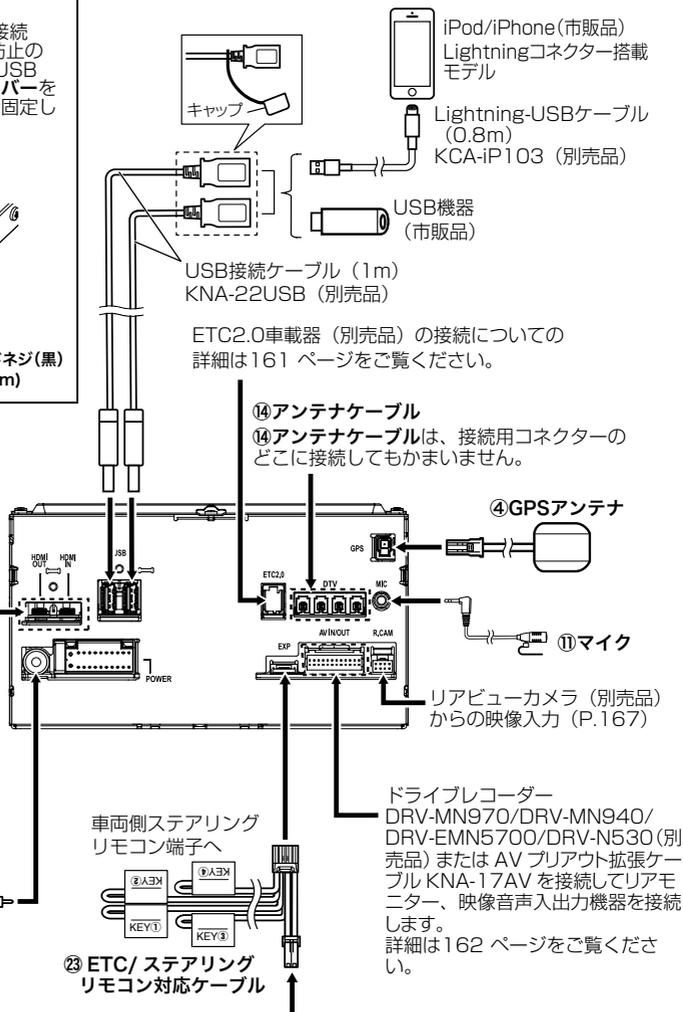
HDMI入力端子
HDMI出力対応機器 (市販品) に接続します。
HDMI接続ケーブル (1.8m) KNA-20HC (別売品) 以外は接続できません。

HDMI出力端子 ^[1]
HDMI入力対応機器に接続します。
HDMI接続ケーブル (5m) KNA-22HC (別売品) 以外は接続できません。

10.1V型HDリアモニター LZ-1000HD (別売品) への映像出力

[1] MDV-M909HDF /MDV-M909HDL

車両アンテナ



ステアリングリモコンの対応車両と接続方法については、以下のウェブサイトでご確認ください。
<https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-300ex/compatibility/>

株式会社デンソー製ETC車載器DIU-5610/DIU-5412/DIU-5310 (市販品) またはドライブレコーダー DRV-MN970 (別売品) (P.170)、DRV-EMN5700 (別売品) (P.170)、DRV-MN940 (別売品) (P.170)、ドライブレコーダー(フロント用)DRV-N530 (別売品) (P.171) を接続します。

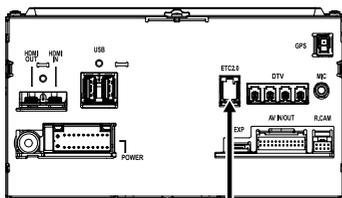




- 別売品、市販品の詳しい取り付けおよび接続方法は、各々に付属の取付説明書をご覧ください。
- iPod、USB 機器はグローブボックスなどに収納します。それぞれのケーブルは機器を取り付けられる位置に引き出してください。
- 周辺機器のケーブルは必要に応じて市販のケーブルクランプを使用して固定してください。
- 別売のナビ連動型前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー DRV-MN970、DRV-MN940、ナビ連動デジタルルームミラー型ドライブレコーダー DRV-EMN5700 または、ナビ連動型ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530 と株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5610/DIU-5412/DIU-5310（市販品）は同時に接続できません。
- ドライブレコーダーを接続する場合はドライブレコーダーに付属のケーブルは使用できません。② ETC/ ステアリングリモコン対応ケーブルを使用してください。
- リアモニターを接続する場合は AV プリアウト拡張ケーブル KNA-17AV（別売品）を使用します。

ETC2.0 車載器（別売品）の接続方法

- ETC2.0車載器を接続したときは、カーナビで設定が必要です。設定については「接続状態を確認する」をご覧ください。（P.30）



ケンウッド製 本機対応ETC2.0車載器	接続ケーブル
カーナビ連動型高度化光ビーコン対応ETC2.0車載器 ETC-N7000（別売品）	ETC2.0車載器に付属
カーナビ連動型ETC2.0車載器 ETC-N3000（別売品）	ETC2.0車載器に付属



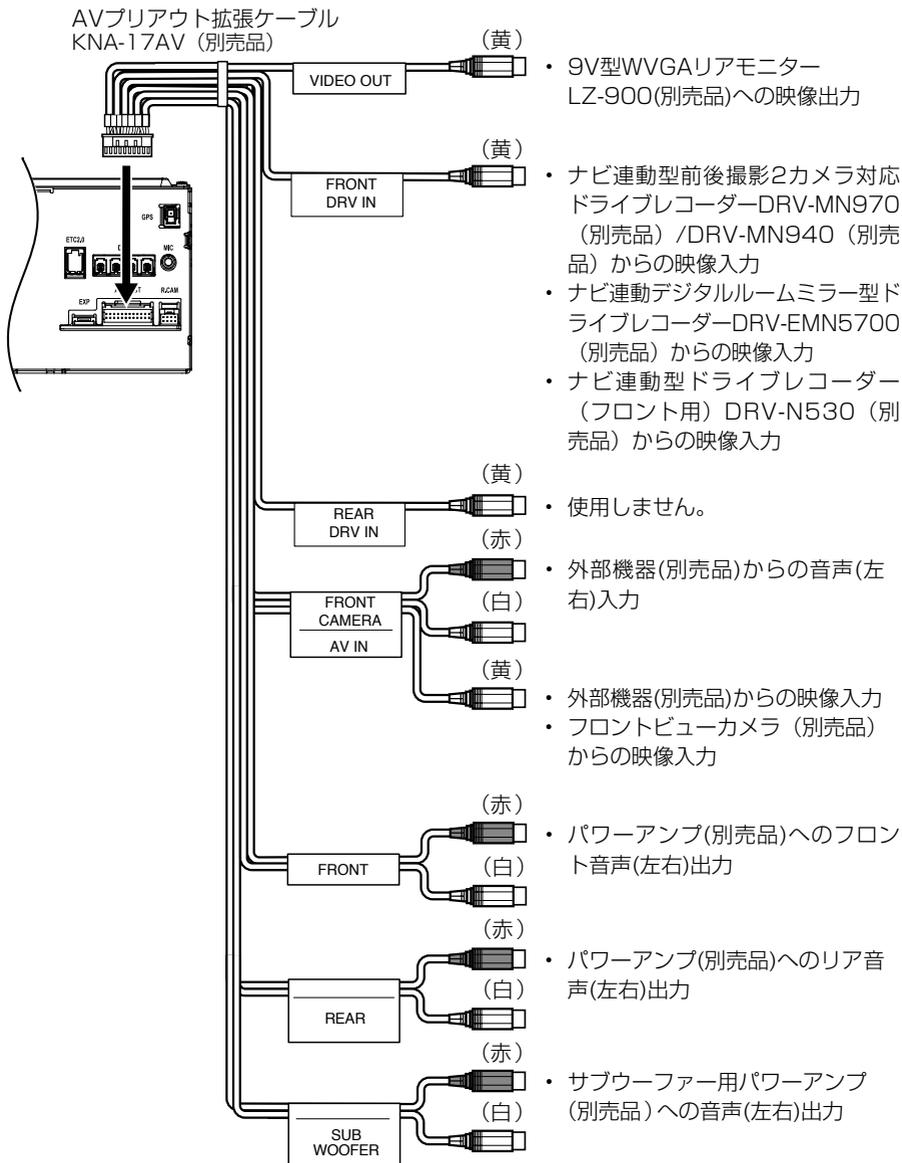
- 下記の市販品と別売の本機対応の接続ケーブルをお持ちの場合は、本機に接続することができます。
- パナソニック株式会社製ETC2.0車載器：CY-ET2000D
- パナソニック株式会社製ETC2.0車載器：CY-DSR140D
- 株式会社デンソー製ETC2.0車載器：DIU-BO40

リアモニター（別売品）、ドライブレコーダー（別売品）の接続方法

- リアモニターまたはドライブレコーダーとリアモニターを接続する場合はAVプリアウト拡張ケーブルKNA-17AV（別売品）が必要です。

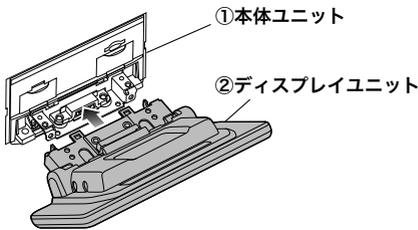


- ケーブル端子に接続するときはキャップを外してから接続してください。接続しない場合は、キャップを外さないでください。



■MDV-M909HDF に接続する場合

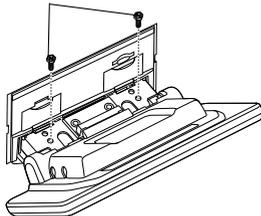
2. ⑥電源ハーネスを接続します。
3. ②ディスプレイユニットを①本体ユニットに取り付けます。



①本体ユニット、②ディスプレイユニットを持ち運ぶときや、取り付け時に落とさないように注意してください。足の上などに落とすとけがや機器の損傷の原因となります。

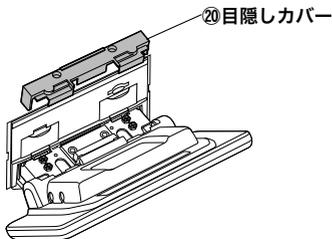
4. ⑬十字穴付き六角ネジで②ディスプレイユニットを2カ所ネジ止めし、仮固定します。

⑬十字穴付き六角ネジ



.....
 ・ここでは仮固定のため2カ所のみネジ止めします。

5. 結合部に⑳目隠しカバーを取り付けます。



.....
 ・⑳目隠しカバーを取り付けないと本機の電源が入りません。ここでは仮固定のため、ネジ止めは行いません。

6. [HOME] ボタンを押して、[メニュー] にタッチします。
7. [ソース切替] にタッチします。
8. [AV-IN] にタッチします。
9. スイッチユニットの+ ボタンを2秒以上押したあと- ボタンを2秒以上押します。



設定画面が表示されます。設定についてはCMOS-320の取扱説明書をご覧ください。

10. 設定が終了したら車両のエンジンキーを“OFF”にして、本機の電源をオフにして本機の⑥電源ハーネスを外します。
11. スイッチユニットを外します。
12. 166 ページに従って配線してください。

■ MDV-M909HDL/MDV-M809HDW/MDV-M809HD に接続する場合

2. ⑥電源ハーネスを接続します。

3. 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして本機の電源をオンにします。

MDV-M909HDLのみ本機の電源を入れると以下の画面が表示されます。
メッセージが表示されたら [いいえ] をタッチします。



4. [HOME] ボタンを押して、[メニュー] にタッチします。

5. [ソース切替] にタッチします。

6. [AV-IN] にタッチします。

7. スイッチユニットの+ボタンを2秒以上押したあと-ボタンを2秒以上押します。



設定画面が表示されます。

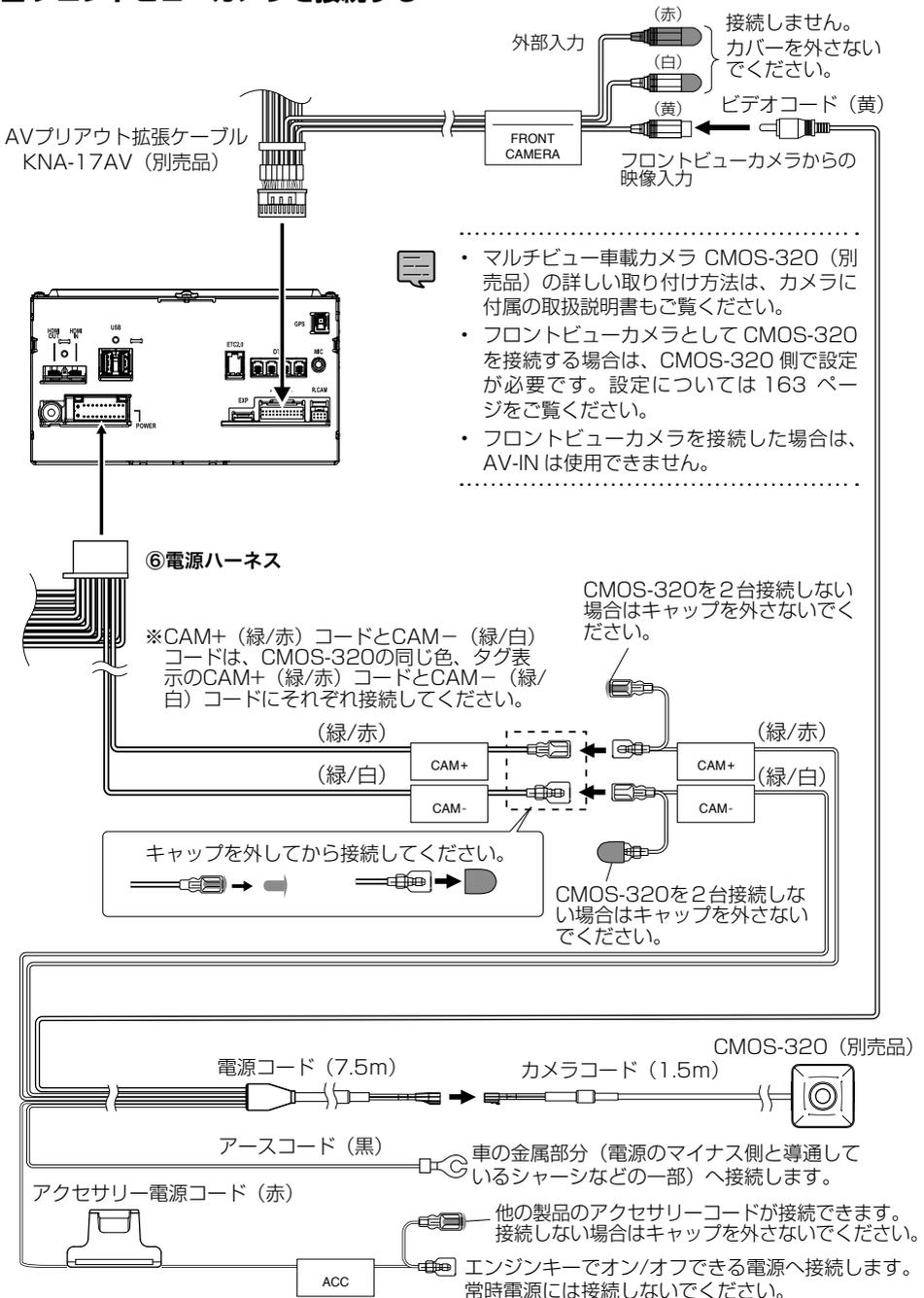
設定についてはCMOS-320の取扱説明書をご覧ください。

8. 設定が終了したら車両のエンジンキーを"OFF"にして、本機の電源をオフにして本機の電源ハーネスを外します。

9. スイッチユニットを外します。

10. 166 ページに従って配線してください。

■フロントビューカメラを接続する

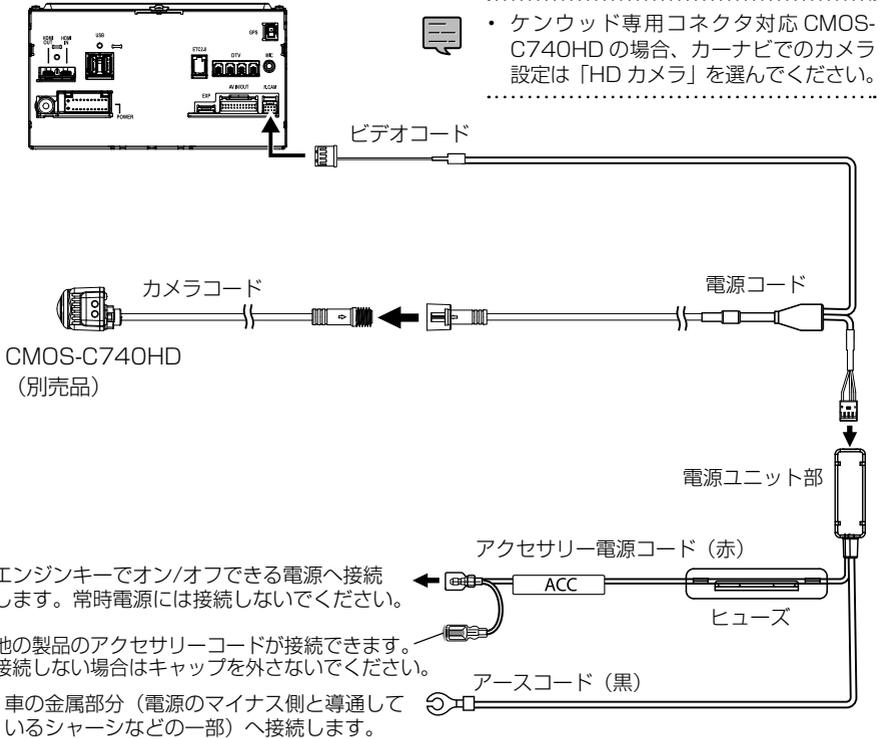


リアビューカメラの接続

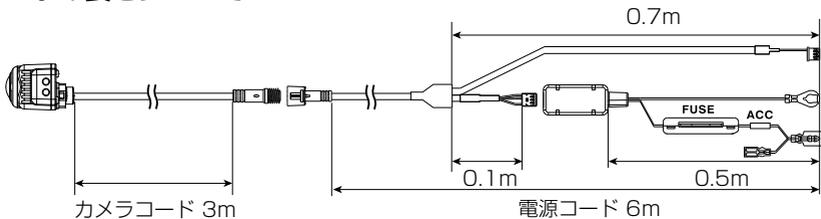
リアビューカメラの接続方法

■ HD リアビューカメラを接続する

本機対応のHDリアビューカメラは、ケンウッド専用コネクタ対応CMOS-C740HD（別売品）です。



● コードの長さについて



はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

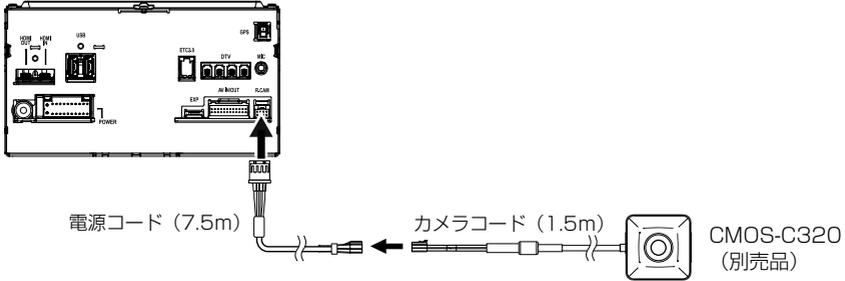
■ 専用カメラを接続する

本機対応の専用カメラは別売りのケンウッド専用マルチビューリアカメラCMOS-C320またはCMOS-320です。

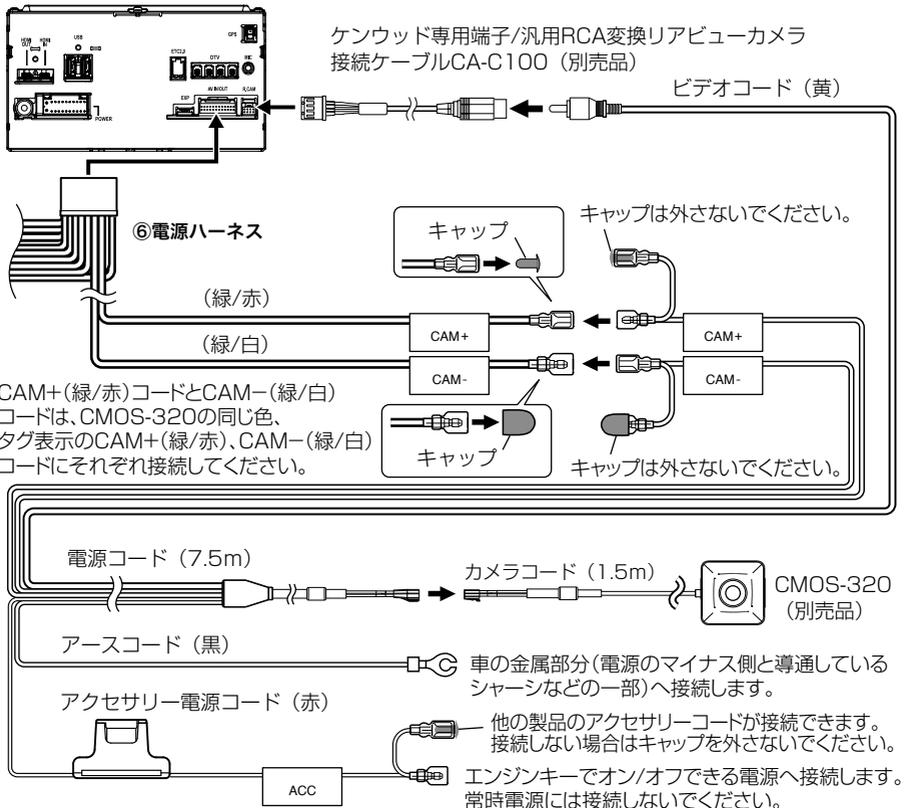


- ・ケンウッド専用マルチビューリアカメラ CMOS-C320、CMOS-320 の設定は「専用カメラ」を選んでください。本機からコントロールすることができます。

● CMOS-C320 の接続方法



● CMOS-320 の接続方法



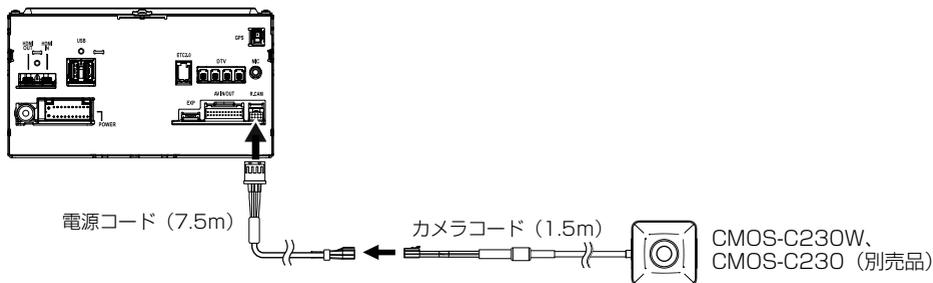
■ 汎用カメラを接続する

本機対応の汎用カメラは別売りのケンウッド専用スタンダードリアビューカメラCMOS-C230W、CMOS-C230、CMOS-230WまたはCMOS-230です。

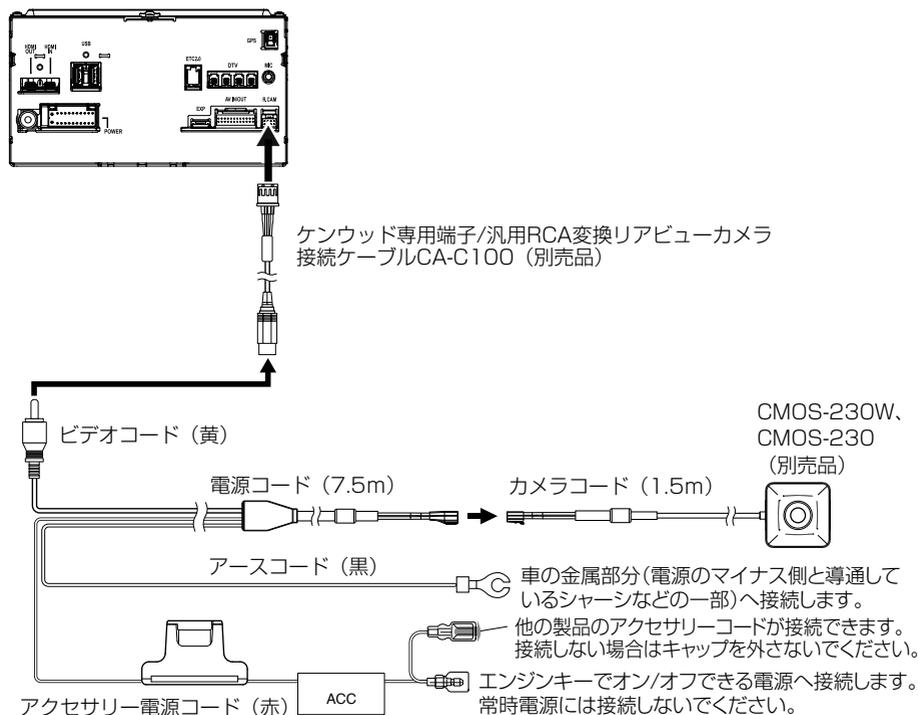


- ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ CMOS-C230W、CMOS-C230、CMOS-230W または CMOS-230 の設定は「汎用カメラ」を選んでください。

● CMOS-C230W, CMOS-C230 の接続方法



● CMOS-230W, CMOS-230 の接続方法



はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付録

ドライブレコーダーの接続

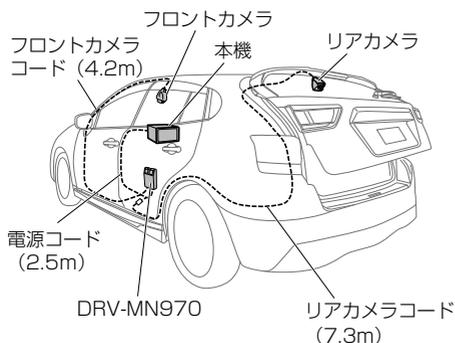


初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

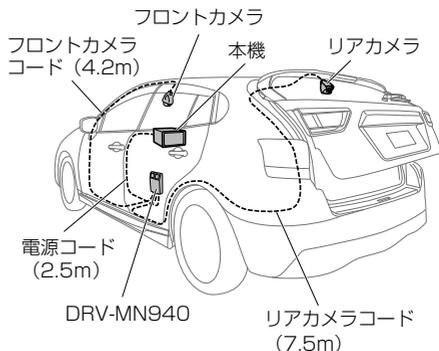
本機には以下の別売ナビ連動型ドライブレコーダーを接続することができます。

- ドライブレコーダーと本機は③ETC/ステアリングリモコン対応ケーブルで接続します。
- 以下のドライブレコーダーの接続についてはドライブレコーダーに付属の取扱説明書をご覧ください。
 - DRV-MN970
 - DRV-MN940
 - DRV-EMN5700
- DRV-N530の接続については171ページをご覧ください。

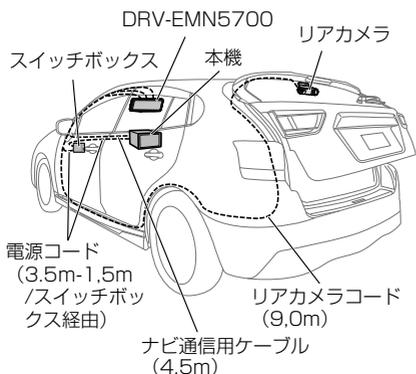
●DRV-MN970の配線イメージ



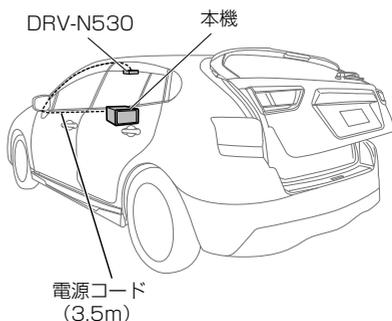
●DRV-MN940の配線イメージ



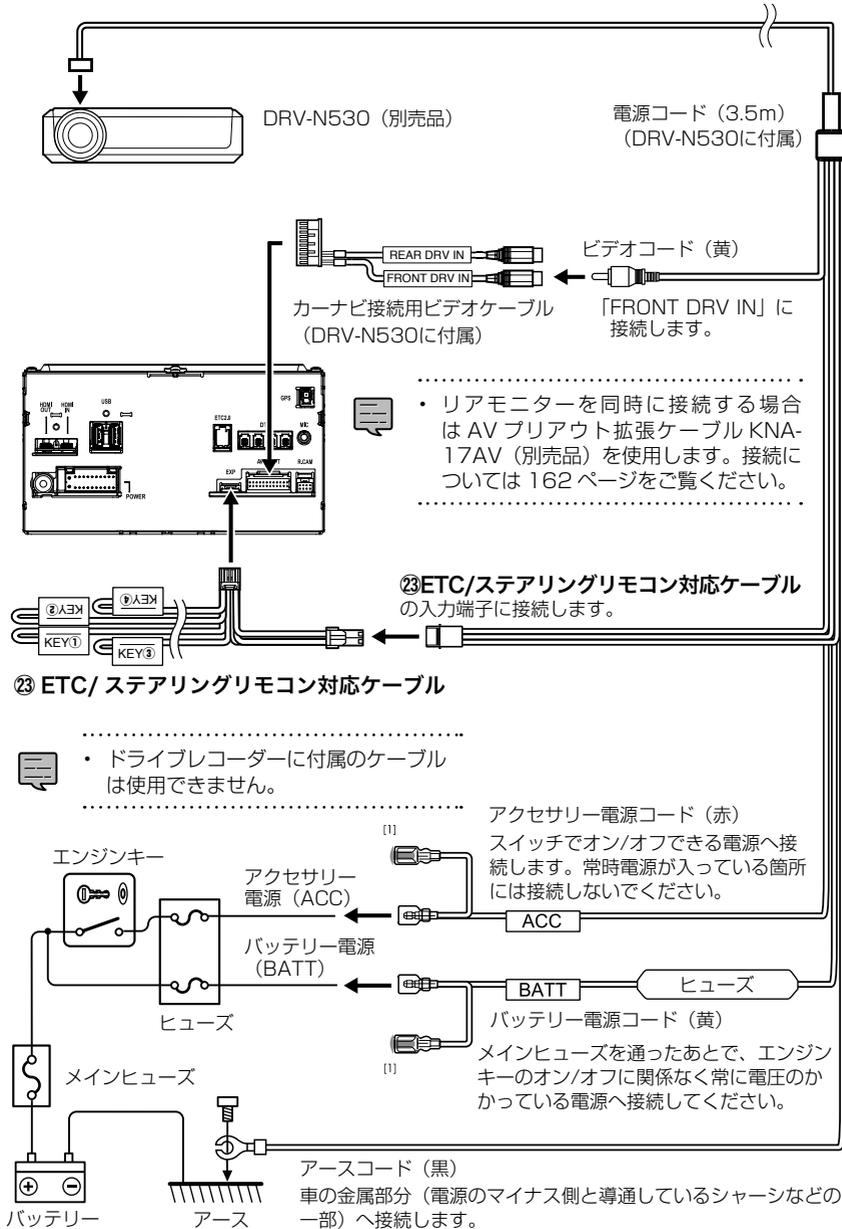
●DRV-EMN5700の配線イメージ



●DRV-N530の配線イメージ



DRV-N530 (フロント用) (別売品) の接続方法



①アクセサリ/バッテリーコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

フロントパネルの基準角度設定 (MDV-M909HDLのみ)

MDV-M909HDLは、取り付ける車両によってフロントパネルの基準角度の設定を行う必要があります。

基準角度の設定が必要な車両については、以下のwebサイトで確認してください。

<https://www.kenwood.com/jp/car/compatibility/>

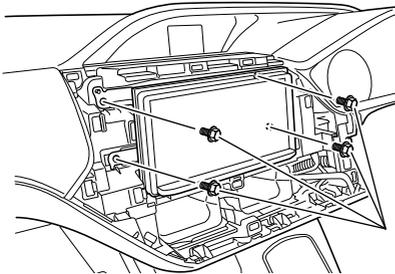
基準角度の設定が必要な場合は、以下の手順で設定を行います。



- フロントパネルの基準角度の設定には、チルトアダプター（純正部品）が必要です。別途購入をしてください。
- 本機の取り付け方法については、152 ページの「本機の取り付け」をご覧ください。
- 別売のフロントビューカメラ CMOS-320 を接続する場合は、174 ページの「フロントビューカメラを接続する場合」をご覧ください。

■ フロントビューカメラを接続しない場合

1. 本機を車両に仮固定します。



車両ネジ
(仮締めする)

2. 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして本機の電源をオンにします。

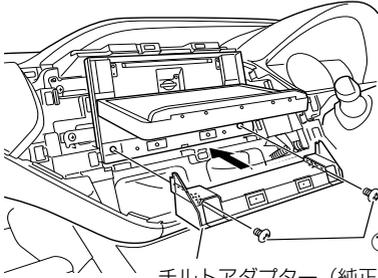
3. メッセージが表示されたら[はい]をタッチします。



4. [パネルオープン]にタッチしてパネルを開きます。



5. チルトアダプター（純正部品）を取り付けて、付属の⑦トラスネジで固定します。

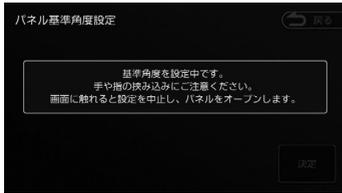


チルトアダプター（純正部品）



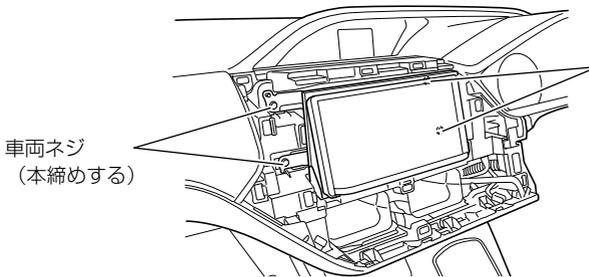
- 本機を上を持ち上げながらチルトアダプターを取り付けてください。
- 本機を持ち上げる際は、フロントパネル部を持たないでください。

6. [パネル基準角度] にタッチします。



パネルが閉まります。

7. 車両ネジを本締めして、本機を固定します。



車両ネジ
（本締めする）

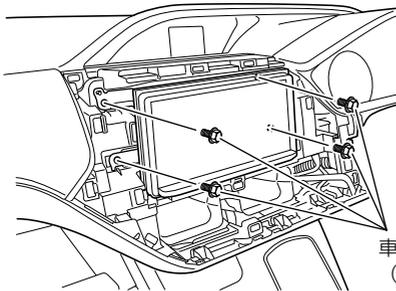
車両ネジ
（本締めする）

8. [決定] にタッチします。



■ フロントビューカメラを接続する場合

1. フロントビューカメラの接続 (163 ページ) を参照して、フロントビューカメラの接続と設定を行ってください。
2. 本機を車両ネジで車両に仮固定します。



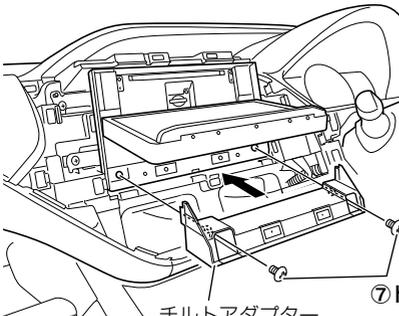
- 本機を取り付ける前に、フロントビューカメラの接続と設定で使用したフロントビューカメラのスイッチユニットが外れていることを確認してください。
- 本機取り付け方法については、152 ページをご覧ください。

3. 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして本機の電源をオンにします。
4. [HOME]を押して、[メニュー]にタッチしてMENU画面を表示します。
5. [情報・設定]にタッチします。
6. [システム]にタッチします。
7. 「車両」の[パネル基準角度]にタッチします。
8. [パネルオープン]にタッチします。



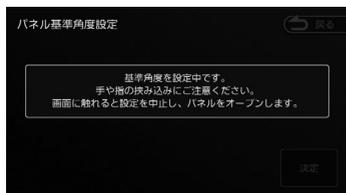
パネルが開きます。

9. チルトアダプター (純正部品)を取り付けて、付属の⑦トラスネジでとめます。



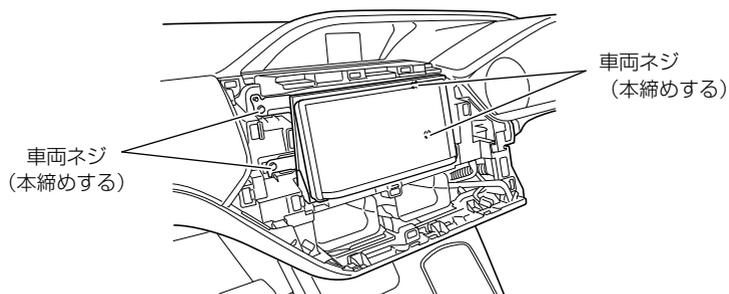
- 本機を上を持ち上げながらチルトアダプターを取り付けてください。
- 本機を持ち上げる際は、フロントパネル部を持たないでください。

10. [パネル基準角度] にタッチします。



パネルが閉まります。

11. 車両ネジを本締めして、本機を固定します。



12. [決定] にタッチします。



電源の接続

⑥電源ハーネスを本機に接続します。



初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。



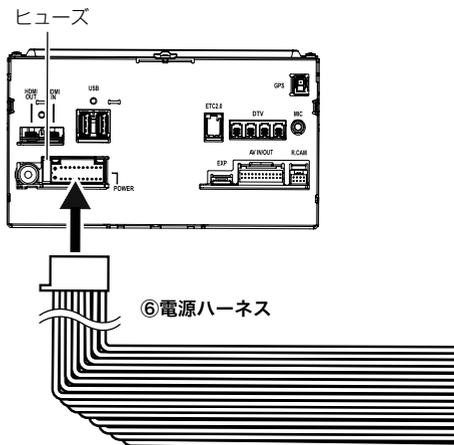
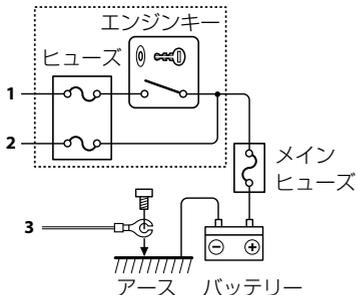
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



- ⑥電源ハーネスのコネクターはすべての配線が完了し、配線に間違いがないか確認してから本機に接続してください。
- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 車速検出コードの "S SENS" と書かれたホルダー（保護ダイオード入り）は切り外さないでください。車両故障の原因となります。

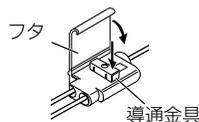
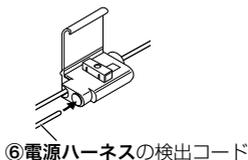
図A

輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。



中継コネクターの使いかた

1. 車両側のハーネスを⑩中継コネクターに差し込みます。
2. ケーブル止めをロックします。
3. ⑥電源ハーネス側の検出コードを⑩中継コネクターに差し込みます。
4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
5. 最後にフタをロックします。



● ⑩中継コネクターは「電源の接続」で指定のコードと⑳ETC/ステアリングリモコン対応ケーブルを接続するとき以外は使用しないでください。接触不良による誤動作の原因となります。

別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

	商品名	型名
iPod 再生	iPod 接続ケーブル (0.8 m)	KCA-iP103
USB 接続	USB 接続ケーブル	KNA-22USB
AV ケーブル	AV プリアウト拡張ケーブル	KNA-17AV
ドライブレコーダー	ナビ連動型ドライブレコーダー (フロント用)	DRV-N530
	ナビ連動デジタルルームミラー型 2カメラドライブレコーダー	DRV-EMN5700
	ナビ連動型 前後撮影対応 2カメラドライブレコーダー	DRV-MN970 DRV-MN940
フロントビュー	マルチビューカメラ	CMOS-320
リアビューカメラ	ケンウッド専用マルチビューリアカメラ	CMOS-C320
	ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ	CMOS-C230W/CMOS-C230
	スタンダードリアビューカメラ	CMOS-230W/CMOS-230
	HD リアビューカメラ	CMOS-C740HD
	マルチビューカメラ	CMOS-320
変換リアカメラ接続ケーブル	ケンウッド専用端子 / 汎用 RCA 変換リアカメラ接続ケーブル マルチビューカメラ CMOS-320 およびスタンダードリアビューカメラ CMOS-230W/CMOS-230 を接続する場合に必要です。	CA-C100
ETC 車載器	株式会社デンソー製 ETC 車載器	DIU-5610 (市販品)
		DIU-5310 (市販品)
		DIU-5412 (市販品)
ETC2.0 車載器	ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器	ETC-N7000 (接続ケーブル同梱)
	ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器	ETC-N3000 (接続ケーブル同梱)
リアモニター	9V 型 WVGA リアモニター	LZ-900
	10.1V 型 HD リアモニター	LZ-1000HD ^[1]
HDMI 接続ケーブル	HDMI 出力用インターフェースケーブル	KNA-22HC ^[1]
	HDMI 入力用インターフェースケーブル	KNA-20HC

^[1] MDV-M909HDF、MDV-M909HDL のみ

自転車位置の測位精度について

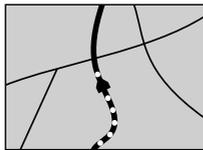
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自転車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所(川や海の上など)に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPSと自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

準天頂衛星「みちびき」について

本機は準天頂衛星「みちびき」の受信に対応しています。

従来のGPS衛星からの信号に加え、「みちびき」からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上させることができます。

自律航法とは

車速パルスと内蔵の6軸センサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向を6軸センサーで検出して、GPSで測位できない状況でも現在地を割り出します。

6軸センサーについて

本機には6軸センサー(3軸ジャイロセンサー+3軸加速度センサー)を内蔵しています。上下/左右/回転方向のセンサーが独立しているため、互いの影響を受けずに精度の高い角速度/加速度の測定が可能です。

高測3Dジャイロについて

内蔵の6軸センサーによって、自転車の傾斜や高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。高さ情報があるのは、高速道路/国道/県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしています。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS測位不能によって生じる誤差について

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2層構造の高速道路の下
 - 高層ビルなどの間
 - 密集した樹木の間
- GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。
- 3基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位はできません。

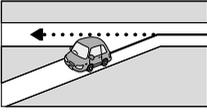
■ GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

- 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき(衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき)には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- GPS衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自転車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下(地球の裏側)に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

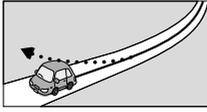
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さいY字路を走行した場合



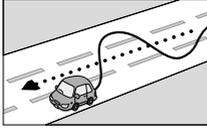
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



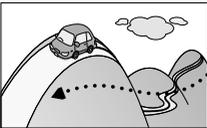
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



蛇行運転をした場合



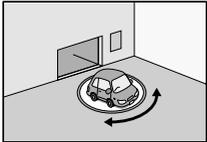
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



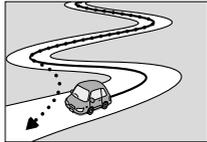
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



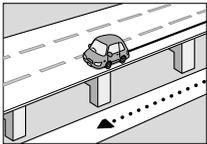
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



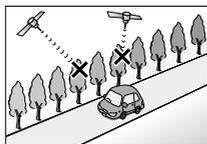
ヘアピンカーブが続いた場合



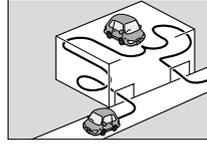
高速道路と側道などが隣接している場合



GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



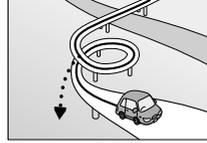
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



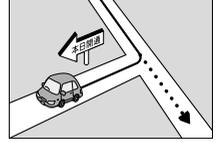
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



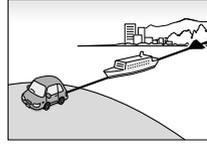
ループ橋などを走行した場合



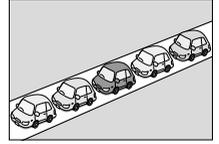
地図データにはない、新設道路を走行した場合



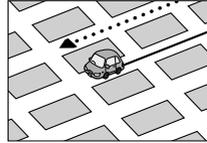
フェリーや車両運搬車で移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		料金所		図書館		裁判所
	都道府県庁舎		マリーナ		テーマパーク		灯台
	市特別区庁舎		史跡名勝		城・天守閣		ホール
	町村指定都市区庁舎		城跡		温泉		スマートIC
	官庁公共施設		神社		山頂		その他の目的物
	警察		寺院		自衛隊		NTT
	消防		教会		墓地		サーキット
	学校		海水浴場		ボウリング場		テニスコート
	郵便局		ゴルフ場		サッカー		ディスカウントストア
	病院		スキー		競馬場ウィンズ		ビルアパート名称
	デパート/スーパー		キャンプ		大学		道の駅
	カー用品店		遊園地		短大		ヘリポート
	IC		動物園		高専		乗馬
	SA		公園		高校		体育館
	PA		ホテル		中学校		牧場
	パーキング		スポーツ施設		小学校		自動車学校
	工場		植物園		養護・盲・ろう学校		トンネル
	飛行場		美術館		保健所		船着場（観光船等）
	フェリー		博物館		税務署		野球場
	港		水族館		発電所		展望台



- 表示される記号またはマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を表して1つのマークで表示されることもあります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

- サービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)などハイウェイモードのときに表示されるマークです。

記号	名称
	IC
	スマートIC
	SA
	PA
	JCT
	IC/JCT (併設)
	IC/SA (併設)
	IC/PA (併設)
	SA/JCT (併設)
	PA/JCT (併設)
	料金所

- サービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) の設備は、以下のマークになります。

記号	名称
	スマートIC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
	ハイウェイオアシス
	インフォメーション
	休憩所
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	障害者用トイレ
	ATM
	トイレ

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第44条に基づく成果使用承認）[2021年3月発行データ使用]
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日）
- このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像（平成26年12月10日撮影）」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。（承認番号 平30情使、第256号-46号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第320号-46号）
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
URL：
https://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2021_2.pdf

■交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2021年3月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

■駐車場データについて

- 駐車場データは、2021年10月1日まで対応しています。但し、2021年5月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。
- タイムズデータについては、パーク24(株)提供リストに準拠し、2021年3月時点で取得できた情報までに限ります。

■タウンページデータ/訪問宅（個人宅）電話番号データについて

- タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2021年3月号データを収録しています。
- 訪問宅（個人宅）電話番号データは、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2021年3月号データを収録しています。
- 局番変更については、2021年10月1日変更分まで対応する。但し、2021年5月時点で取得できた情報までに限ります。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

■住所データについて

- 住所データについては2021年4月時点の住所マスターデータを使用しています。
- 市区町村合併については、2021年10月1日施行分まで対応しています。但し、2021年4月時点で取得できた情報までに限ります。
- 出典：「国勢調査結果」（総務省）を加工して作成しています。

■郵便番号データについて

- 郵便番号データは、2021年4月時点のデータを使用しています。
- 大口事務所・私書箱については、2021年4月時点のデータを使用しています。

■料金データについて

- 高速道路(有料道路を含む)料金表データは、2021年3月調査で2021年10月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金を取得しています。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

■放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは2021年10月現在のものです。
- 放送局の開局、廃局、名称変更、周波数(チャンネル)変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

■施設情報および個人情報(電話番号)について

- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2017 (一般財団法人) 日本デジタル道路地図協会

©2021 INCREMENT P CORPORATION

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

第2条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否に関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部

を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public Licenseまたは Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示または黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は [情報・設定] - [システム] - [特別] の [オープンソースライセンス]です。

VICS について

VICSサービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、地図表示の表示内容は除く)

<問い合わせ先>

VICSセンター

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

電話受付時間

9:30 ~ 17:45

(但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)

FAX 受付時間 24 時間

FAX 番号 (全国) 03-3562-1719

- VICSの最新情報について

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンター(裏表紙)にご相談ください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICISサービスは、VICIS対応 F M 受信機 (VICISデスクランブラーが組み込まれた F M 受信機) を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICISサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICISサービスの種類に対応したVICIS対応 F M 受信機を購入することにより、第4条に示すVICISサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICISサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICISデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICISデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICISサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICISサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICISサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICISサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICISサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICISサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICISサービスの利用を中止することがあります。

2. 当センターは、前項の規定によりVICISサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICISサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

- 第17条
1. 当センターは、天災、事変、気象など の視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICISサービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICISサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICISサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
 2. VICISサービスは、F M放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICISサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICISサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円 (税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICISセンター) の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	—
	DVD オーディオ	×	—
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2層)	○	
	DVD-R DL (2層)	○	
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応 MQA-CD 再生対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、 スーパー ビデオ CD	×	—
	フォト CD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
	CCCD	×	—
その他	デュアル ディスク	×	—
	スーパー オーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

- ：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/
Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因となります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因となります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

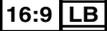
ディスク使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンサーホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなったり音飛びの原因となります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。
DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

● DVD ディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されている場合は、お好みのアングル(角度)で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る(レターボックス)映像となります。

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。



禁止マーク

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC ^[1]
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT ^[2]

^[1] MMC(MultimediaCard)には対応していません。

^[2] この他のファイルシステム(NTFS等)には対応していません。

● SDスピードクラスはClass10まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

- miniSDカード、microSDカードはSDカードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ずSDカードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムがFAT16、FAT32、またはexFATであることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機はSD-Audioには対応していません。
- すべてのSDカードに対して、動作を保証するものではありません。
- SDカードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB 1.1/USB 2.0 ^[1]
デバイスクラス	マストレージクラス (MSC device) ^[2]
最大消費電流	1A 以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT ^[3]

^[1] USB3.0 には対応していません。

^[2] 使用する USB デバイスが USB マストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

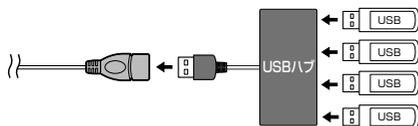
^[3] このほかのファイルシステムには対応していません。

USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- すべての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 接続ケーブル KNA-22USB (別売品) 以外のケーブルを使用すると、正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

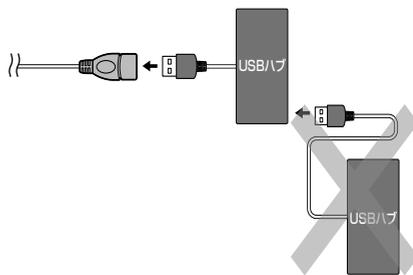
USB ハブの使用について

- 本機では、1 本の USB 接続ケーブルに対し 1 台の USB ハブを接続して、最大 4 つ (パーティション含む) の USB デバイスを接続できます。



ただし、すべての接続機器の動作を保証するものではありません。

- USB ハブは USB 接続ケーブル 1 本につき 2 台以上接続しないでください。



- 消費電流の大きい機器を USB ハブに接続すると動作しない場合があります。この場合は USB 接続ケーブルに直接接続してください。
- USB ハブを使って接続するときは、USB ハブを本機の USB 接続ケーブルに接続してから、USB 機器を USB ハブに接続してください。
- iPhone/iPod は USB ハブを介した接続ができません。USB 接続ケーブルに直接接続してください。

ハイレゾ音源について

- 本機は、以下のハイレゾ音源ファイルの再生に対応しています。
 - ・ コーデック：FLAC/WAV
 - サンプル周波数：96kHz、量子化ビット数：24bit
 - サンプル周波数：192kHz、量子化ビット数：24bit
- ハイレゾ再生をお楽しみ頂くには、接続される機器 (スピーカー等) もハイレゾ再生可能な製品が必要となります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック		メディア	CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3		○	○	○	○
	WMA		○	○	○	○
	AAC		○	○	○	○
	WAV		○	○	○	○
	FLAC		○	○	○	○
	Vorbis		○	○	○	○
	DSD		×	×	○	○
	MQA		○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video		×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC		×	×	○	○
	WMV		×	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

MQAについて

MQA (Master Quality Authenticated) は、各種オーディオアワードの受賞歴がある英国のテクノロジーであり、スタジオ 21 / クオリティーの音質で再生することが可能です。

サイズが小さいのでダウンロードやストリーミングに適しています。本機は、MQA ファイルをデコードしてスタジオクオリティで再生可能です。詳しくはホームページをご覧ください：www.mqa.jp

本機は、MQA-CD も再生可能です。

内蔵された MQA デコーダーが MQA-CD からの信号を自動的に認識し、折り畳まれている MQA ファイルを完全に展開して、スタジオで認証された音源を復元して再生することができます。

画面上の MQA ロゴの横にある青色のインジケーターが点灯すると MQA スタジオファイルを再生していることを示します。

このファイルは、アーティスト / プロデューサーによって認証もしくは著作権所有者に認証されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	Vorbis
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7, 8, 9)	MPEG2/4 AAC LC, HE-AAC (V1,V2)	vorbis
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.ogg
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit
ビットレート	8 ~ 320kbps, VBR	8 ~ 320kbps	8 ~ 320kbps, VBR	-
サンプリング周波数	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/Professional/Lossless/Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

	FLAC	WAV	DSD	MQA
対応形式	flac	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)	DSF DSDIFF	MQA/MQA Studio
拡張子	.flac, .fla	.wav	.dsf, .dff	.flac, .fla, .wav
量子化ビット数	16bit/24bit	16bit/24bit	1bit	16bit/24bit
ビットレート	-	-	-	-
サンプリング周波数	16k ~ 192kHz ^[1]	16k ~ 192kHz ^[1]	2.8MHz, 5.6MHz, 11.2MHz	44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384kHz ^[2]
タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ	ID3v2.3	Vorbis Comment タグ (flac, fla) RIFF LIST タグ (.wav)
その他	圧縮レベル:0 ~ 8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	PCM 変換再生	マルチチャンネルは非対応

^[1] CD メディアは 48kHz まで対応しています。

^[2] 352.8kHz は 176.4kHz 相当、384kHz は 192kHz 相当で再生します。

※ タグの文字数は全角 128 文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ 本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、画像データのサイズが 650KB 以下のファイルです。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC				WMV	
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC				Windows Media Video Ver.9(VC-1)	
ファイル コンテナ	AVI	MP4	MKV	AVI	MP4	FLV	MKV	ASF	MKV
拡張子	.avi	.mp4	.mkv	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.mkv	.wmv	.mkv
プロファイル	アドバンスドシンプル プロファイル			ベースラインプロファイル、 メインプロファイル				メインプロファイル	
対応音声 コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	WMA	MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	
最大ピクチャ サイズ	1920 × 1080			1920 × 1080				1920 × 1080	
最大フレーム レート	30fps			30fps				30fps	
最大ビット レート	8Mbps			8Mbps				8Mbps	

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをすることがあります。

(1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

ファイル名 全角 80 文字 (拡張子は除く)

フォルダ名 全角 80 文字

※ ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。

ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

使用できない文字：

¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|

ファイルには正しく拡張子を付けてください。

ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：

1 フォルダ内の最大ファイル数：999

ディスク内の最大ファイル数：5000

- ・ ディスク内の総フォルダ数が 500 以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります。
- ・ フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。

USB 機器および SD カード：

1 フォルダ内の最大ファイル数：9999

1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

- ・ フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。ただし、制限内でもフォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- ・ デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ハンズフリープロファイル)
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP* (高度オーディオ配信プロファイル)
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
* SCMS-T 対応
(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)
- AVRCP (オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル)
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (シリアルポートプロファイル)
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。
- PAN (パーソナルエリアネットワークプロファイル)
小規模ネットワークを実現するためのプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.5.0 準拠



- 動作を確認した携帯電話機についてはホームページをご覧ください。
<https://www2.jvckenwood.com/cs/ce/bt/index.php?lang=japanese>
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

対応コーデック

LDAC™/SBC/AAC

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。

Made for

- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPod touch (7th generation)
- iPod touch (6th generation)
- 音楽再生のみに対応します。
- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

iPod 接続ケーブルについて

本機に iPod/iPhone を USB 接続するときは、USB 接続ケーブル KNA-22USB (別売品) と iPod 接続ケーブル KCA-iP103 (別売品) が必要です。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。(→ P.69)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト(→ P.69)、画面の明るさ(→ P.25)、視野角(→ P.29)を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(→ P.69)
フロントまたはリアビューカメラに切り替わらない。	フロントまたはリアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	フロントまたはリアビューカメラの設定が“なし”になっている。	CMOS-320/CMOS-C320を接続しているときはフロントまたはリアビューカメラの設定を“専用カメラ”に、その他のカメラを接続しているときは“汎用カメラ”にしてください。設定方法の詳細はオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては13ページを参照ください。
	フロントビューカメラの設定が間違っている。	取付説明書を参照して、CMOS-320の識別設定が“フロントカメラ”になっているか確認してください。
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.116)
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
案内音声が出力されない。	フロントスピーカーが接続されていない。	案内音声とハンズフリーの音声出力はフロントスピーカーのみです。スピーカーの接続を確認してください。
ハンズフリーの音声が出力されない。		

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が接続できない。	ソフトアップデート等により接続機器の登録情報が更新された。	Bluetooth 機器の登録をいったん削除して、再度登録し直してください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。 (→ P.67)
経由地を設定できない。	すでに5か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。 (→ P.63)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の50か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	ルートの距離が長い。	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPS アンテナの設置場所が悪い。	GPS アンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。 (→ P.30) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
マイルルートアジャスターの渋滞回避を設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞しているも早い。	マイルルートアジャスターの渋滞回避は、渋滞道路を必ず回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	現在提供されている VICS 情報が少なく、別のルートが探索できない。	—

症状	考えられる原因	対処方法
VICS の地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル3）を表示できるのは、10m～1km（一般道は10m～500m、一般道の駐車場情報は10m～200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。 オートアンテナをしまっている場合は伸ばしてください。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。 (→ P.108)
VICS 情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が [OFF] に設定されている。	ナビ設定画面で、割り込み表示を [ON] に設定してください。(→ P.109)
夜の地図色が表示されない。	地図色昼夜切替が [昼色に固定] に設定されている。	「自動」に設定してください。 (→ P.114)
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声案内されない。	ルート案内音声の出力が [OFF] に設定されている。	ルート案内音声の出力を [ON] に設定してください。(→ P.112)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	[MAP/AV] を押して現地図画面に切り替えてください。(→ P.39)
	画面がオフになっている。	[MAP/AV] を押すか、画面をタッチしてください。(→ P.27)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自転車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合があります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索するため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音声の音量を大きくしてください。 (→ P.112)
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。
センサー学習が完了しない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自転車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

取付

付録

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。
リアモニターの映像が出ない。	接続機器の電源が入っていない。	接続機器の電源を入れてください。
	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルの接続状態を確認してください。
	映像出力可能なソースに設定されていない。	映像出力可能なソースを確認してください。詳細についてはオプションマニュアルをご覧ください。オプションマニュアルについては13ページを参照ください。
	本機の「外部出力切替」設定と接続機器の入力設定が合っていない（本機の設定がHDMI出力の場合、接続機器側の設定をHDMI入力有効な設定にする必要があります）。	HDMI機器を接続している場合は、本機の設定を「HDMI OUT」または「HDMI ミラーリング」にしてください。 (→ P.131) また、接続機器側の設定はHDMI入力有効な設定にする必要があります。
	接続機器がHDCP（HDCPとは不正コピーを防止する暗号化技術の1つです）に対応していない。	HDMI機器を接続している場合は、HDCPにも対応している必要があります。

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が40°を超えている。	40°以内になるように取り付けなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合は、ディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上に入れて入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	[▲] を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	[▲] を押してディスクを取り出し、しばらく放置（約1時間）してから使用してください。
ファイルの再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	[▲] を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。 (→ P.89)
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

症状	考えられる原因	対処方法
CD-R、CD-RW が再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CD レコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフトや CD-R/CD-RW レコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD の禁止マーク  が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されず、禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルが再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.192)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(→ P.193)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB以下のビデオファイルが再生できます。

● 地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしておいてください。(→ P.97)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更(リパック)が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しておいてください。(→ P.97)
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。(→ P.97)
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が続切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しのいい場所に移動してください。 ・ワンセグに切り替えてください。(→ P.96)
	ワンセグ / 12 セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	<ul style="list-style-type: none"> • iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 • iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	しっかりと接続してください。
音がひずむ。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
	USB ハブを介して接続している。	充電するときは USB ハブを使用せずに直接接続してください。 急速充電したいときは、USB 接続ケーブルに直接接続してください。
iPod の音声が出力されない。	「Lightning - Digital AV アダプタ」を使用して本機に iPod を接続している。	「Lightning-Digital AV アダプタ」を外して接続しなおしてください。(→ P.71)

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB 接続ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 接続ケーブル KNA-22USB (別売品) 以外のケーブルを使用しているため、データの品質が悪くなっている。	1 個の USB 端子に、USB 接続ケーブル KNA-22USB (別売品) を 1 本のみ使用して接続してください。
	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続している。	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続して USB 機器を接続すると、本機で再生することができません。 USB ハブを 1 台にして接続しなおしてください。
	複数の USB 機器を接続していて違うデバイスが選択されている。	「デバイス切替」で再生したいデバイスに切り替えてください。(→ P.75)
USB 機器や SD カード内のオーディオ/ビデオファイルが再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.192)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、<、>、 ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く）全角 80 文字以内に変更してください。
	再生モードが録音した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。(→ P.76)

● 内蔵メモリ /SD カードへの録音と再生

症状	考えられる原因	対処方法
録音した SD カードが再生できない。	録音データ (kenwood.direct.rec フォルダのデータ) またはコンテンツデータベース (ContentsDB フォルダのデータ) を編集または変更した。	録音データ (kenwood.direct.rec フォルダのデータ) またはコンテンツデータベース (ContentsDB フォルダのデータ) を編集または変更すると本機で再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	再生モードがパソコンで保存した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。(→ P.76)
音楽 CD を内蔵メモリ /SD カードに録音できない。	SCMS によるコピー制限がかかっている音楽 CD を録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽 CD を使用してください。

● Bluetooth オーディオ /ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていない。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。記載されていない場合は "0000" を試してください。
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎる。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中、または、他のプロファイルで通信中。たとえば、電話帳や「KENWOOD Drive Info.」のデータ受信中等は音が途切れる場合がある。	ご利用の Bluetooth 機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっている。	通話中に調整してください。
スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにしてオンにすると本機と接続できない。	スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにした場合、再度オンにしても本機からは認識できないことがある。	スマートフォンの Bluetooth 接続機器から本機を選び直してください。

● HDMI ソース

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されない。	解像度が 480p または 720p になっていない。	HDMI 機器の映像出力設定を Auto に設定してください。Auto 設定が無い場合は、480p または 720p に設定してください。
	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルの接続状態を確認してください。
音が出ない。	PCM 以外で入力している。	接続している機器の音声 PCM 出力になっているか確認してください。

● Wireless Mirroring

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されず音も出ない。	Wi-Fi 機能が OFF に設定されている。	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器設定画面で、Wi-Fi 接続を [ON] に設定してください。 スマートフォンの Wi-Fi 機能を ON に設定してください。
	スマートフォンのミラーリング機能が OFF に設定されている。	スマートフォンのミラーリング機能を ON に設定してください。
	ミラーリング機能に対応していないスマートフォンを使用している。	ミラーリング機能に対応しているスマートフォンを接続してください。 (→ P.103)
映像や音が途切れる。	他の無線機器 (Wi-Fi ルーターなど) が通信を妨げている。	他の無線機器の電源を OFF にしてください。または、本機から遠ざけてください。
音が小さい。	スマートフォンの音量が小さい。	接続しているスマートフォンの音量を大きくしてください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
異常を検出したため、音声出力を停止しました。 電源を入れなおしても問題が解消されない場合は カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したため保護回路が働いた可能性があります。取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	地デジアンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスが検出できません。 車速検出コード(桃)の接続先及び接続状態を確認してください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ステアリングリモコンキーの 学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他のSD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アプリケーションと通信できませんでした。 スマートフォンを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> • 使用していたスマートフォンのアプリケーションを停止させ、再起動させてください。 • スマートフォンの Bluetooth をいったんオフして、オンしてください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> • ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 • 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETCに異常が発生しました。 販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。 ETCカードが挿入されていません。(01)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETCカードが読みません。 ETCカードが読みません。(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none"> ・差し込まれたカードがETCカードかどうか確認してください。 ・カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ・カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。(06)、(07)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETCカードに書き込みできません。(11)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● ETC2.0

メッセージ	対処
ETC2.0 接続エラー	取付説明書を参照して、ETC2.0 車載器の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、CMOS-320/CMOS-C320 との接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および CMOS-320/CMOS-C320 のカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● ドライブレコーダー

メッセージ	対処
ドライブレコーダーが接続されていません。	取付説明書を参照して、ドライブレコーダーの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
リアドライブレコーダーが接続されていません。	リアドライブレコーダー接続を [OFF] に設定してください。
ドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、ドライブレコーダーの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
リアドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。	リアドライブレコーダー接続を [OFF] に設定してください。

メッセージ	対処
ドライブレコーダーの手動録画のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	必要なデータはパソコンなどにバックアップし、不要なデータはSDカードから削除してください。
ドライブレコーダーのイベント記録のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	
ドライブレコーダーのSDカードの空き容量不足のため、録画を中止しました。	
リアドライブレコーダーの手動録画のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	
リアドライブレコーダーのイベント記録のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	
リアドライブレコーダーのSDカードの空き容量不足のため、録画を中止しました。	
ドライブレコーダーの録画を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> カメラの接続に異常があります。カメラの接続をご確認ください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。 何らかの不具合により録画ができなくなっています。JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ドライブレコーダーが高温になったため、安全のため電源を切りました。	温度異常により、電源がオフになっています。通常の温度に戻ると自動で復帰し、使用できるようになります。
ドライブレコーダーの静止画撮影を中止しました。	静止画撮影ができませんでした。何度か本機の「静止画」にタッチしても撮影できない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換推奨時期です。	ドライブレコーダーに挿入しているSDカードの寿命が近くなるとお知らせします。挿入しているSDカードに録画できなくなる前にSDカードを交換してください。 ドライブレコーダーに付属のSDカードおよび別売のケンウッド製SDカード使用時のみ有効になります。 別売のSDカードは、 https://www.kenwood.com/jp/car/option/sd-cards/ のSDカードをご覧ください。
SDカードアクセスエラーのため削除できませんでした。SDカードを確認してください。	SDカード内のデータを削除できませんでした。SDカードが正しく挿入されているか確認してください。それでもファイルを削除できない場合は、SDカードを初期化してください。
ドライブレコーダーの初期設定または取り付け位置に異常があります。ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。	ドライブレコーダーの取扱説明書を参照して、ドライブレコーダーの「本体初期設定」を実施してください。 また、ドライブレコーダーの取り付け位置が変わっていないか確認してください。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付録

● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。(→ P.192)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声は再生できません。	音声は再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。

● AV (DISC)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または2を含むもの)と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。(→ P.89) または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください。(→ P.83)
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
録音を続行できないため、録音を中断しました。SD カードの接続及び空き容量を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 不要な楽曲を削除してから録音してください。(→ P.83) 空き容量や残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます。(→ P.78) SD カードに録音する場合は、不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。

● AV (内蔵メモリ)

メッセージ	対処
録音データを移動できませんでした。 SD カードを確認してください。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードの空き容量不足のため、録音データの移動ができませんでした。 SD カードを確認してください。	不要な楽曲またはアルバムを削除してから、SD カードへの移動を行ってください。(→ P.83)
移動可能なアルバム数の上限を超えています。	移動後の SD カードの録音アルバム数が 999 以下になるように、不要なアルバムを削除してから移動してください。(→ P.83)

● SMART USEN

メッセージ	対処
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。 スマートフォンを確認してください。	本機との接続を解除し、スマートフォン単体で「SMART USEN」アプリケーションがご利用できることを確認してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 「SMART USEN」アプリケーションの起動を確認してください。 スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。 Bluetooth 接続でご利用の場合は、[デバイス切替] から、ご利用の機器に [オーディオ / アプリケーション連携] を設定してください。
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。連続再生が 3 時間を超えたため停止しました。	過度のバッテリー消耗、通信容量増加を防止するため、3 時間以上の連続再生を制限しています。(アプリケーションの仕様) 再生ボタンをタッチするか、チャンネル選択をすることで引き続き再生できます。

● Gracenote 音楽認識サービス

メッセージ	対処
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

● MapFanAssist 機能

メッセージ	対処
MapFan 会員 ID またはパスワードが違います。MapFan 会員 ID とパスワードをご確認の上、もう一度入力してください。	MapFan 会員 ID とパスワードをご確認の上、もう一度入力してください。
所定の回数を連続して誤って入力されたため、およそ 30 分間はログインできません。しばらくしてから再度ログインしてください。	MapFan 会員 ID とパスワードをご確認の上、30 分経過後に再度ログイン操作を行ってください。
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。スポットブラウザ/目的地予約/おでかけプラン/マイカー位置表示を更新できませんでした。	ログアウト後、再度ログインしてください。その後、MapFan 連携設定画面からデータ更新を行ってください。データ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。MapFan 連携サーバーで問題が発生しています。	しばらくしてから、MapFan 連携設定画面からデータ更新を行ってください。何度かデータ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
MapFan 連携サーバーのメンテナンス中です。メンテナンス完了まで、スポットブラウザ/目的地予約/おでかけプラン/マイカー位置表示を更新できません。	
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。スポットブラウザ/目的地予約/おでかけプランを更新できませんでした。	
MapFan 連携サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動してください。
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。マイカー位置表示を更新できませんでした。	ログアウト後、再度ログインしてください。再度ログインしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
入力した MapFan 会員 ID では、MapFan 連携を利用できません。MapFan 連携の利用には、KENWOOD MapFan Club への入会が必要です。	KENWOOD MapFan Club への入会手続きを行い、MapFan 会員 ID を取得して入力してください。
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。マイカー位置表示を更新できませんでした。	MapFan で確認できるマイカー位置と、実際の自転車位置が大きくずれた状態が継続する場合、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
MapFan 連携サーバーで問題が発生しています。マイカー位置表示を更新できませんでした。	しばらくしてから、MapFan 連携設定画面からデータ更新を行ってください。何度かデータ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

● VOIPUT

メッセージ	対処
該当する住所が見つかりませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 地図データベースに該当する施設が無い場合は検索ができません。
該当する施設が見つかりませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> カテゴリーデータベースに該当する楽曲が無い場合は検索ができません。
該当する楽曲が見つかりませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> マジックワードをつけて発話しなかった場合は検索したい目的のマジックワードをつけて発話してください。
サーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> VOIPUT の起動を確認してください。 マイクを発話者のほうに向けてください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。スマートフォンを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> iPhone の場合、バックグラウンド動作（スマートフォンの画面に表示されていない状態）に対応していません。必ずフォアグラウンドでご利用ください。
認識できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> お使いのスマートフォンの Bluetooth 設定を一度 OFF して、再度 ON してください。それでも問題が発生する場合は、本機の Bluetooth 設定を一度 OFF して、再度 ON してください。
解析できませんでした。	

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

主な仕様

● ナビゲーション部

衛星測位システム	受信衛星	GPS, QZSS (準天頂衛星), SBAS
	受信周波数帯	L1
	測位形式	3D/DGPS
VICS	FM 多重、VICS WIDE	
センサー	6 軸慣性センサー (ジャイロ3軸 + 加速度3軸)	

● モニター部

画面サイズ	MDV-M909HDF/ MDV-M909HDL 9V型HDパネル MDV-M809HDW/ MDV-M809HD 7V型HDパネル
表示方式	透過型広視野角液晶
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	2764800画素 水平1280×垂直720×3(RGB)
表示方式色数	1,677 万色 (Real 8bit)
画素配列	RGB ストライプ配列
LCD バックライト 使用光源	MDV-M909HDF/ MDV-M909HDL LED 光源 (カスタム) MDV-M809HDW/ MDV-M809HD LED 光源
タッチパネル方式	静電容量式タッチパネル
表面処理	グレア処理

● オーディオ部

最大出力	50W × 4	
定格出力	29W × 4 (4Ω, 1kHz, 10%THD)	
インピーダンス	4 ~ 8 Ω	
プリアウト出力 ⁽¹⁾	端子	フロント/リア/サブウーファー
	最大出力レベル	2.2Vrms
グラフィックイコライザー	周波数	62.5Hz ~ 16kHz
	調整幅 (Step)	± 9dB (1dB)
ローパスフィルター (サブウーファー出力)	カットオフ周波数	30Hz ~ 250Hz
	スロープ	-6dB/Oct. ~ -24dB/Oct
	調整幅	6dB/Oct.
ハイパスフィルター	カットオフ周波数	30Hz ~ 250Hz
	スロープ	-6dB/Oct. ~ -24dB/Oct
	調整幅	6dB/Oct.
タイムアライメント	調整幅 (Step)	0cm ~ 610cm (1cm step)
	レベル調整幅 (Step)	-8 ~ 0dB (TW:0.5dB, SP:1dB)

● HDMI 入力⁽²⁾

入力端子	TYPE-D 1 系統
外形寸法 (W×H×D)	10.8mm × 7.5mm × 26.5mm
対応 IF	HDMI
解像度	1280 × 720P 59.94Hz/60Hz 720 × 480P 59.94Hz/60Hz 640 × 480P 59.94Hz/60Hz
音声信号方式	リニア PCM
サンプリング周波数 (音声)	32k/44.1k/48k/88.2k/ 96k/176.2k/192kHz
量子化ビット数 (音声)	16/20/24bit

● HDMI 出力^[3]
(MDV-M909HDF /MDV-M909HDL のみ)

出力端子	TYPE-D 1 系統
外形寸法 (W×H×D)	10.8mm × 7.5mm × 26.5mm
対応 IF	HDMI
解像度	1920 × 1080p 50Hz/60Hz 1920 × 1080i 50Hz/60Hz 1280 × 720p 50Hz/60Hz 720 × 576p 50Hz 720 × 480p 60Hz [HDMI source] 1280 × 720P 59.94Hz/60Hz 720 × 480P 59.94Hz/60Hz 640 × 480P 59.94Hz/60Hz
音声信号方式	リニア PCM
サンプリング周波数 (音声)	48kHz [HDMI source] 32k/44.1k/48k/88.2k/ 96k/176.2k/192kHz
量子化ビット数 (音声)	16bit [HDMI source] 16/20/24bit

● 入出力部

リアビュー カメラ入力 (専用端子)	端子	オリジナルコネクタ (8pin) 1 系統
	信号処理 方式	NTSC コンポジット映像信号 / HD-TVI
	映像入力 レベル	1Vp-p/75 Ω
ドライブ レコーダー 映像入力	端子	オリジナルコネクタ (24pin) 1 系統
	信号処理 方式	NTSC コンポジット映像信号 / HD-TVI
	映像入力 レベル	1Vp-p/75 Ω
AV 入力 ^[1]	端子	オリジナルコネクタ (24pin) 1 系統
	映像入力 レベル	1Vp-p/75 Ω
	音声最大 入力レベル	2.0Vrms
映像出力 ^[1]	端子	オリジナルコネクタ (24pin) 1 系統
	映像出力 レベル	1Vp-p/75 Ω
外部機器通信端子		オリジナルコネクタ (7pin)

● Wi-Fi 部

無線 LAN 規格	802.11 b/g/n
周波数帯	2.4GHz
チャンネル	Auto (1-11ch)
転送レート (Maximum)	11b : 11Mbps 11g : 54Mbps 11n : 72.2Mbps
出力レベル (2.4GHz/SISO)	11b : 14dBm ± 2dB 11g : 13dBm ± 2dB 11n (20MHz) : 12dBm ± 2dB

● Bluetooth 部

Version	Bluetooth Ver. 5.0 準拠
対応プロファイル	HFP/PBAP/A2DP/ AVRCP/SPP/PAN
音声コーデック	LDAC/SBC/AAC
マイク入力端子	3.5 φ Mini-Jack
著作権保護規格	SCMS-T

● 地デジチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF13 ~ 52 チャンネル

● FM 部

受信周波数範囲	76.0MHz~99.0MHz
周波数ステップ	0.1MHz
実用感度	8dBf(0.7μV/75Ω)

● AM 部

受信周波数範囲	522kHz~1629kHz
周波数ステップ	9kHz
実用感度 (S/N : 20dB)	28dBμV

● USB I/F 部^[4]

USB (Type-A)	USB2.0 High Speed
最大供給電流	DC5V --- 1A 2 系統
急速充電	USB BC1.2 2 系統
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビデオ

情報・設定

Bluetooth

取付

付属

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● ディスク部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD-VR (CPRM) , DVD±R/±RW/±R DL, CD-DA (リニア PCM) , CD-R/RW, SACD (CD LAYER ONLY) (8cmCD 非対応)
リージョン No	2
サンプリング周波数	44.1/48/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)

● メディア対応

ディスク	Audio	MP3, AAC, WMA, WAV, FLAC, Vorbis, MQA
	Audio	MP3, AAC, WMA, WAV, FLAC, Vorbis, MQA, DSD
USB/SD	Video	MPEG-4 Video, MPEG-4 AVC (H.264), WMV

● 電源 / 寸法 / 質量

電源電圧	14.4V (10.5V ~ 16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ~ + 60℃
外形寸法 (W×H×D)	MDV-M909HDF 178mm × 100mm × 158mm ※突起物は除く
	MDV-M909HDL 234mm × 134mm × 190mm
	MDV-M809HDW 206mm × 104mm × 175mm
	MDV-M809HD 180mm × 100mm × 185mm
本体部	MDV-M909HDF 178mm × 100mm × 155mm
	埋込寸法 (W×H×D) MDV-M909HDL/ MDV-M809HDW/ MDV-M809HD 178mm × 100mm × 160mm
	質量 (重さ) MDV-M909HDF 2.2kg MDV-M909HDL 2.6kg MDV-M809HDW/ MDV-M809HD 2.2kg
パネル部 ^[5]	外形寸法 (W×H×D) 251mm × 137mm × 22mm ※突起物は除く
	質量 (重さ) 1.2kg
GPS アンテナ	外形寸法 (W×H×D) 36mm × 12.8mm × 33mm
	ケーブル 長 3.5m
	質量 (重さ) 約 79g

● 地デジ / ワンセグアンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長	4.0m
エレメント 外形寸法	117.5mm × 86mm
質量 (重さ)	約 40g(1 本あたり / ケーブル含む)

[1] 別売の AV プリアウト拡張ケーブル KNA-17AV が 必要です。

[2] 別売の HDMI 接続ケーブル KNA-20HC が 必要です。

[3] 別売の HDMI 接続ケーブル KNA-22HC が 必要です。

[4] 別売の USB 接続ケーブル KNA-22USB が 必要です。

[5] MDV-M909HDF のみ。

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

特許権 / 著作権 / 商標など

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

取付

付属



“Hi-Res Audio” ロゴと “Hi-Res Audio Wireless” ロゴは
日本オーディオ協会のライセンスを受けて使用しています。



LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories.

Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

DVD is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S., Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

MapFan はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、株式会社 JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

VICS および VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「マップコード」および「MAPCODE」は (株) デンソーの登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

「Android™」および「Android ロゴ™」、「Google Play™」は Google LLC の商標または登録商標です。

Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

本製品には、株式会社コビキタス AI コーポレーションの高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社コビキタス AI コーポレーションの商標です。

Copyright © 2022 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.



Ubiquitous AI Corporation

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



Copyright© 2022 Techpoint, Inc. All rights reserved.

HD-TVI™

本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立ソリューションズ・テクノロジーの登録商標です。

Ruby Talk®



「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

本商品は、パイオニア株式会社が運営・管理するスマートループ渋滞情報™を使用しています。
スマートループ渋滞情報™はパイオニア株式会社の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のcompact Wnnを使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

MQA and the Sound Wave Device are registered trade marks of MQA Limited © 2016

Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™は Wi-Fi Alliance® の商標です。

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson

Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

JSON-C

Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

取付

付録

索引

- B**
Bluetooth オーディオ機器の再生 142
- D**
DVD 再生 92
- E**
ECO 情報 110
ETC2.0 車載器 13, 161
- G**
GPS 30
- H**
HDMI 101
- I**
iPod を再生する 71
- M**
MapFanAssist (スマートフォンアプリ) 13
- N**
NaviCon (スマートフォンアプリ) 13
- P**
PIN コード 137
- Q**
QR コード 44, 133
- U**
USB 機器 /SD カードのファイル再生 72
- V**
VICS 情報 104
- W**
Wireless Mirroring 103
- あ**
アスペクト (画面表示サイズ) 70
案内音声の音量 112
- え**
エラーメッセージ 205
- お**
オートアンテナ 10, 32, 127
オートペアリング 135
オートリルート 65
音楽 CD 再生 90
音楽 CD の録音 78
- か**
画質の調整 69
- け**
経由地 62
経由地の削除 63
経由地の順番変更 63
現在位置の修正 114
現在地図画面 39
検索履歴の削除 53
- こ**
交差点案内図の表示 58
高速道分岐イラストの表示 58
高速道路でのルート案内 57
交通情報 (TUNER) 101
コンパスボタン 39, 41
- さ**
再生できるディスク 189
サウンド設定 116
- し**
自転車マーク (地図) 39
システム設定 126
自宅に帰る 48
自宅の登録 36, 48
シミュレーション 65
視野角 29
車速パルス 30
ジャンル検索 51
住所検索 52
- す**
ステアリングリモコン 33, 127
スピーカー構成 117

せ

セキュリティインジケータ	19, 127
センサー学習	30

そ

走行軌跡の表示	39, 111, 115
操作音の出力	127
ソース切替画面	68
ソースレベル	125

ち

地図記号	181
地図更新サービスプログラム	133
地図の傾き角度	41
地図の縮尺	40
地点登録	66
チャンネルスキャン (地デジ)	97

て

ディスク挿入口	19
ディスクの出し入れ	88
ディスクメニュー	94
デモ走行	65
電源オン / オフ	20
電話帳	140
電話の着信	138
電話番号検索	53
電話をかける	139, 140, 141, 142

と

到着予想時刻 / 距離	56
登録機器の削除 (Bluetooth)	137
登録地点検索	52
登録地点の編集	66, 67
時計	39
ドライブレコーダー	13, 170

な

ナビ設定	111
------	-----

の

ノースアップ	41
--------	----

は

パーキング検出コード	30
バージョン情報	132
バーチャルルームミラー	13
ハイウェイモード画面	57
ハンズフリー通話	138

ふ

フェリーを利用した探索	113
フライビューマップ表示	111
フロントビューカメラ	13, 163

ほ

方面看板	39, 112
ボタンの操作音	127

ま

マップクリップ	44
---------	----

め

メッセージ	205
-------	-----

も

目的地	54
目的地の削除	63
目的地付近の地図表示	65
文字の入力	28

ゆ

ユーザーコライザー	120
-----------	-----

ら

ランドマーク情報の表示	44
-------------	----

り

リアビューカメラ	13, 167
リスニングポジション	118
リバース検出コード	30
履歴検索	52

る

ルート案内の開始	54
ルート案内の終了	65
ルート全体	65
ルート探索方法の設定	54
ルートの再探索	62

れ

レーン情報	39
-------	----

ろ

録音	78
録音設定	78
録音停止	79
録音データの再生	80
録音データの削除	83

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS からは 0570-010-114 (ナビダイヤル)
IP 電話などからは 045-450-8950
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.197)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証規定に従って、お買い上げの販売店または JVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書に必要事項を記入の上、ご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書および保証規定をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売店または JVCケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 車両からの取り外し / 取り付けについて
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店または JVCケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

- 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料になります。**
 - 本保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
 - 製造番号の改変および、取り外した製品。
 - 消耗部品(例えば、SDメモリーカード、乾電池、充電池等)の交換。
 - 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
 - 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。**

- ※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。
- ※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
- ※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
		年 月 日	
		保証期間（お買い上げ日より）	
		年 月 日	
※お客様	お名前	公開用様	
	ご住所 〒		
電話番号 ()			
※販売店	店名・住所	電話番号 ()	

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

